

科目名	心理学基礎ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	小野 洋平、三島 瑞穂、脇 貴典、森本 裕子、小山 典子、馬場 弓歌		関連する資格	

授業概要

新入生の大学での学生生活が充実するために行う少人数ゼミナールである。教員と学生の交流ならびに学生同士の交流の中で、学習や生活上に知識やスキルについて学ぶ。
本授業は対面授業を基本とする。

到達目標

- (A 1101)
- 1) 大学での学び方を修得する。
 - 2) 自分にとってわかりやすいノートを作成することができる。
 - 3) 図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
 - 4) 学術的文章を批判的に読むことができる。
 - 5) レポート作成の手順とルールを理解できる。
 - 6) わかりやすいレジュメを作成することができる。
 - 7) レジュメを使って発表することができる。

成績評価方法

課題およびレジュメ作成 50%
授業参加度（発言，質疑応答等）10%
プレゼンテーション 40%
で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							25
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 大学と大学生活（各教員） 【予習】キャンパスガイドを読んでおく（30分） 【復習】大学で学ぶ意義を改めて考え，前期の達成目標を立てる（40分程度）	振り返りシート
2) アカデミックスキルズとは（各教員） 【予習】アカデミックスキルズについて調べておく（60分） 【復習】アカデミックスキルズに対する理解を深め，自己分析を行う（60分）	振り返りシート
3) ノートのとり方（1）（各教員） 【予習】自分にとって使いやすいノート作りについて整理しておく（60分）【復習】自分にとって使いやすいノート作りを構想する（60分）	振り返りシート
4) ノートのとり方（2）（各教員） 【予習】ノートをどう活用するかという観点からノート作りを再考する（60分） 【復習】授業でとったノートを見直し，工夫，改善を行う（60分）	グループディスカッション 振り返りシート
5) 情報収集（1）：情報の種類，特徴と利用法（各教員） 【予習】日頃の自分の情報収集のやり方について振り返る（60分） 【復習】興味を惹かれるテーマの文献を探す（60分）	データベースを使って，文献検索を行う 振り返りシート
6) 情報収集（2）：図書館とデータベースの使い方（各教員） 【予習】日頃の自分の情報収集のやり方について振り返る（60分） 【復習】興味を惹かれるテーマに関する文献を探し，リストを作成する（60分）	データベースを使って，文献検索を行う 振り返りシート
7) クリティカル・シンキング（1）：クリティカル・リーディングを理解する（各教員）【予習】新聞記事を批判的に読む（60分）新聞記事を批判的に読む（60分） 【復習】授業で提示された課題を行う（60分）	振り返りシート
8) クリティカル・シンキング（2）：クリティカル・リーディングを練習する（各教員）【予習】新聞記事を批判的に読む（60分）【復習】授業で提示された課題を行う（60分）	グループディスカッション 振り返りシート
9) レポートの書き方（1）（各教員） 【予習】レポートの書き方について調べておく（60分） 【復習】情報整理の重要性について理解を深める（60分）	振り返りシート
10) レポートの書き方（2）（各教員） 【予習】レポートの書き方について調べておく（60分） 【復習】レポート作成の手順，構成，引用のしかたについて理解を深める（60分）	振り返りシート
11) レジュームの作り方（各教員）【予習】レジュームとは何かについて調べておく（60分）【復習】どのようなレジュームがわかりやすいかについて，理解を深める（60分）	情報収集 振り返りシート
12) レジュームを作成する（各教員） 【予習】レジューム作成について調べておく（60分） 【予習】作成中のレジュームを見直し，必要に応じて加筆・修正する（60分）	レジューム作成 振り返りシート
13) プレゼンテーションのやり方（各教員）【予習】レジューム発表について調べておく（60分）【復習】レジューム発表のシミュレーションをする（60分）	振り返りシート
14) 作成したレジュームを発表する（各教員） 【予習】レジューム発表の練習を行う（60分） 【復習】発表および質疑応答を振り返り，不足点を調べ理解を深める（60分）	プレゼンテーション 振り返りシート
15) まとめ（各教員） 【予習】第14回までの内容を復習する（60分） 【復習】アカデミックスキルズについて復習し，自己分析を行う（60分）	振り返りシート
授業外学習	
授業終わりに提示される課題を行う。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【参考書】 アカデミックスキルズ第3版 大学生のための知的技法入門 佐藤 望（編著）2020年，慶應義塾大学出版会	基礎ゼミナール ゼミナール ~ 心理学実験 ・ 卒業論文

課題に対するフィードバック

各ゼミナールごとに提示された課題については、適宜フィードバックを行う。

備考

科目名	心理学基礎ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	小野 洋平、三島 瑞穂、脇 貴典、森本 裕子、小山 典子、馬場 弓歌		関連する資格	

授業概要

心理学基礎ゼミナール に引き続き、学生生活が充実するために行う少人数ゼミナールである。教員と学生の交流ならびに学生同士の交流の中で、学習や生活上の知識やスキルについて学ぶ。
本授業は対面授業と遠隔授業を併用して行う。

到達目標

- (A1102)
- 1) 自分の興味の惹かれるテーマに関連する文献や資料を探することができる。
 - 2) 文献や資料を精読し、整理することができる。
 - 3) 指定された様式で予稿集原稿を作成することができる。
 - 4) わかりやすいスライドを作成することができる。
 - 5) スライドを使って発表することができる。
 - 6) 自分の発表に対する質問に、的確に答えることができる。
 - 7) 他者の発表を聞いて、質問することができる。

成績評価方法

予稿集原稿及びスライド作成40%
授業参加度（発言、質疑応答等） 10%
プレゼンテーション 50%
で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							25
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) テーマの選択1 (各教員) 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す (計90分)		図書館・データベースを使って、テーマを探す
2) テーマの選択2 (各教員) 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す (計90分)		テーマの発表
3) 文献・資料の収集1 (各教員) 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す (60分) 【復習】収集した文献や資料を整理する (60分)		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
4) 文献・情報の収集2 (各教員) 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す (60分) 【復習】収集した文献や資料を整理する (60分)		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
5) 文献・資料の収集2 (各教員) 【予習】テーマに関連する文献、情報を探す (60分) 【復習】収集した文献、情報を整理する (60分)		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
6) 文献・資料の精査1 (各教員) 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する (60分) 【復習】精査した文献や資料を整理する (60分)		資料の整理
7) 文献・資料の精査2 (各教員) 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する (60分) 【復習】精査した文献や資料を整理する (60分)		資料の整理
8) 予稿集原稿（概要）の作成1 (各教員) 【予習】予稿集原稿のレイアウトを考案する (60分) 【復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する (60分)		予稿集原稿の作成
9) 予稿集原稿（概要）の作成2 (各教員) 【予復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する (計120分)		予稿集原稿の作成
10) スライドの作成 (各教員) 【予習】予稿集原稿に基づき、スライドの構成を決める (60分) 【復習】作成したスライドを必要に応じて修正し、完成させる (60分)		スライド作成
11) 発表リハーサル1 (各教員) 【予習】発表の練習をする (60分) 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する (60分)		プレゼンテーションの練習
12) 発表リハーサル2 (各教員) 【予習】発表の練習をする (60分) 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する (60分)		プレゼンテーションの練習
13) 発表会1 (全教員) 【予習】発表の練習をする (60分) 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける (60分)		プレゼンテーション
14) 発表会2 (全教員) 【予習】発表の練習をする (60分) 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける (60分)		プレゼンテーション
15) 発表会3 (全教員) 【予習】発表の練習をする (60分) 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける (60分)		プレゼンテーション 振り返り
授業外学習		
各回の授業内容に応じて、文献・資料の検索、整理および精査する。そのうえで、予稿集原稿およびスライドを作成し、プレゼンテーションの練習を行う。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【参考書】 アカデミックスキルズ第3版 大学生のための知的技法入門 佐藤 望（編著）2020年，慶應義塾大学出版会 前期と同様		基礎ゼミナール ゼミナール ~ 心理学実験 ・ 卒業研究

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションについては、優れた点と改善点等を口頭で即時フィードバックする。

備考

科目名	情報処理演習（情報リテラシー）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	白石 義孝、伊藤 香	関連する資格	ITパスポート試験（経済産業省国家資格） パソコンインストラクター資格	

授業概要

現在、多くの情報が電子情報として利用されており、現代社会を生きる我々にとって、インターネットを利用した基本的な情報収集や情報発信の知識を必ず習得しておかなければならない。本演習では、インターネットに関する基礎知識、電子メールのアカウント設定・操作方法、WWWを用いた情報検索・情報収集、簡単なWebページの作成方法などを中心に学習する。演習レポートをすることによって授業内容の理解を深めていく。

講師の伊藤は、ITコンサルタントとして小規模事業者のITリテラシー向上に寄与するほか、専門学校および社会人を対象にした講座での講師経験があり、それらをもとにインターネットの利活用・Webサイト作成について授業を行う。

到達目標

A1103

インターネットを効果的に活用し、大学生活や学習、将来に必要な情報を効率的かつ安全に得ることができる。インターネット上の危険性について理解する。知的財産や個人情報の保護について理解する。

成績評価方法

期末定期試験、小レポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○						25
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度					○		25
プレゼンテーション		○	○		○		20
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) メールアドレスの設定、パソコン操作の基礎。予習として、事前アンケート。授業の進行の参考にするためです。内容は成績に影響しませんが、回答がなければ、その後の授業で不利になることがあります。	対面・演習・小レポート
2) インターネットの基本的な仕組みを学ぶ。復習では、パソコンに触れて扱いに慣れておきましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート
3) 情報セキュリティ、ウィルスについて学ぶ。復習では、自分が普段使用しているパソコンのセキュリティ対策が十分であるのか確認しておきましょう。個人のパソコンについての相談は応じられません。	対面・演習・小レポート
4) インターネットにおける知的財産権、個人情報の取り扱いについて学ぶ。自分のインターネットの使い方が正しいかどうか、復習では振り返っておきましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート
5) インターネット上の犯罪について事例を通して学ぶ。自分や周りの人が犯罪に巻き込まれないために、正しい知識を身につける。復習では、自分の普段の行動を振り返り、安全を確認しましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート
6) SNSを学習や仕事で活かす方法の他、マナーやリスクについても学ぶ。復習では、実際にSNSを使用したビジネスを探してみましょう（20分程度）。ただし、安全と信用が確認されないものに不用意に近づかないこと。	対面・演習・小レポート
7) インターネットを学習に役立てる。学習に役立つインターネットのサイトを探す。安全で正しい情報を見分け、効果的な学びに活かす。復習では、実際に勉強にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
8) 心理学の学習に役立つインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を適切に管理、整理する。復習では、授業で得た情報を振り返っておきましょう（15分程度）。	対面・演習・小レポート
9) 心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習では、他教科の課題や自習にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
10) インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
11) インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
12) インターネットで調べた心理学に役立つサイトについて、どのようなサイトが魅力的なのか、また学びやすいのか等、情報交換と意見交換をする。復習では、良いと思ったサイトを確認しておきましょう（15分程度）。	対面・演習・小レポート
13) インターネットを心理学以外の教養の学習に役立てる。様々な分野が学べるインターネットのサイトを探す。そこで得た情報を効率的に整理する。復習でも、教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
14) インターネットを心理学以外の教養のサイトについて、情報交換と意見交換をする。簡単な発表をする。復習でも、他の人が発表した教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
15) まとめ	対面・演習・小レポート
授業外学習	
インターネット上の危険性について十分に理解した上で、積極的に活用し、自分の興味・関心を広げていくことが望ましい。知識を定着するためには、ネットサーフィンするだけでなく、そこで得た情報を整理して自分の言葉で置き換えたり、自分の考察を深める必要がある。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：使用しない（プリント配布） モラル：プリント配布</p> <p>総務省、経済産業省等公的機関の提供するサイト その他、授業内で有用なサイトを紹介します</p>	<p>情報処理演習（文書作成） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（EXCEL）</p>

課題に対するフィードバック

小レポート（課題）の内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業の内容は、今後の基礎となるものです。欠席しないようにしましょう。過去の経験によって、授業内容が既に習得済みの内容であるなど、習熟度に大きな差があると思います。その場合も慢心せず、より高度な情報をインターネットで探すなど、自己研鑽してください。また助言や相談は習熟度が上がりますので、他者の学習の妨げにならない範囲で積極的に行いましょう。

授業の主担当は伊藤が14回、白石が1回となっていますが、必要に応じ合同で担当する場合があります。

科目名	情報処理演習（文書作成）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	心理学実験・、情報処理演習（プレゼンテーション）、情報処理演習（情報リテラシー）	

授業概要

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場面が多様化し、ことばはますます重要になってきている。そこで、本授業では一般社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目的とする。口語と文章語など、語彙の感覚を身につけるとともに、上手な文の組み立て方を学習する。また、手紙やさまざまな文章の形式を学び、実践する。

社会人としても大学生としても、パソコンのワープロソフトを用いて文書を作成する能力は重要である。

スマートフォンでも文書を作成するアプリを利用できるが、他のソフトウェアから図やグラフ、写真などを貼り付けることはできず、様式が整わない、大量の文書を作成しづらいといった欠点がある。

大学生としては、レポートの作成、文書の作成、情報の保存といった利用例が挙げられる。まず、大学の授業で出されるレポートはMicrosoft Wordという文書作成ソフトウェアを用いることが多い。様式の整ったレポートを作ることができ、内容の編集や保存、印刷、送付等が容易である。授業の中にはメールでレポートを提出することが求められる場合があり、その場合もWordソフトを使用する必要がある。また、卒業論文は必ずWordソフトを使用する。

社会人としても公式の文書はWordソフトを使用することが多く、会社に勤める際には必須の能力である。

適切な様式で文書を作成する、適切に保存、管理をする、情報を効果的に統合するといった技術は、社会人になる前に習得すべきものである。一般企業はもちろん、心理職でも報告書の作成や論文作成に欠かせない。

ただし、大学入学前に既にこういった技術を習得している学生もいると思われる。そういった学生に対しては、文書作成の技術の習得状況に応じて、レベルの高い課題や資格取得を提案する。

到達目標

(A1104)

Wordソフトウェアを利用した文書作成について、次の技術を習得する。

- ・ローマ字で日本語文章の入力が、60文字/1分 以上の速さでできる。
- ・漢字変換やフォント（文字の形）の選択が問題なくできる。
- ・分かりやすい文書を作ることができる。
- ・他の文書情報、写真、イラスト等の挿入ができる。
- ・表の作成ができる。
- ・レイアウトの変更や調整ができる。
- ・レポートや論文の様式を作ることができる。

成績評価方法

毎回の小レポート課題で評価する。授業外・授業内レポートは演習に基づいて作成するものを含む。授業への参加度も成績評価に含む。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			60
宿題、授業外レポート	○		○	○			20
授業態度・授業参加度		○	○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習		○		○			10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) Wordソフトウェアの基本的な操作を学ぶ。習熟度を確認する。 予習はPCスキルを確認しておく。 復習はパソコンの基本操作、ローマ字入力等を行う。（各15分程度）	アンケート
2) Wordソフトウェアの基本的な操作を学ぶ。習熟度を確認する。 予習はPCスキルを確認しておく。 復習はパソコンの基本操作、ローマ字入力等を行う。（各15分程度）	演習・小レポート
3) Wordソフトの機能を用いた効率的な文書ファイルの作成を学ぶ。 文献を調べ、レポートにまとめる方法を学ぶ。 予習・復習：習熟度に応じてPC操作を学ぶ。文献を読み込む。（各15分程度）	演習・小レポート
4) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
5) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
6) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
7) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
8) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
9) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
10) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
11) ビジネス文書の基本ルールを学び、形式、書き方等に慣れる。 Wordソフトの応用機能を学ぶ。 予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
12) ビジネス文書の基本ルールを学び、形式、書き方等に慣れる。 Wordソフトの応用機能を学ぶ。 予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
13) Wordソフトでチラシを作成する。Wordの機能を用いた効率的な作成のコツを身につける。予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
14) Wordソフトでチラシを作成する。Wordの機能を用いた効率的な作成のコツを身につける。予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
15) 卒業論文や心理学の実験レポート等に活かせるWordソフトの機能を学ぶ。予習・復習は習熟度に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
授業外学習	
ローマ字入力に慣れると効率的に文書が作成できるので、なるべく早く正確に入力できるようにしましょう。文書作成は他科目のレポートの作成や課外活動の企画、報告、就職後も色々と役立ちます。なるべく普段から使い慣れておきましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	情報処理演習（インターネット） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（表計算） 心理学研究法 日本語の科学

課題に対するフィードバック

授業外・授業内レポートの内容についてコメントや添削を行う。課題や演習について出た質問は授業内で解説を行う。

備考

この授業を受講する学生は、入学前までの経験により、文字入力やソフトの活用方法に関する習熟度に大きな差があると思います。既に習得済みの内容の授業では、関連する内容の範囲で、より高度な情報をインターネットで探すなどしてください。また、人に教えることは自分の能力の向上にとっても役に立ちますので、演習中は助言や相談をお互いにしましょう。

科目名	情報処理演習（表計算）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	白石 義孝、伊藤 香	関連する資格	日商PC検定（表計算） Microsoft Office Specialist Excel365 パソコンインストラクター資格	

授業概要

大学の授業における基礎的なデータ集計作業のツールとして、パソコンの表計算ソフト（エクセル）を使用することが多い。この授業では、表計算ソフト（Microsoft Excel）の基本的なしくみと特徴（関数・計算・グラフ・データベース等）を紹介しながら、表計算ソフトExcelを用いたデータ処理に関する演習を行うことにより、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。

講師の伊藤は、ITコンサルタントとして小規模事業者のITリテラシー向上に寄与するほか、専門学校および社会人を対象にした講座での講師経験があり、それらをもとに表計算ソフトの利活用・データベースについて授業を行う。

到達目標

A1105

- 1) Excelを使用して、表を作成することができる。
- 2) Excelを使用して、計算を行うことができる。
- 3) Excel関数を使用して、データ操作を行うことができる。
- 4) Excelを使用して、作成した表からグラフを作成することができる。
- 5) Excelを使用して、データベースを作成することができる。

成績評価方法

期末定期試験、小レポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○						30
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○		○			15
授業態度・授業参加度					○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	【ガイダンス】授業計画と方針について 【Excelの基礎知識】起動と終了、Excelの概要 【予習】Excel利用歴を振り返る(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
2)	【Excel入門】 データ入力と簡単な表の作成を行いつつ、Excelの基礎的な使い方を学ぶ 【予習】1章,2章1-3を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
3)	【Excel入門】 簡単な表を利用して、Excelの基礎的な構造と機能を学ぶ 【予習】3章1-5を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
4)	【ワークシートの活用】 より見栄えのよい作表技術を学びながら、計算式の基礎を身につける。 【予習】3章6-10を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
5)	【ワークシートの活用】 よく使う関数や絶対参照など高度な計算式の組み立てを身につける 【予習】4章1-6を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
6)	【ワークシートの活用】 条件式など高度な計算式を組み立てる力を身につける 【予習】4章7-9を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
7)	【グラフ】 - グラフの基礎 - 表のグラフ化で訴求力のある資料作りを学ぶ。 【予習】2章4,5章を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
8)	【グラフ】 - グラフの応用 - 特殊なグラフ作成を学び、最適なグラフを選択する力を身につける 【予習】6章を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
9)	【データベース】 - データベースの基礎 - Excelデータベース表の作成方法と注意点を学ぶ 【予習】7章1を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
10)	【データベース】 - データベースの活用 - 並べ替え・検索・抽出・集計方法を学び、分析力を身につける 【予習】7章2-6を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
11)	【Excelの応用】 - 高度な関数 - 順位付け関数や参照関数を学び、分析技術を身につける 【予習】8章1-4を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
12)	【Excelの応用】 - 高度な関数 - 文字列操作に関する関数など、データの形式に影響されない作表を学ぶ 【予習】8章5-7を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
13)	【総合演習 1】-複合的な資料の作成- ファイルやシート、アプリソフト等との連携で、各々の特徴を整理する 【予習】8章11・12を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
14)	【総合演習 2】-複合的な資料の作成- 高度なExcelの活用方法を学ぶ 【予習】8章10を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
15)	【総合演習 3】-総合演習まとめ 今までの学習を振り返り、苦手部分を各々精査する。 【予習】生活にExcelを取り入れる(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
授業外学習		
Excelは社会に出てからも頻繁に使用するソフトです。この授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習しておきましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
30時間でマスター Excel2021 (Windows11対応)【実教出版】		情報処理演習 (情報リテラシー) 情報処理演習 (文書作成) 情報処理演習 (プレゼンテーション)

課題に対するフィードバック

小レポート（課題）の内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業の内容は、今後の基礎となるものです。欠席しないようにしましょう。過去の経験によって、授業内容が既に習得済みの内容であるなど、習熟度に大きな差があると思います。その場合も慢心せず、より高度な作表に挑戦するなど、自己研鑽してください。また助言や相談は習熟度が上がりますので、他者の学習の妨げにならない範囲で積極的に行いましょう。

授業の主担当は伊藤が14回、白石が1回となっていますが、必要に応じ合同で担当する場合があります。

科目名	情報処理演習（プレゼンテーション）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	脇 貴典、高松 博由樹		関連する資格				
授業概要 フォーマルな場面において発表（プレゼンテーション）を行う能力は、学習の上でも仕事の上でも重要なスキルの一つです。本授業では、プレゼンテーションの理解を深めると共に、プレゼンテーション資料作成の主要なツールであるMicrosoft Power Pointの基本操作方法について学習します。実際にプレゼンテーション資料を作成しながら、プレゼンテーションのテクニックを学び、作成した資料に基づいて発表を行います。併せて、動画作成についても学び、さまざまなプレゼンテーション方法についての理解を深めます。							
到達目標 (A1106) 1) Power Pointを使用して、基本的なプレゼンテーション資料を作成することができる。 2) Power Pointを使用して、プレゼンテーションを行うことができる。 3) 動画を撮影・編集し、動画を用いたプレゼンテーションを行うことができる。 4) プレゼンテーションの要点を把握し、口頭発表や動画を用いたプレゼンテーションに応用することができる。				成績評価方法 実際のプレゼンテーション、プレゼンテーション資料（PowerPoint、動画）の作成、グループワークや授業への取り組みなどを総合して評価します。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							60
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) -PowerPointの基本操作- デザイン・色彩 【予習】参考資料を読む（30分） 【復習】操作の確認（60分）	授業内課題
2) -PowerPointの基本操作- グラフ・図の作成 【予習】参考資料を読む（30分） 【復習】操作の確認（60分）	授業内課題
3) -PowerPointの基本操作- 構成・根拠 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の確認（45分）	授業内課題
4) グループ・プレゼンテーション 【予習】内容の検討・作成（60分） 【復習】内容の省察（30分）	プレゼンテーション グループワーク
5) -プレゼンテーション資料の構成- 表現の型 【予習】参考資料を読む（30分） 【復習】構成の確認（60分）	授業内課題
6) -プレゼンテーション資料の構成- コンセプト 【予習】参考資料を読む（30分） 【復習】構成の確認（60分）	授業内課題
7) -プレゼンテーション動画の作成- 概要 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の修正（45分）	授業内課題
8) -プレゼンテーション動画の作成- 企画 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の修正（45分）	授業内課題
9) -プレゼンテーション動画の作成- 撮影 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の修正（45分）	授業内課題
10) -プレゼンテーション動画の作成- 編集 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の修正（45分）	授業内課題
11) -動画によるプレゼンテーションと講評- 【予習】内容の検討・準備（60分） 【復習】内容の省察（30分）	プレゼンテーション
12) -動画によるプレゼンテーションと講評- 【予習】内容の検討・準備（60分） 【復習】内容の省察（30分）	プレゼンテーション
13) -プレゼンテーションの準備- 発表のねらい 【予習】内容の検討・作成（60分） 【復習】内容の修正（30分）	授業内課題
14) -プレゼンテーションの準備- 発表時の留意点 【予習】内容の検討・作成（60分） 【復習】内容の修正（30分）	授業内課題
15) 最終プレゼンテーション 【予習】本授業のふりかえり（60分） 【復習】本授業のまとめ、自己評価（30分）	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>この授業では、PowerPointソフトの機能の習熟や動画編集に加えて、実際に行うプレゼンテーションの内容を重視します。授業時間外も自分なりに発表用のプレゼンテーション資料をブラッシュアップしてみましょう。</p> <p>また、この授業で覚えたPower Pointの操作や動画編集の技術を、授業外でも繰り返し練習したり、その他の発表にいかしてみよう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>参考書：30時間でマスターOffice 2021 / 実教出版企画開発部 情報処理演習(情報リテラシー)、情報処理演習(文書作成)、 情報処理演習(表計算)のテキストを兼ねています。このテキストの他、教員が用意する演習課題に取り組みます。</p>	<p>情報処理演習(情報リテラシー)、情報処理演習(文書作成)、 情報処理演習(表計算)</p>

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションの内容について、講評を行います。

備考

- ・この授業の内容は、今後のコンピュータを使用する授業の基礎となるものです。毎回出席するようにしてください。
- ・合理的配慮の申請を歓迎します

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

対話や活動を通してコミュニケーション能力を高めていく。
 文章表現ルールを整理していくことで、既習文法や文型を正確に使えるようにしていく。自分らしい言葉や表現を探りながら、まとまった文章が書けるようにしていく。課題に関して意見や考えを発表し、質疑にも的確な応答ができるようにしていく。

到達目標

- A1107
- ・積極的なコミュニケーションができるようになる。
 - ・既習文法や語彙が文章の中で正確に使い、適切な日本語表現ができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、コミュニケーション活動への参加度、課題等

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、プレースメントテスト コミュニケーション活動	
2) 文型練習 自己紹介文作成・発表 【復習】資料再読・文型復習（30分）	発表
3) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法1課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
4) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法1課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
5) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法2課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ペア/グループワーク
6) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法2課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
7) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
8) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表 ペア/グループワーク
9) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
10) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法4課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ペア/グループワーク
11) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法4課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表 ペア/グループワーク
12) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法5課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
13) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法5課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
14) コミュニケーション活動 文章表現のルール文体、課題文作成 【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
15) 発表、質疑応答、総括	プレゼンテーション
授業外学習	
習得語彙がどんどん増えるように学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『留学生のための文章表現のルール』（スリーエーネットワーク） 他、適宜資料や練習問題を配布	日本語、

課題に対するフィードバック

練習問題、短文作成等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

文章表現のルールを整理し、自然な日本語でより良い文章を書けるようしていく。類似表現や使い方を間違えやすい文法を整理することで、正確な日本語が使えるように練習していく。グループ討議やスピーチを通して、日本語運用能力を高めていく。

到達目標

A1108

- ・より豊かな日本語表現を身に付ける。
- ・文章表現ルールや語彙を的確に使いながら、自分の考えをまとめ、意見を述べたり、スピーチができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、コミュニケーション活動への参加度、課題等

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション コミュニケーション活動 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
2) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法6～9課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
3) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法6～9課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
4) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法10課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ディスカッション
5) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法13課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
6) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法13課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
7) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
8) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク プレゼンテーション
9) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課（発展：ストーリー作成） 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ディスカッション
10) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法15課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
11) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法15課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
12) コミュニケーション活動（スピーチの組み立て方） 文章表現のルール文法16課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
13) コミュニケーション活動（1分間スピーチ） 文章表現のルール文法16課 【予習】スピーチ作成（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
14) コミュニケーション活動（1分間スピーチ） 文章表現のルール文法16課 【予習】スピーチ作成（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
15) コミュニケーション活動（3分間スピーチ） 総括 【予習】スピーチ作成（60分）	プレゼンテーション
授業外学習	
習得語彙がどんどん増えるように学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『留学生のための文章表現のルール』（スリーエーネットワーク） 他、適宜資料や練習問題を配布	日本語、

課題に対するフィードバック

練習問題、スピーチ等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

新聞記事や評論文を読み、日本社会について考え、論理的なレポートが書けるようにする。また、それを基にスピーチをする。
聞き手の印象や感情に配慮したコミュニケーション能力を身に付ける。日本語能力試験N 1 (N2)合格に照準を合わせ、漢字・語彙・文法をより強化していく。

到達目標

A2105
積極的に自分の考えを述べられる。
論説的なスピーチやレポートが書ける。
N 1 (N2)レベルの語彙や文法を習得する。

成績評価方法

定期試験、ディスカッションへの参加度、スピーチ等。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション コミュニケーション活動 【復習】資料再読、練習問題（60分）	
2) 聴解・読解・ディスカッション 文法文型強化・演習 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
3) 聴解・読解・ディスカッション 文法文型強化・演習 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
4) 文法文型強化・演習 テーマ活動1に関する読解・考察 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク
5) 文法文型強化・演習 テーマ活動1に関する読解・考察 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
6) 文法文型強化・演習 テーマ活動1に関する発表、ディスカッション 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】課題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
7) 文法文型強化・演習 聴解・読解・ディスカッション 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
8) 文法文型強化・演習 テーマ活動2に関する読解・考察 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク
9) 文法文型強化・演習 テーマ活動2に関する読解・考察 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
10) 文法文型強化・演習 テーマ活動2に関する発表、ディスカッション 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】課題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
11) 文法文型強化・演習 聴解・読解・ディスカッション 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
12) 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する読解・考察 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク
13) 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する読解・考察 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
14) 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する読解・考察 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
15) 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する発表、ディスカッション 総括 【予習】テキスト一読（30分）	プレゼンテーション ディスカッション
授業外学習	
N2,N1レベルの語彙習得のために、学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
日本語総まとめN1(N2)文法 他、適宜資料や練習問題をを配布	日本語、日本語、日本語

課題に対するフィードバック

練習問題、発話文等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

テーマに関する調査、考察、発表をする。発表者の意見や主張に対して、的確な質問ができ、反対意見を明確に説明することができるようにしていく。活発なディスカッションを通して、応用力のあるコミュニケーション能力を身に付けていく。日本語能力試験N 1 (N2)合格に照準を合わせ、漢字・語彙・文法をより強化していく。

到達目標

A2106

テーマに沿って考察したことを発表できる。
 発言者の意見や主張に的確な質問ができ、反対意見を明確に説明できる。
 N 1 (N2)レベルの語彙や文法が使えるようになる。

成績評価方法

定期試験、レポート、プレゼンテーション等。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション コミュニケーション活動 文法文型強化・演習	ペア/グループワーク ディスカッション
2)	文法文型強化・演習 テーマ1に関する読解、考察 【復習】演習問題復習（30分）	ペア/グループワーク ディスカッション
3)	文法文型強化・演習 テーマ1に関する読解、考察 【予習】テーマ調査（30分） 【復習】テーマ考察・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
4)	文法文型強化・演習 テーマ1に関するレポート作成 【予習】レポート下書き（30分）【復習】レポート文推敲・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク
5)	文法文型強化・演習 テーマ1に関する発表、ディスカッション 【予習】発表練習（30分） 【復習】演習問題復習（30分）	プレゼンテーション ディスカッション
6)	文法文型強化・演習 テーマ2に関する読解、考察 【復習】資料再読・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
7)	文法文型強化・演習 テーマ2に関する読解、考察 【予習】テーマ調査（30分） 【復習】テーマ考察・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
8)	文法文型強化・演習 テーマ2に関する読解、考察 【予習】テーマ調査（30分） 【復習】テーマ考察・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
9)	文法文型強化・演習 テーマ2に関するレポート作成/推敲 【予習】レポート下書き（60分） 【復習】レポート文推敲・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク
10)	文法文型強化・演習 テーマ2に関する発表、ディスカッション 【予習】発表練習（30分） 【復習】演習問題復習（30分）	プレゼンテーション ディスカッション
11)	文法文型強化・演習 テーマ3に関する読解、考察 【復習】テーマ考察・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク
12)	文法文型強化・演習 テーマ3に関する読解、考察 【予習】テーマ調査（30分）【復習】テーマ考察・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク
13)	文法文型強化・演習 テーマ3に関するレポート作成/推敲 【予習】レポート下書き（60分） 【復習】レポート文推敲・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク
14)	文法文型強化・演習 テーマ3に関する発表、ディベート 【予習】発表練習（30分） 【復習】演習問題復習（30分）	プレゼンテーション ディベート
15)	文法文型強化・演習 テーマ3に関する発表、ディベート2 総括	プレゼンテーション ディベート
授業外学習		
N1(N2)レベルの語彙習得のため、学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的にどんどん自習すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
日本語総まとめN1(N2)文法 他、適宜資料や練習問題を配布		日本語、日本語、日本語

課題に対するフィードバック

作成した文章を自ら推敲できるように適切な助言をしていく。

備考

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐		関連する資格	

授業概要

対面で授業を行う。社会人として必要とされる程度の英語力を身につけるための基礎として、日常生活でよく使う単語を各授業で取り上げ、コミュニケーションへと繋げていく。また、必要に応じて文法の指導や英文のリーディング及びライティングの指導を行う。このクラスは、Aクラス（初級）です。

到達目標

- (A1109)
- 1 英語の基本的文法事項を理解することが出来る。
 - 2 英語で基本的なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート1の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 前期期間中に英語で口頭発表をしてもらう。
2) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『Seize the Core of the TOEIC Test』 安丸雅子他著 金星堂	英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。
 起きてから寝るまでの1日を通して基本文法と簡単な日常表現を学び、総合的な英語運用能力の育成に焦点を当てた授業を展開する。
 この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで450点、上級クラスは550点を目標に授業を展開する。

到達目標

- A1109
 1 英語の基本的文法事項を理解することが出来る。
 2 英語で基本的なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%
 授業態度・授業参加度 -----20%
 で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)				○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度				○			20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 Getting Up [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Review Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
3) Unit 2 Breakfast Time [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
4) Unit 3 getting Ready for School [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
5) Unit 4 First Class of the Day [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
6) Unit 5 Lunchtime [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
7) Unit 6 Shopping [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
8) Unit 7 Getting Lost [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
9) unit 8 In the Museum [予習]Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
10) Unit 9 At a Cafe [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
11) Unit 10 Part-time Job [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
12) Unit 11 After Work [予習] Words & Expressionsrdをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
13) Unit 12 Housework [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
14) Unit 13 Free Time at Home [予習] Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
15) Unit 14 The Weekend [予習]Words & Expressionsをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：English Day! [2023] Robert Hickling 金星堂	英語

課題に対するフィードバック

Review Quizは翌週の授業の冒頭に答え合わせをする。

備考

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。英文を速読するための知識・技術の向上を図る。一定の量の英文の内容に関してポイントを解説した後、出来るだけ早くパラグラフ・リーディングを行ってゆく。毎回演習問題を宿題として課す。訳読も行うが、様々な種類の英語の文章を出来るだけ効率的に読むための訓練を行うことをあくまでもこの科目の主眼とする。このクラスは、Aクラス（初級）です。

到達目標

- (A1110)
- 1 英語の文法事項を深く理解することが出来る。
 - 2 英語で社会人としてのコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート2の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 後期間中にレポートを提出してもらおう。
2) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『Best Practice for the TOEIC L&R Test－Pre-Intermediate－』 吉塚弘他編著 成美堂 別途、各自でTOEICの問題集を購入してもらいたい。	英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。
 コミュニケーションに最低限必要な基礎文法をベースに、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能全てのアクティビティを行いながら、{使える}英語の習得を目指す。
 この講義は学生の英語レベルにより初級、上級クラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで450点、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

- A1110
 1 英語の文法事項を深く理解することが出来る。
 2 英語で社会人としてのコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験(中間・期末) -----80%
 授業態度・授業参加度 ----20%
 で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 Introduce Yourself [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
3) Unit 2 Introduce your Friends [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
4) Unit 3 Write about Your Weekend [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
5) Unit 4 Write about Your Part-time Job [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
6) Unit 5 Write about Your Summer Plans [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
7) Unit 6 Give Directions to Your House [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
8) Unit 7 Write about Your Favorite Movie [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
9) Unit 8 Write about Things You Enjoy [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
10) Unit 9 Write about Your Schoolwork [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
11) Unit 10 Give Your ideas: How to Improve your English [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
12) Unit 11 Explain Japanese Foods [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
13) Unit 12 Give Your Ideas about sports [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
14) Unit 13 Give Your Ideas Social Media [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
15) Unit 14 Write to Yourself 10 Years From Now [予習] Warm-upをしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト Let' Write & Learn English --from Sentence to Paragraph. 角山照彦, Timothy F. Hawthorne[2025] 成美堂	英語

課題に対するフィードバック

小テストは翌週の授業の冒頭に答え合わせをする。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	ビジネス英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	谷國 晶洋		関連する資格	

授業概要

対面で授業を行う。ビジネスの世界で必要とされる英語の運用力を養成する。リスニングを中心としたビジネス英語総合教材を使った演習では、さまざまなビジネスシーンや話題を取り扱った実用的な文書を用いて、ビジネス英語特有の表現や語彙を身につけ、ビジネス関係の記事では、時事的表現の基礎知識を養う。また、授業で学習したことに基づき、課題英作文も行う予定。

到達目標

A2101

1ビジネスに使われる英単語を正確に発音できる。2ビジネス英語のライティングの技術を身につける。3英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%
 授業態度・授業参加度 ----20%
 で、評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)				○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度				○			20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 Job Hunting (1) -- Writing a Resume [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
3) Unit 2 Job Hunting (2) -- Writing an Application Letter [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
4) Unit 3 Job Hunting (3) -- Arranging an Interview [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
5) Unit 4 Job Hunting (4) -- A Job Interview [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
6) Vocabulary Quiz 1: At University and Work [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
7) Unit 5 Job Offer [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
8) Vocabulary Quiz 2: A Monthly Paycheck Voucher [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
9) Unit 6 The First Day at Work [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
10) Unit 7 Prepareing to Work [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
11) Vocabulary Quiz 3: Office Supplies [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
12) Unit 8 Telephoning -- (1) [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
13) Unit 9 Telephoning -- (2) [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
14) Unit 10 Telephoning -- (3) [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
15) Vocabulary Quiz 4: Telephoning [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
授業外学習	
予習は必ず行うこと。課題英作文は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：Business Talk.[2018]城 由紀子 他編著 成美堂	心理学ビジネス英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	ビジネス英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	谷國 晶洋		関連する資格	

授業概要

対面で授業を行う。心理学ビジネス英語 に引き続き、ビジネスの世界で必要とされる英語の運用力を養成する。リスニングを中心としたビジネス英語総合教材を使った演習では、さまざまなビジネスシーンや話題を取り扱った実用的な文書を用いて、ビジネス英語特有の表現や語彙を身につけ、ビジネス関係の記事では、時事的表現の基礎知識を養う。また、授業で学習したことに基づき、課題英作文も行う予定。

到達目標

A2102

1ビジネスに使われる英単語を正確に発音できる。2ビジネス英語のライティングの技術を身につける。3英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%
 授業態度・授業参加度 ----20%
 で、評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)				○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度				○			20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 11 Visiting a Client [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
3) Unit 12 Receiving a Visitor (1) -- Preparatrion [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
4) Unit 13 Receiving a Visitor (2) -- Meeting at Narita Airp@ort [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
5) Unit 14 Receiving a Visitor (3) -- A Business Lunch [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
6) Unit 15 Receiving a Visitor (4) -- Visiting Factory [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
7) Unit 16 Receiving a Visitor (5) -- Sightseeing in Kyoto [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
8) Unit 17 Working for an International Exhibition [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
9) Unit 18 Prepareing for the First Overseas Business Trip [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
10) Unit 19 The First Overseas Business Trip (1) -- At Los Angeles Airport [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
11) Vocabulary Quiz 5: An Overseas Business Trip [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
12) Unit 20 The First Overseas Business Trip (2) -- Welcome Party [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
13) Unit 21 The First Overseas Business Trip (3) -- Presenstation [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
14) Unit 22 Writing a Thank you Letter [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
15) Vocabulary Quiz 6: Office Talk [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
授業外学習	
予習は必ず行うこと。課題英作文は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：Business Talk.[2018]城 由紀子 他編著 成美堂	心理学ビジネス英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	心理学英語文献演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。英文を正確に和訳するための知識・技術の向上を図る。一定量の英文の内容に関してポイントを解説した後、重要な構文を含む文章を中心に訳出してゆく。毎回演習問題を宿題として課す。英文雑誌や大学院入試における過去の英語の問題を主な教材としながら、アカデミックな英語にできるだけ慣れるように多くの文章を読みこなしてゆく。

到達目標

- (A2103)
1. 英文を正確に和訳することができる。
 2. 基本的な英文読解の技術を身につける。
 3. 英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：英語論文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 心理系の英語の特徴について 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 心理系の英文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 単語レベルの精読の仕方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) センテンスレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) パラグラフレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 大学院入試問題演習 1 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 大学院入試問題演習 2 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 大学院入試問題演習 3 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 大学院入試問題演習 4 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 大学院入試問題演習 5 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 大学院入試問題演習 6 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 大学院入試問題演習 7 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) 英語論文リーディング指導の仕上げ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 英語論文リーディング指導のまとめ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリント類を配布する 参考書：宇部フロンティア大学大学院等の過去の問題	心理学英語文献演習

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	心理学英語文献演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。心理学英語文献演習 に引き続き、英文を正確に和訳するための知識・技術の向上を図る。一定量の英文の内容に関してポイントを解説した後、重要な構文を含む文章を中心に訳出してゆく。毎回演習問題を宿題として課す。英文雑誌や大学院入試における過去の英語の問題を主な教材としながら、アカデミックな英語にできるだけ慣れるように多くの文章を読みこなしてゆく。

到達目標

- (A2104)
1. 英文を正確に和訳することができる。
 2. 基本的な英文読解の技術を身につける。
 3. 英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学英語文献演習 で学習したことの振り返り 英語論文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 心理系の英語の特徴について 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 心理系の英文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 単語レベルの精読の仕方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) センテンスレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) パラグラフレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 大学院入試問題演習 1 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 大学院入試問題演習 2 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 大学院入試問題演習 3 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 大学院入試問題演習 4 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 大学院入試問題演習 5 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 大学院入試問題演習 6 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 大学院入試問題演習 7 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) 英語論文リーディング指導の仕上げ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 英語論文リーディング指導のまとめ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリント類を配布する 参考書：宇部フロンティア大学大学院等の過去の問題	心理学英語文献演習

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	白石 義孝	関連する資格		

授業概要

本授業は、人が生まれ、学び、働き、家族を形成し、老い、死に至るまでの過程を「社会との関係」という視点から総合的に理解することを目的とする。私たちの生活は個人の選択だけで成り立つものではなく、制度、文化、価値観、歴史的背景など多様な社会的要因と深く結びついている。本授業では、それらを社会学の基本概念と理論を用いて読み解き、個人と社会の相互関係を多面的に捉える力を養う。

また、本授業は高等学校科目「公共」で学習した、民主主義、法、社会参加、持続可能性、合意形成などの内容を基盤とし、それらを社会的に再検討する位置づけにある。公共で扱われる現代社会の課題を、家族、教育、労働、福祉、科学、医療、ジェンダーなどの領域から具体的に考察し、制度や社会構造との関係を理解する。

授業では、出生、教育、労働、結婚・家族、病い・老い、死、科学・学問といった人生過程に沿ったテーマを取り上げ、各章の内容を軸に講義を進める。さらに、少子高齢化、教育格差、雇用の変化、社会保障、AIの進展、環境問題などの時事的課題を適宜取り入れ、ニュースや統計資料の分析を通して、社会問題がどのように形成され、認識されるのかを考察する。

学習方法としては、講義に加え、テキスト講読、小課題、ミニディスカッションを取り入れ、受講者自身の経験や関心を出発点に思考を深める。身近な出来事を「当たり前」として受け止めるのではなく、「なぜそうなっているのか」「社会の仕組みとどのように関係しているのか」と問い直す姿勢を重視する。

本授業を通して、社会学の基本概念を理解するとともに、現代社会の諸問題を自らの生活と結びつけて考える力を育成する。社会を単なる背景としてではなく、自らが関わり続ける対象として捉え、社会との関係の中で自己の生き方を再考する契機となることを目指す。

到達目標

A1301

社会学の基本概念と理論を用いて読み解き、個人と社会の相互関係を多面的に捉える力を養う。

高等学校「公共」で扱われる現代社会の課題を、家族、教育、労働、福祉、科学、医療、ジェンダーなどの領域から具体的に考察し、制度や社会構造との関係を理解する。

成績評価方法

講義中に課す宿題や小レポート等、および定期試験によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)			○		○		70
小テスト、授業内レポート			○		○		30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス：社会的に社会をみるとは ・授業の目的／評価方法／社会学の基本的視点 ・「公共」での学びとの接続	
2) 序章 人と「社会」のかかわり方（テキストの予習15分程度） ・個人と社会の関係／社会的存在としての人間 ・社会的想像力の基礎	興味を持った時事問題の発表
3) 第1章 出生（テキストの予習15分程度） ・人口動態／少子化・家族政策（時事：出生率・子育て支援） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
4) 第2章 学ぶ／教える（テキストの予習15分程度） ・教育の社会的役割／学校と社会化 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
5) 第2章 学ぶ／教える（テキストの予習15分程度） ・教育格差・教育機会の不平等（公共・教育政策との接続） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
6) 第3章 働く（テキストの予習15分程度） ・労働の社会学／職業と社会構造 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
7) 第3章 働く（テキストの予習15分程度） ・雇用の変化／非正規雇用・若者のキャリア（時事：働き方改革・AI） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
8) 第4章 結婚・家族（テキストの予習15分程度） ・家族の社会学／家族形態の変化 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
9) 第4章 結婚・家族（テキストの予習15分程度） ・ジェンダー／育児・介護と社会制度 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
10) 第5章 病い・老い（テキストの予習15分程度） ・医療・福祉・高齢社会（時事：社会保障・地域包括ケア） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
11) 第6章 死（テキストの予習15分程度） ・死生観と社会／儀礼・ケア・尊厳 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
12) 第7章 科学・学問（テキストの予習15分程度） ・知識社会／科学と社会の関係（時事：AI・研究倫理） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
13) 終章 「社会」と人とのかかわり方（テキストの予習15分程度） ・人生と社会の接点の総合的理解 ・公共性・市民性との接続 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った時事問題の発表
14) 時事問題の社会的分析 ・人口問題／格差／環境／情報社会などをグループ検討 ・ニュース・統計資料の読み取り	興味を持った時事問題の発表 グループワーク
15) 総括・期末試験およびレポート作成の指針 ・社会的視点の整理 ・「公共」での学びとの統合	興味を持った時事問題の発表
授業外学習	
毎回の授業開始時に「この1週間で興味を持ったニュース」を発表してもらうので、事前に調べておいてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：『社会学入門〔第2版〕 社会とのかかわり方』（筒井 淳也（著）、前田 泰樹（著）、有斐閣）	

課題に対するフィードバック

授業時およびClassroomからの質問は次回の授業開始時に回答する。

備考

- ・授業は一方的な講義ではなく、みなさんとの対話形式で行います。毎回のテーマについて必ず予習をしてから受講してください。
- ・留学生が受講する場合の日本語能力試験のレベルはN2より少し難しいレベルです。
- ・高等学校「公共」の知識があることを前提とします。高等学校で使用した資料集があれば活用してください。

科目名	法学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二		関連する資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 社会・経済生活や相談援助活動における法の役割・機能を念頭に、憲法・民法・刑法・行政法などについての基礎知識を修得する。
 また、法の全体像を認識するために、法の主要領域（憲法・民法・刑法・行政法など）の実例から、法の基本的な原理・原則および構造を理解するとともに、各法領域の学習の主要な部分を占める法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を身につける。

到達目標

A1302
 法の主要な領域の基礎知識を理解し、説明することができる。
 法の基本的な原理・原則および構造ならびに法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を理解し、説明することができる。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							67
小テスト、授業内レポート							28
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 紛争解決の方法、六法の使い方・読み方。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	『ポケット六法』の凡例を読んで、六法を実際に試してみる。
2) 紛争解決の方法、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
3) 契約（成立、契約の種類、契約自由の原則）、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
4) 契約（約束と契約）、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
5) 契約（取消しと原状回復義務、追認） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
6) 契約（代理制度） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
7) 契約の主体（自然人と法人） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
8) 時効制度 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
9) 損害賠償 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
10) 犯罪（成立と不成立） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
11) 犯罪者の処遇（刑罰制度、施設内処遇と施設外処遇） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
12) 刑事裁判（裁判員裁判） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
13) 憲法と人権 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
14) 制定法の適用範囲/制定法の種類と効力 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
15) 制定法の解釈方法 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用しませんが、六法は必携です。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『ポケット六法令和8年版』（有斐閣、2025年）。 テキストは用いないが、六法は学習に必要。受講にあたっては、『ポケット六法令和8年版』（有斐閣、2025年）を持参すること。第1回目の授業から使用します。	

課題に対するフィードバック

小テストの問題解説は、実施当日または次回の授業で行う。

備考

科目名	経済学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	渡邊 利文		関連する資格	

授業概要

本授業は、テレビ・新聞・インターネットなどのメディアで報道される経済社会の事象が理解できるための知識を習得することが目的です。そのためには、経済学の基本的な概念や経済システムの動きを知る必要があります。だから、この授業では、結論を優先した学習を進めます。

経済学の理論は、大きく分けると価格論と所得論から成り立っています。価格理論は、ミクロ経済学とも言われ、企業の活動、消費者の行動、そして、その集合体である市場活動を分析します。市場での価格の動きが順調に進んでいけば、経済活動は良好に循環しているとみるのが基本的な考え方です。ところが、現実にはこの価格変動はいろいろな要因や制約条件によって妨げられています。その原因を分析するのもミクロ経済学の課題です。

所得理論は、マクロ経済学とも呼ばれ、財市場、資産・貨幣市場、労働市場、そして為替市場などを一国全体の経済活動として扱います。これらの活動が順調に進んでいけば景気はよく一国全体の所得（GDP）は増加しますが、そうでないと不況になり所得は減少します。その要因を分析するのもマクロ経済学の課題です。

経済学の学習では、結論に至る過程に多くのスペースを割り当てますが、他方では、問題を解くためには結論を知っていることも重要になります。そこで、経済学の基本的概念をしっかりと抑えたうえで、経済モデルの理解や定義を知るためには、結論を押さえておいてから導出過程を追っていくほうが効率的に学習を進めることができます。

到達目標

(A1303)
 経済学に関する基本的な概念や経済活動の特徴・考え方を習得し、社会の現状や課題について理解を深めることができるようになること。
 自らが積極的に経済社会の動向について関心をもつことができるようになること（時事に強くなる、ニュースの深層がわかる）。

成績評価方法

授業への貢献度、課題や各章の理解度テストの内容などから、総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 企業行動の分析 費用関数、費用に関する諸概念、利潤最大化行動、供給関数。予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
2) 2. 消費者行動の分析 効用関数、予算制約、効用最大化、需要関数、需要の所得弾力性、需要の価格弾力性、所得効果と代替効果、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
3) 3. 市場均衡と厚生分析 市場均衡、市場の調整過程、余剰分析、パレート効率性、国際貿易と比較生産費説、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
4) 4. 不完全競争（その1） 不完全競争市場、独占市場、寡占市場、独占的競争、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
5) 5. 不完全競争（その2） 不完全競争市場、独占市場、寡占市場、独占的競争、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
6) 6. 市場の失敗と政府の役割（その1）市場機構の長所と市場の失敗、外部効果、公共財の供給、費用逓減産業、情報の不完全性、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
7) 7. 市場の失敗と政府の役割（その2）市場機構の長所と市場の失敗、外部効果、公共財の供給、費用逓減産業、情報の不完全性 予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
8) 8. 国民経済計算と主要経済指標（その1） GDP（国内総生産）、物価指数、景気動向指数、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
9) 9. 国民経済計算と主要経済指標（その2） GDP（国内総生産）、物価指数、景気動向指数、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
10) 10. 財市場の分析（その1） 均衡国民所得の決定、乗数理論、需給ギャップ、IS曲線、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
11) 11. 財市場の分析（その2） 均衡国民所得の決定、乗数理論、需給ギャップ、IS曲線、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
12) 12. 貨幣市場とIS-LM分析（その1） 貨幣供給、貨幣需要、LM曲線、IS-LM分析、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
13) 13. 貨幣市場とIS-LM分析（その2） 貨幣供給、貨幣需要、LM曲線、IS-LM分析、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
14) 14. 雇用と物価水準 AD曲線、労働市場とAS曲線（総供給曲線）、AD-AS分析、失業、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
15) 15. 国際マクロ経済学 為替レート、国際収支、マンデル=フレミングモデル、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストや資料は授業の初めに配布します。従って、既存の出版物は利用しません。学習を深めたい学生は、図書館の経済学の本を利用してください。	

課題に対するフィードバック

各章の学習が修了後、簡単な確認用の小テストを行います。インプットした知識が十分なものかどうかをこのテストで確認してください。

小テストは、格好の復習材料です。しっかり何度も再学習に利用してください。

備考

この小テストは、授業評価の対象としますので、定期試験は実施しません。

科目名	経営学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	渡邊 利文	関連する資格		

授業概要

日本には約350万社の企業が存在しています。その内の99.7%は中小企業です。大企業は0.3%しかありません。従業員は約7割が中小企業で働き、日本の年間の総付加価値（GDP）の5割強は中小企業が生産しています。従って、中小企業のビジネス活力が日本経済の活力を支えているといっても過言ではありません。しかも、この中小企業の多くが現在ほとんど株式会社の企業形態をとっています。だから、経営学の基本的な知識を学ぶためには、まず、株式会社の基本的な知識を身につけておく必要があります。

そこで、この授業では、「会社法」をベースにして株式会社の構造や機能を中心に学習し、株式会社の基本的知識を習得します。そして同時に、株式会社の社会的役割と責任についても学びます。

到達目標

(A1304)

入学前に経営的知識がなかった学生であっても、「株式会社とは何か」を理解し、経営学的な見方、とらえ方、考え方を十分に身につけ、他者に説明することができるようになることです。

成績評価方法

授業内に小テストを実施し、復習課題の提出等にもとづき、総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 株式会社と持分会社の違い 合名会社、合資会社、合同会社の特徴と株式会社との違い予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
2) 2. 株式会社の種類（機関設計） 「株式譲渡制限の有無」「大会社・大会社以外」の2基準で株式会社の形態を4つに分類、予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
3) 3. 株式会社の種類（機関設計）大企業の監査機能を強化する制度として、指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社がある予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
4) 4. 株主と株主総会 株主の権利と役割、株主総会の種類と特徴予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
5) 5. 取締役と取締役会 取締役の義務と役割、取締役会の特徴予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
6) 6. 監査役と監査役会 監査役の特権と義務、監査役会の特徴予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
7) 7. 会計監査人、会計参与 会計監査人と会計参与の特徴予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
8) 8. 株式会社の設立 発起設立と募集設立の特徴と相違 定款への絶対的記載事項と相対的記載事項 予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
9) 9. 株式会社の設立その2 発起設立と募集設立の特徴と相違 定款への絶対的記載事項と相対的記載事項予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
10) 10. 株式の種類と授権資本制度 9つの種類株式と株式併合と株式分割、新株予約権等の特徴 資本金と剰余金の特徴について予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
11) 11. 株式の種類と授権資本制度その2 株式併合と株式分割、新株予約権等の特徴 資本金と剰余金の特徴について予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
12) 12. 組織再編その1 事業譲渡、合併、会社分割、株式交換と株式移転の特徴について 予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
13) 13. 組織再編その2 有限責任事業組合（LLP）と中小企業等協同組合の特徴 予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
14) 14. 独占禁止法と製造物責任法（PL法）その1 不当な取引制限と不公平な取引方法予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	
15) 15. 独占禁止法と製造物責任法（PL法）その2 不法行為とPL法との違い、不正競争防止法との関連性 予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>特定のテキストは指定しません。授業中にテキストのコピーやレジメを配布します。</p> <p>参考書は図書館の本を利用してください。</p> <p>株式会社や会社法、企業形態論などの本を参照してください。</p> <p>授業中に数回の小テストを実施しますので、学期末の試験は行いません。</p>	<p>経営組織論、組織行動論、経営戦略論、マーケティング論、経済学</p>

課題に対するフィードバック

テキストのコピーを配布します。授業の後も、しっかり熟読し、復習してください。テストは返却し翌週の授業で解説します。

備考

科目名	地域文化論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	内田 鉄平	関連する資格	学芸員 高等学校教諭(地理歴史) 専修免許	

授業概要

総論では「文化とは何か」について述べた上で、比較文化論的な視点から日本文化の大づかみな特徴を述べる。各論では、山口県及び宇部市の文化をはじめとする日本の文化のさまざまな側面をとりあげて、文化との関連で日本社会の構造的な特性を理解してもらうようにする。(実務経験について)専修大学において助手として勤務し、日本史・世界史双方の視点から文化史を説明することができる。複数の資料館勤務のなかで展示業務を経験し、地域文化について実例を交えて説明することができる。宇部市における文化振興・文化創造に係る委員を歴任し、宇部市の地域文化について説明することができる。

到達目標

A1305
日本独自の文化について世界史的な視野及び地域独特な風習や伝統を踏まえ理解する。特に宇部市の地域文化について市の歴史や産業を参考に理解する。

成績評価方法

期末試験と講義の参加意欲で評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 香川昌子と女子教育 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
2) 食文化 和食の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
3) 出帆文化の隆盛 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
4) 道具と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
5) 芸能文化から見る相撲 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
6) 文化を伝える-山口県の方言 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
7) 祭礼と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
8) 北浦の捕鯨と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
9) 芸能文化と山口県 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
10) 山口・宇部の食文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
11) 宇部市の発展と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
12) 彫刻のまち宇部の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
13) 宇部市の文化財 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
14) 宇部村から宇部市へ-石炭産業と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
15) 総論（講義全体を通して学生の理解度を考慮して適宜に補足説明を行う）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	講義全体の総括として質問を受ける。
授業外学習	
講義で適宜に参考文献を紹介しますので、余暇の時間に余裕があれば読んでもらう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリントを配布します。	

課題に対するフィードバック

希望者がいれば、期末試験の成績を開示します。

備考

科目名	ジェンダー・人権論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二		関連する資格	

授業概要

判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権（包括的基本権、平等権、自由権、参政権、社会権）を理解する。
また、子どもの権利やジェンダーに関する諸問題についても考える。

到達目標

A1306

- 立憲主義の意義を理解する。
- 主要な人権の内容を理解する。
- 子どもの権利およびジェンダーの観点から人権を理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							65
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 憲法と人権 【予習】立憲主義について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 人権の分類（自由権・参政権・社会権）とその概要 【予習】憲法という語を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 子どもの権利の国際的展開 【予習】子どもの権利の歴史について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
4) 子どもの意見表明権 【予習】日本における子どもの権利の受容状況を調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
5) 子どもの権利の保障構造 【予習】子ども・父母・国の三者関係について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 人権の享有主体 【予習】テキストTheme1、2および14を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
7) 幸福追求権 【予習】テキストTheme3および4を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
8) 女性の権利と人工妊娠中絶 【予習】日本の人工妊娠中絶をめぐる法状況を調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
9) 女性の権利と社会的慣行 【予習】日本における「氏」をめぐる法状況を調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
10) 法の下の平等 【予習】テキストTheme5を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
11) 法の下の平等 【予習】テキストTheme6を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 精神的自由権 【予習】テキストTheme7を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
13) 精神的自由権 【予習】テキストTheme8および9を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
14) 経済的自由と社会権 【予習】テキストTheme10および11を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
15) 人身の自由 【予習】テキストTheme13を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用します。また、事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門 [第7版]』（有斐閣、2025年）。その他参考となる文献は、適宜授業中に紹介します。	

課題に対するフィードバック

小テストの解答は、実施当日または次回の授業において解説します。

備考

科目名	時事問題講読			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

ディプロマポリシーのうち、「知識の応用力と判断力」を高めるための演習です。最初の1、2回はビジネスの各分野（例えば、エネルギー、車、宇宙、農業、AIなど）の現状と将来性について概要を説明する。3回目より時事問題で各自が興味をもったテーマを選んでエビデンスに基づいてプレゼンテーション（そのテーマの現状と将来性）を行い、議論を通じて認識を深める。なお、エビデンスについては、新聞やネットの情報を使って、参考となる統計値などを用いて、作成する。加えて、各分野の将来性については心理面からのアプローチについても言及する。

授業の評価は、エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

到達目標

A1307

時事問題について、自分の考えを主張できるようにする。また、刻々と変化する時事問題についての知識を常にアップデートできるように実力をつける。

成績評価方法

各回のプレゼンテーションへの参加、質問などの積極的な取り組みを重点的に評価する。また、資料の作成について評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 科学技術と社会とのかかわりについて考えていくための考え方の枠組み、スキル、背景知識などを身に付けてもらうための基本的な話をします。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 科学技術についてよく考えるための手助けとして、クリティカルシンキングと科学技術社会論をミックスしたものを話す。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 議論の吟味の大まかな流れとして（1）議論の特定 （2）言葉の意味の確定 （3）前提の検討 （4）推論の検討について説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 予防原則、思いやりの原理、EBM（根拠に基づく医療）、統計リテラシー、シミュレーションの信頼性などについて説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) ウイルスについての立ち位置について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) エネルギー；化石燃料、再生可能エネルギー、原子力、人工光合成などについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 地球温暖化について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 自然災害について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 宇宙産業について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) AI・ロボットについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 量子論、量子コンピューターなどについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 食糧について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 医療について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) メタバースについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 全体の総まとめをする。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	時事問題講読

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	時事問題講読			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

最初に（第1回）、 の取り組み状況と達成度について議論を通じて理解を深めた上で、 の取り組みを始める。 の取り組みをさらに掘り下げた内容を盛り込んで、エビデンスを作成し、プレゼンテーションを行い、議論を通じて時事問題への考え方、対処法について学修する。この授業終了時には、ディプロマポリシーのうち、「知識の応用力と判断力」が高まっていることを目標とする。

授業の評価は、エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

到達目標

A1308

新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 科学技術と社会とのかかわりについて考えていくための考え方の枠組み、スキル、背景知識などを身に付けてもらうための基本的な話をします。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 科学技術についてよく考えるための手助けとして、クリティカルシンキングと科学技術社会論をミックスしたものを話す。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 議論の吟味の大まかな流れとして（1）議論の特定（2）言葉の意味の確定（3）前提の検討（4）推論の検討について説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 予防原則、思いやりの原理、EBM（根拠に基づく医療）、統計リテラシー、シミュレーションの信頼性などについて説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) ウイルスについての立ち位置について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) エネルギー；化石燃料、再生可能エネルギー、原子力、人工光合成などについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 地球温暖化について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 自然災害について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 宇宙産業について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) AI・ロボットについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 量子論、量子コンピューターなどについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 食糧について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 医療について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) メタバースについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 全体の総まとめをする。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	時事問題講読

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	生物学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	鶴原 章子	関連する資格		

授業概要

生物学は急速な進展を続けており、その成果として遺伝子組換え作物や新薬の創出、遺伝子診断、着床前診断にみられるように、従来に増して格段に我々の生活に大きな影響を与えるようになっている。本講義では、高校までの生物をベースに、生体の持つ機能、生命を維持する機構、生物の多様性、進化等について学ぶ。

到達目標

A1309

1. 生命のなりたちを分子のレベルで理解する。
2. 人体のなりたちと統合のしくみを理解する。
3. 生命をめぐる現代の課題について正しく理解する。

成績評価方法

演習問題・小テストおよび最終試験結果をあわせて総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生物とは その起源と進化の道のり 【復習】プリント 見直し（15分）	演習問題
2) 生命、その起源と進化の道のり 【復習】プリント 見直し（15分）	演習問題
3) 生命、その起源と進化の道のり 【復習】プリント 見直し（15分）	演習問題
4) 生命、その起源と進化の道のり 【復習】プリント 見直し（15分）	演習問題
5) 生命を演ずる分子たち：水、アミノ酸とタンパク質 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	演習問題
6) 生命を演ずる分子たち：糖質と脂質 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	演習問題
7) 生命の最小単位「細胞」：細胞の構造と細胞小器官 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	演習問題
8) 生命の最小単位「細胞」：細胞の構造と細胞小器官 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	演習問題
9) 生命を演ずる分子たち：ヌクレオチドと核酸 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	演習問題
10) 生命を演ずる分子たち：ヌクレオチドと核酸 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	演習問題
11) 生体の体内環境と体外環境 【復習】プリント 見直し（15分）	演習問題
12) 生体の体内環境と体外環境 【復習】プリント 見直し（15分）	演習問題
13) 体液の組成と循環系 【復習】プリント 見直し（15分）	演習問題
14) 体液の組成と循環系 【復習】プリント 見直し（15分）	演習問題
15) 人類の進化 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	演習問題
授業外学習	
講義で扱った項目に関する演習問題を宿題とします。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：伊藤明夫著「いのちの科学」（培風館） プリント配布	

課題に対するフィードバック

演習問題についての解説

備考

科目名	健康科学（食と健康）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	丹 信介、田坂 克子		関連する資格	

授業概要

本授業は対面授業とする。
 本講義では、健康の定義を明らかにし、生涯を通して健康なライフスタイルを確立するための方法を身につける。本講義では、食および運動と生活習慣病との関連を中心に取り上げ、栄養学および食品学の観点から食と健康の関係を考察し、食生活の重要性を理解する。また、健康の維持・増進における身体活動・運動の重要性を運動生理学の観点から理解し、運動と栄養との係わりを含め有効な身体活動・運動の実践方法について理解する。

(丹 信介/8回)

現代生活における健康と身体活動・運動の重要性について理解し、ライフステージにおける健康維持のための身体活動や運動のあり方を考える。

(田坂 克子/7回)

健康づくりと食生活の重要性について理解し、生活習慣病予防に重要な食生活改善の取り組みや食の安全性について考える。

実務経験：田坂克子は管理栄養士として、山口大学医学部附属病院で、入院外来患者に対して栄養治療業務や住民に対して栄養教育などの業務に従事した経験から、学生に健康について栄養面から講義する。

到達目標

A1310

具体的に以下の観点から到達目標を設定している。

【知識・理解の観点】

1. 現代社会における健康問題について説明できる。 2. 現代生活における健康と栄養、身体活動・運動の意義について説明できる。 3. 生活習慣病の予防、介護予防や医療費の増大への栄養、身体活動・運動の寄与について説明できる。 4. 栄養、身体活動・運動と心身の関連について説明できる。 5. 健康な生活を送るための具体的な栄養、身体活動・運動の実践方法について説明できる。

【思考・判断の観点】

1. 授業で取り上げた各領域について、自分の意見を論理的に述べるができる。

【関心・意欲・態度の観点】

1. 健康、栄養、身体活動・運動への関心を広げ、問題意識を高めて、自らその解決方法を探ろうとすることができる。 2. 日常生活の中で健康問題や栄養、身体活動・運動について主体的に考えることができる。

【技能・表現の観点】

1. 現在および将来にわたり、健康保持増進のための方策を立て実践することができる。

成績評価方法

授業態度、レポート及び試験等により総合的に評価する。

具体的には以下とする。

1. 授業内で発表、レポートを少なくとも数回は行う。
2. 関心のある健康問題に関するレポートを課すことがある。
3. 中間および最終試験を実施する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、健康づくりの捉え方、生活習慣病と身体活動・運動（循環器疾患を中心に）（担当：丹 信介）【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	ペア・ワーク
2)	生活習慣病と身体活動・運動（脂質異常症、高血圧、糖尿病、がんを中心に）（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
3)	介護予防と身体活動・運動（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	ペア・ワーク
4)	介護予防につながる身体活動・運動実践方法（認知症、筋量の増加を中心に）（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	軽運動の実習
5)	介護予防につながる身体活動・運動実践方法（骨量の増加、低下予防を中心に）（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	ペアワーク
6)	生活習慣病予防につながる身体活動・運動実践方法（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	簡単な測定実習（脈拍数の測定）
7)	肥満・メタボリックシンドロームと身体活動・運動（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	簡単な演習（消費エネルギー計算）
8)	健康づくりと身体活動・運動についての総括（担当：丹 信介） 中間テスト 【復習】これまで学習した内容について振り返る（60分）	
9)	健康づくりと食生活（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
10)	食生活の変遷と栄養の問題点（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
11)	生活習慣病の予防(1)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
12)	生活習慣病の予防(2)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	グループワーク
13)	食生活改善への施策（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
14)	食の安全性と表示（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	小テスト
15)	総括（担当：田坂克子） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
授業外学習		
当該授業の前週に、次週の授業の資料配布と参考文献、あるいはキーワードを提示する。それについて予習を行い授業に参加すること。 授業内容について毎回の授業時の最後、あるいは授業後にまとめておく。それらを参考に課題レポート（授業内・宿題）を作成し提出する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用せず、適宜、書き込み式資料を毎回配布する。		

課題に対するフィードバック

提出された課題レポートについては翌週コメントを付けて返す。

備考

私語は慎んでください。また、携帯電話の使用は原則禁止です。

科目名	人体の構造と機能及び疾病			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

私たちの身体の中にはさまざまな臓器があり、生命を維持するためのそれぞれ大切な機能を果たしている。それらの機能は全体として体内の恒常性（ホメオスタシス）を保つためにお互いに協力し合って機能している。その調節が破綻し、恒常性が失われた状態が疾病である。心と身体は密接に関係しており、心理職の実践において適切に対応するためには身体の健康と疾病に関する基本的知識を獲得することは不可欠である。この授業では人体の構造と機能及び疾病に関する基本的知識を学ぶ。医師としての実務経験をもとに人体の構造と機能及び疾病に関する授業を行う。

到達目標

A1311a

1. 人体の解剖と生理を理解する。
2. 主な症候が起こる仕組みを理解する。
3. 心理的な支援が必要な主な疾病の概要を理解する。

成績評価方法

試験などによる総合評価

15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ小テスト・期末試験の得点に関わらず不合格とする。

成績は出席状況、毎回実施する小テストの成績、期末試験の成績により総合評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 医学総論（教科書11～56、174～179ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2) 2. 細胞と組織（教科書60～63、80～81、146～147ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3) 3. 主要な症候（教科書94～107、109、132～133ページ） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4) 4. 腫瘍総論、緩和医療（教科書110～112、137～144ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5) 5. 消化器系（教科書68～71、116～122ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6) 6. 循環器系（教科書65～68、112～113、209～217ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7) 7. 呼吸器系、血液・免疫系（教科書71～78、113～116、169～174ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8) 8. 内分泌・代謝系（教科書86～89、122～123、191～199ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9) 9. 腎・泌尿器系（教科書78～80、123～125ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10) 10. 脳・神経系（1）（教科書80～86ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11) 11. 脳・神経系（2）（教科書127～128、162～168、181～191ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12) 12. 皮膚・感覚器系と疾病（教科書91～93、130～132ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13) 13. 筋・骨格系（教科書63～65、129～130、164～165ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14) 14. 生殖器系、遺伝性疾患（教科書89～90、125～127、145～159ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15) 15. 依存症（教科書200～208ページ） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと 復習では、小テスト選択肢の ×の理由を自分の言葉で説明できるようになること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は斎藤清二著「公認心理師の基礎と実践 第21巻 人体の構造と機能及び疾病」（遠見書房）を指定する。 参考資料として「授業ノート」、「小テストの問題と解答」、「公認心理師国家試験過去問の解説」をGoogle Classroom（クラスコード「vswplbc」）に掲載しているので参照すること	

課題に対するフィードバック

小テストの解答と学習のポイントを解説する。
前回の授業後の質問について、次回の授業の初めにフィードバックする。

備考

科目名	動物と心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	榎本 俊哉、森本 裕子、近藤 紀子、高岡 祥子、堀 裕亮、山本 真也		関連する資格	

授業概要

本授業は遠隔で実施する。心理学は一般的に、ヒトの心や行動の全般を扱う学問領域とされているが、研究対象はヒトだけではない。この授業では、心理学で動物を対象に研究する意義について知ることからはじめ、次に、各分野の専門家が様々な動物の多様な心のはたらきや、動物を対象にした研究から分かってきたこと、心理学における動物の役割などについて幅広く紹介する。動物を対象とした研究には私たちと生活をともにするコンパニオン動物（ネコ、イヌ）、人の生活をサポートしてくれる使役動物（ウマなど）、私たちとは生活圏を異にする野生動物によるものがある。これらの三つの視点で、動物の心の研究を知ること、それぞれの動物の知性と人間の知性とを比較することを試みる。そして、私たち人間の心と社会の独自性を知ることをめざす。さまざまな動物の心にふれた後に、動物の心をどのように理解していくのかに役立つコクスキュルの環世界論について学ぶ。そして、人間と本講義全体を通して、様々な視点から研究されてきた動物行動について知ることによって、心についての視野を広げ、私たち人間の心と社会のあり方について考える。

到達目標

A1312b

心理学という学問領域において、動物を対象に研究することの意義を知り、動物を対象とした研究にはどのようなものがあるのか、そこから何が分かってきたのか理解する。

成績評価方法

最終試験で評価する

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○				100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 担当：榎本俊哉 イントロダクション 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
2) 担当：森本裕子 動物心理学の概説 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
3) 担当：森本裕子 動物心理学と進化心理学 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
4) 担当：高岡祥子 イヌとヒトの関係 ～イヌを対象に研究する意義～ 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
5) 担当：高岡祥子 イヌの対ヒト社会的認知能力 ～イヌはヒトのことをどのくらい分かっているのか～ 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
6) 担当：高岡祥子 イヌとのかかわりによるヒトの心の変化 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
7) 担当：堀裕亮 動物の個性と遺伝子（1） 動物の個性をどう測定するか 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
8) 担当：堀裕亮 動物の個性と遺伝子（2） 遺伝子は動物の個性にどのように影響するのか 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
9) 担当：堀裕亮 動物の個性と遺伝子（3） まとめと今後の展望 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
10) 担当：山本真也 知性と社会性の進化 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
11) 担当：山本真也，ゲストスピーカー：未定 知性と社会性の進化 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
12) 担当：山本真也，ゲストスピーカー：入江尚子 アジアゾウの社会と知性 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
13) 担当：近藤紀子 鳥類の認知と行動 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
14) 担当：近藤紀子 鳥類の認知と行動 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
15) 担当：近藤紀子 カラス科鳥類の認知研究 【復習】配布資料の見直し（60分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
授業外学習	
配布資料の内容を理解し、疑問点やさらに深く知りたい内容について自分で調べて整理する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回の授業で資料を配布する	

課題に対するフィードバック

質問等には授業で対応する

備考

科目名	地球の環境			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布を行います。
この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジする）。この授業の最も重要なことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識すること。この授業の受講後、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになる。

到達目標

A1313
自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消失と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	統計学基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	松本 治彦	関連する資格	認定心理士	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、Classroomを使って資料の配布を行います。
 この科目はディプロマポリシーのうち、「柔軟な思考と表現力」を身に付けるために、また「心理学の基礎的思考方法」を学ぶための授業です。
 受講者はまず最近、重要度が増している「統計学とAI」の関係について学ぶ。次に統計学の歴史について深く学ぶ。その上で、統計学の様々な用語を理解して統計学を将来の仕事の道具として使いこなせるようにする。
 統計学は現状把握と予測のためと見られているが、じつは限られたデータを使って全体の因果関係を探る学問。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせるのに役立たせる。

到達目標

A1314b
 統計値の科学的意味を的確につかむ。グループ討議を通じて、コミュニケーション能力を發揮する。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせることができるような実力をつけるための基礎力を身に付ける。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 統計学とAI,生成AI 予習；統計学とAIの関係について概観する（30分）。復習；統計学とAIの部分についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 人工知能とは 予習；人工知能の部分について深く思考する（30分）。復習；人工知能の部分を整頓しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 統計学の歴史 予習；統計学の歴史について概観する（30分）。復習；統計学の歴史について再確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 統計学の考え方 予習；統計学の考え方、データの科学的見方の部分について概観する（30分）。復習；統計学の考え方、データの科学的見方のチェックをしておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 把握・予測・洞察の統計学 予習；予測・洞察の統計学を概観する（30分）。復習；予測・洞察の統計学について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) ジョン・スノウと疫学 予習；疫学の歴史について概観する（30分）。復習；疫学の歴史について確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) データの科学的な見方 予習；データの科学的な見方について調べておく（30分）。復習；データの科学的な見方を確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 具体例で統計学を学ぶ「度数分布・分割・図」 予習；度数分布・分割・図の部分概観する（30分）。復習；度数分布・分割・図の部分を確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 具体例で統計学を学ぶ「平均値・標準偏差・偏差値」 予習；平均値・標準偏差・偏差値について概観する（30分）。復習；平均値・標準偏差・偏差値について再度、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 具体例で統計学を学ぶ「範囲・その他の数値」 予習；範囲・その他の数値について概観する（30分）。復習；範囲・その他の数値について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 正規分布 予習；正規分布について概観する（30分）。復習；正規分布について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 推定と検定 予習；推定と検定について概観する（30分）。復習；推定と検定について、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 詳しい検定 予習；詳しい検定について調べておく（30分）。復習；詳しい検定について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 分散分析・多変量解析 予習；分散分析・多変量解析について概観する（30分）。復習；分散分析・多変量解析についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿った、資料の該当単元を熟読してきてください。講義資料を復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。。	心理統計学 情報処理演習、

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	脳科学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	小野 洋平		関連する資格	

授業概要

脳は行動、認知、生理、感情等、こころの働きと深くかかわる器官である。そのため、脳の器質の変化や情報伝達に問題を抱えた場合、こころにも影響が及ぶことになる。例えば、うつ病などの精神疾患の発症や、症状緩和にも脳が関わり、ストレスを感じれば、感情のみならず脳活動や身体的反応も変化する。

一方、心は直接観察できないものの、心の働きと関連する脳活動は、様々な測定法を用いて視覚化可能である。視覚化された活動や活動部位から、こころの働きや状態を把握したり、心理的なケアにも役立てられるため、本講義では、まず脳の構造や機能を学ぶ。次に、こころの働きを理解するための測定法を学び、種々の心理現象を心理学と脳科学の2つの視点で考える講義を展開する。

到達目標

A1311

1. 脳の構造と機能について説明できる。
2. 脳機能の測定法を理解し、心の働きを調べる方法を考えることができる
3. 脳機能と行動・心の関連性を理解し、種々の事例を脳科学と心理学を関連付けて考察できる。

成績評価方法

期末試験、小テスト、リアクションペーパー、課題、授業態度・参加度について下記の評価基準の割合に従って100点満点で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			25
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		15
授業態度・授業参加度		○	○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション 脳科学と心理学の関連性 【予習】脳科学に関する基礎知識の確認を行う（90分） 【復習】講義内容と到達目標に基づいて自分なりの学習目標を立てる（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
2)	脳の構造と機能 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
3)	大脳新皮質 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
4)	大脳辺縁系 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
5)	脳幹 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
6)	小脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
7)	脳機能の測定法 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
8)	脳の情報伝達 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
9)	脳の情報伝達 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
10)	脳の発達の变化 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
11)	脳の器質的变化 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
12)	感情心理学と脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
13)	パーソナリティ心理学と脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
14)	臨床心理学と脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
15)	犯罪心理学と脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】これまでのノートや資料を整理・熟読し、自己理解度を確認する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
授業外学習		
自身の知識習得の程度に合わせて、高校までの生物や保健の授業を復習する。 興味関心のある心理学分野の概論書を、講義内容と関連づけながら読む。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
本講義では教科書は用いない。適宜資料を配布する。 また、参考図書は必要に応じて講義内で紹介する。		神経・生理心理学，身体の構造と機能および疾病、司法・犯罪心理学

課題に対するフィードバック

可能な限り授業内でフィードバック、講評等を行う。

備考

質問があれば講義後またはオフィスアワーを利用すること。

単位認定については大学の規定に準ずる。各自キャンパスガイドを確認の上単位登録・受講すること。

授業資料や課題はClassroomを用いて公開・実施するため、インターネットにアクセスできる機器を持参すること。

本授業では授業開始冒頭に氏名読み上げによる出席確認を毎回行う。遅刻者は授業後に教員に申し出ること。また、遅刻や途中退室が多い場合は、単位認定の対象とならないことがある。やむを得ない理由による欠席の場合は、事前または事後速やかに連絡すること。なお、その際に医療機関等の公的な証明書の提出を求める場合がある。

レポート・課題は原則ClassroomまたはGoogle Form等のe-learningシステムに提出すること。

指示された期提期限までに提出し、それ以降の提出は減点または不受理の対象となる。

授業中のIT端末については、授業活動に必要な場合を除き禁止とし、私的な閲覧やSNSの利用は控えること。

また授業の録音・録画・スクリーンショットの取得は、教員が許可した場合を除き禁止する。

出欠や試験・課題等での不正が発覚した場合には、単位認定しない。

合理的配慮が必要な者は各自手続きを進めること。

第1回はオリエンテーションを兼ねている。オリエンテーションおよびシラバスを理解し、受講ルールを了承の上登録、受講すること。

科目名	心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	木元 卓也、榎本 俊哉、三島 瑞穂、脇 貴典、馬場 弓歌	関連する資格		

授業概要

看護・保健領域の専門職として働くにあたり、臨床現場で役立つであろう知識とエッセンスを中心に、心理学の基礎的知識について学ぶ。スクールカウンセラーとして、教育現場の心理相談業務に従事した経験をもとに、昨今の教育的課題（いじめ問題、不登校等）への対応を指導する。

到達目標

(A1316) (B1217)

- 看護・保健領域で、心理学の知見を活かし、専門的関わりの質を高める工夫をすることができる。
- 心理学的知見を活かした援助を行う方法を理解できる。

成績評価方法

小レポート、受講態度で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート		○		○			30
授業態度・授業参加度			○		○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学とは何か？～こころの仕組みを知ろう～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
2) 子ども虐待を通して考えるこころの発達 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
3) 学校と集団心理 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
4) 恋愛と結婚～人はパートナーに何を求める？～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
5) デートDVとドメスティックバイオレンス 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
6) 家族の心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
7) メンタルヘルスとリーダーシップ～働く人のこころの健康～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
8) 人はなぜ不安やパニックになるのか？～こころの疾患と精神障がい～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
9) 孤独と文化 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
10) 多様性と性についての心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
11) なぜ人間には感情があるのか？ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
12) 同調圧力と自己判断 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
13) あおり運転から考える交通心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
14) 犯罪加害者への支援と心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
15) まとめ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	小レポート
授業外学習	
毎回、配布する資料を読み返し復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
公認心理師をめざす人の社会・集団・家族心理学,土肥伊都子編著,教育情報出版.	コミュニケーション論、生涯発達心理学

課題に対するフィードバック

質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。

備考

科目名	芸術と心理			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	榎本 俊哉、三島 瑞穂	関連する資格		

授業概要

(概要)

芸術とは、表現者あるいは表現物と鑑賞者が相互に作用し合うことにより、精神的・感覚的な影響を受ける表現活動のことであり、私たちのこころの営みそのものあるともいえる。そして芸術には、文芸（言語芸術）、美術（造形芸術）、音楽（音響芸術）、演劇・映画（総合芸術）など様々な表現の様式がある。この講義ではこれらの芸術を鑑賞したうえで、心理学諸領域、特に臨床心理学の観点から受講生とともに考える。このように本講義では芸術に関する好奇心を高め、表現者や表現物について臨床心理学を含む多様な観点を心得ることで、芸術をより豊かに鑑賞できるようになることを目的とする。

(榎本俊哉 7回)

社会的に広く認知されている文学（小説・俳句など）、絵画、音楽、アニメーション、演劇、映画、などの芸術を紹介・鑑賞し、主に臨床心理学の観点から受講生とともに考える。そして芸術をより多様に、より豊かに鑑賞できるようになることを目的とする。

(三島瑞穂 8回)

アートや遊びには、創造性、表現力、コミュニケーション能力等、非認知的能力を向上させる力があり、講義ではそのプロセスを体験する。既存のアートの能動的鑑賞から自らの創作と表現につなげる方法と、即興で表現を生み出す方法の両方を体験する。個人、ペア、グループによるワークを予定している。

到達目標

(A2301)

芸術と心理について学問し、知的好奇心を高める。
 芸術をより豊かに鑑賞できるようになる。
 アートによる心理的体験を通して、自分なりの作品の捉え方、楽しみ方を獲得する。
 自分なりの作品の解釈や発想を表現し、対話の中で互いの違いを味わう。
 アーティストの意図や問題提起に対する想像力を働かせる。

成績評価方法

定期試験、レポート課題、グループワーク等、担当する2名の教員による評価を合算して総合的に評価する。なお、規定回数以上の出席がない場合、レポートの提出がない場合には単位認定しない。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 芸術と心理について（榎本担当：第1～7回） 【復習】講義内容の復習（60分）	
2) アニメーション・文学と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
3) 絵画と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
4) 音楽と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
5) 演劇・映画と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
6) 演劇・映画と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
7) 小説と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
8) （三島担当：第8～15回） 絵画の創造的鑑賞 【予習】アートに触れておく（15分）【復習】講義の体験内容を振り返る（45分）	創作
9) 演劇の手法で表現力・創造性を高める 【復習】体験内容の振り返り、表現の試行（60分）	創作・グループワーク
10) 演劇の手法で表現力・創造性を高める 【復習】体験内容の振り返り、表現の試行（60分）	創作・グループワーク
11) 文字、詩、小説の即興的創作による、アートを生み出す体験 【復習】言葉に対する心の動きを体験（60分）	創作・グループワーク
12) アートにおける表現の心理学的効果（漫画を題材に） 【予習】漫画の表現を確認（20分）【復習】表現の心理学的効果を試す（40分）	個人ワーク
13) 音と声と身体を用いたマインドフルネス・ワークと即興表現 【復習】日常の中で、音や身体の表現の心理学的影響を洞察する（60分）	グループワーク
14) コラージュ、スクリーン等、絵画的技法を用いた創作の体験 【予習】アート作品の選択（20分）【復習】アートの効果の洞察（40分）	創作
15) アートの理学的効果についての対話（音楽、絵画、詩等） 【予習】発表の準備（30分）【復習】講義全体を踏まえた表現活動（30分）	グループワーク、発表
授業外学習	
<p>【榎本担当分】 芸術と心理に関するレポートを課す。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>【榎本担当分】 あらゆる芸術（表現者および表現物）</p> <p>【三島担当分】 教科書は使用しない。参考図書は適宜講義時に紹介する。</p>	<p>【榎本担当分】 臨床心理学を主とする心理学諸領域</p> <p>【三島担当分】 デザイン心理学、表現アートセラピー</p>

課題に対するフィードバック

レポート課題や質問に関するコメントは各担当教員から個別に、あるいは履修生全体に共有する形式にてフィードバックする。

備考

科目名	哲学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村田 貴信	関連する資格		

授業概要

(本授業は対面実施する。)

歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下二点を支軸にして講義を展開する。

- (1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。
- (2) ものごとを広く(多面的に)深く(根源的に)考えることの意味と意義とを理解する。

到達目標

A1318

- (1) 哲学の根本問題について考えてみる。
- (2) 哲学の対象と方法とに関する基礎的な理解を得る。

成績評価方法

期末定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入： 講義内容ならびに講義の進め方の一般的説明 【予習】テキスト（pp. 16-21）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
2) 序論(1)： 哲学とは何か 【予習】テキスト（pp. 22-26）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
3) 序論(2)： 哲学と哲学史 【予習】テキスト（pp. 26-32）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
4) 神話と論理(1)： 始原への問い 【予習】テキスト（pp. 32-36）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
5) 神話と論理(2)： 全体への問い 【予習】テキスト（pp. 36-40）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
6) 知識と知恵(1)： 無知の知 【予習】テキスト（pp. 40-45）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
7) 知識と知恵(2)： 真の知 【予習】テキスト（pp. 45-52）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
8) 科学と哲学(1)： 知の構造とその諸相(1) 【予習】テキスト（pp. 52-58）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
9) 科学と哲学(2)： 知の構造とその諸相(2) 【予習】テキスト（pp. 58-67）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
10) 自然と人間(1)： 自然概念の変遷 【予習】テキスト（pp. 67-70）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
11) 自然と人間(2)： 生命と非生命 【予習】テキスト（pp. 71-76）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
12) 存在と意識(1)： 存在論と認識論 【予習】テキスト（pp. 77-82）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
13) 存在と意識(2)： 言語・思考・世界 【予習】テキスト（pp. 83-86）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
14) 超越と構想(1)： 超越と内在 【予習】テキスト（pp. 87-97）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
15) 超越と構想(2)： 問いの可能性 / 講義全体のまとめ 【予習】テキスト（pp. 97-106）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
授業外学習	
週単位ごとの授業計画に示した項目・概要に沿ってテキストを精読（予習）・再読（復習）する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： プラトン『ソクラテスの弁明』（光文社古典新訳文庫）、光文社、2012年	人権論、いのちの科学、人間看護学、人間関係論

課題に対するフィードバック

テキスト読解深度を音読・質疑応答で確認する。

備考

期末定期試験時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。

科目名	倫理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	田中 智輝	関連する資格		

授業概要

倫理学は、道徳的行為や性格の「正しさ」や「善さ」の根拠を、できるだけ合理的かつ哲学的に問う学問である。本授業では著名な哲学者・宗教家の思想を取り上げ、倫理学の基本的な考え方を紹介すると同時に、現代の応用倫理学も考察する。

* 本講義は原則的に対面で行うが、数回に限り遠隔授業（オンライン）を実施する場合がある。その場合には、事前に受講生に日程および受講方法について説明を行うこととする。

到達目標

A1319

1. 倫理学理論を用いて推論することができる
2. 現代社会が抱えている倫理的課題について関心を持ち、課題に向き合うことができる
3. 倫理的な方法論を用いて課題を分析することができる

成績評価方法

知識・理解、思考・判断：50%
 関心・意欲、態度：10%
 技能・表現：40%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							60
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 本講義の概要：倫理とはなにか？ 【予習】倫理とは何かについて疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
2) 倫理学とはどのような学問か？ 【予習】倫理学の概要について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
3) 義務論と功利主義 【予習】義務論と功利主義について疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
4) 義務論の考え方を学習する。 【予習】義務論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
5) 功利主義の考え方を学習する。 【予習】功利主義について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
6) 義務論と功利主義の考え方を事例を通じて検討する。 【予習】事前に配布する資料をもとに、論点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
7) 正義論の考え方を学習する 【予習】正義論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
8) ケアの倫理学の考え方を学習する 【予習】ケアの倫理学について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
9) 現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
10) 現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
11) 現代社会における倫理的課題：死をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
12) 現代社会における倫理的課題：科学技術による生への介入 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
13) 現代社会における倫理的課題：未来倫理学 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
14) 現代社会における倫理的課題：AI技術と倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
15) 総括：本講義のまとめ 【予習】倫理学を学ぶことの今日的意義について考え、要点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
授業外学習	
講義内で示した課題について事前に準備する。講義の内容を踏まえたレポート等の作成を行なう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
講義内で適宜紹介する。	

課題に対するフィードバック

課題、レポートについてのフィードバックは基本的に講義内で行う。

備考

科目名	文化人類学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	安溪 遊地	関連する資格		

授業概要

本授業は基本的に遠隔（オンデマンド方式）で実施します。2回目の授業のみ対面の予定です。毎回私が経験した世界のさまざまなフィールドで異文化との出会いを紹介し、具体例としては、日本最南端の島々・アフリカ・スペイン・山口でのフィールドワーク（実務経験）に基づいて、世界に生きる同時代人たちの暮らしを紹介し、文化人類学のフィールドワークの、自分にとっての「当たり前」がまったく「変なもの」扱いされるなかで、いかに相互の人的信頼関係を築くか、という正解のない日々の追体験です。動画をきちんと視聴して、それを踏まえて自分の独自の主張や提案を付け加える小レポート（合計400字程度以上）を提出することが毎回の課題です。近未来にあなたがケアの現場で遭遇するであろう「異文化を生きる人たち」との様々な出会いの模擬体験もします。それらを通して、自分とちがう文化だからといって排除しない生き方、異文化に接するモラルと、世界を「ヘイト（憎しみ）」から解放しうる「実践的寛容」を身につけてください。それは、ますますボーダーレスとなっていく医療や福祉のケアの現場で働くあなたの問題解決能力を高め、日本をさまざまなマイノリティの人たちが安心して暮らせる場所にするためにも役立つはずで

到達目標

A1320

1. 世界の人々の暮らしや考え方は、日頃流されている情報よりもずっと多彩であることを知り、その中で異文化こそが自分を映す鏡であるという、文化人類学の基本的なものの見方を身に付けて、自らを世界に向けて開く準備ができている。
2. これからのケアの現場で必要となる、自文化へのこだわりを離れ「みんな違っていい」ことを基礎としたより高い視点に立つ心構えをもつ。
3. 自分と異なるものの存在を認めない不寛容に対して、どのように対処すべきかという問いに、日常生活の中で具体的に答えられる力を身に付ける。

成績評価方法

毎回の小レポートの提出を通して、授業にかかわる質問や意見の表明等、授業への参加の程度を平常点とし、最終レポートの内容の評価と合算して、成績を評価する。具体的には、到達目標に対応して、1) 授業前と授業後で、異文化についての固定観念がどの程度変化したかの質的な変化を「気づき点」として評価する。2) 異文化を生きている少数者も平等に扱われるべきという建前にもかかわらず、現実には大きな格差や差別があるという世界の現状に対して、自分がどのように向きあうのかという課題を、どの程度根拠をもって理解し、取り組む姿勢ができているかを「学び点」として評価する。3) 身の回りでおこっている「自文化こそが最高だ」という思い込みからの発言や行動に対して、いかに有効な働きかけをすることができるかを「表現点」として評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ヒトの心・サル的心 文化人類学と自然人類学 予習「ヒトと他の生物の違いは何でしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
2) フィールドワークの泣き笑い 文化人類学の方法 予習「身に覚えのないことで地元の人に非難されたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
3) 調査されるという迷惑 宮本常一先生と調査地被害 予習「周防大島出身の宮本常一先生を知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
4) すべてのものにカミが宿っている アニミズムの世界 予習「人間以外の生き物に声をかけることがありますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
5) 日本が単一民族国家ではない証拠 アイヌ民族との出会い 予習「1990年の北海道庁のアンケートの結果アイヌ民族は何人？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
6) 「自分と違う人たちは苦手？ DNAの旅とフリーハグ 予習「人間とチンパンジーのDNAは何パーセントくらい共通？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
7) はじめての海外旅行 コンゴ民主共和国の森の村で 予習「アフリカで村長から『養子になれ』と言われたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
8) 生物の多様性と文化の多様性を生かす コンゴの民衆の智恵 予習「塩と砂糖だけを買う森の村で作れる料理の数は何種類？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
9) お金が通用しない暮らし 贈り物・物々交換・地域通貨・仮想通貨 予習「突然お札が通用しなくなったら暮らしはどうなる？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
10) 女性として生きるのがつらい国 コンゴ民主での性暴力など 予習「スマホに不可欠のタンタル鉱石とコンゴ内戦のつながりは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
11) 今を生きる指針としての神話 コンゴの森の人びとの語りから 予習「子どものころから聞いた神話の中で印象に残るものは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
12) 民衆の記憶力 昔むかしの漂流民の伝承を与那国島で聞く 予習「言い伝えは、何年前くらいまでさかのぼれるものでしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
13) 生ハムとワインの国 おいしい食べ物が異文化攻撃の武器にもなる 予習「サビエルと山口とのかかわりを知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
14) 武器をもって闘ったお坊さんたち 幕末長州の真宗僧の活躍 予習「幕府軍が長州を包囲した四境戦争はいつ起こったか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
15) みんなちがってみんな「？」 たくさんの思いこみからの解放 予習「あなたなら上記の『？』にどんな言葉をいれますか？」 復習「最終レポートのテーマを考えよう」	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。

授業外学習

復習は、課題2問程度に回答することです（60分）。予習は、次回講義の用語をgooglescholarなどで検索し、関連のある文章に目を通してみましょう（30分）。最終回の予習は、「最終レポートのテーマを考えよう」です。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト、宮本常一・安溪遊地、2024『調査されるという迷惑 フィールドに出る前に読んでおく本（改訂増補版）』（みずのわ出版） 担当教員のブログ https://ankei.jp	

課題に対するフィードバック

毎回の質問には、次の回までにできるだけ答えるようにしていきます。また、すぐれた意見については、ご本人の同意の上でクラス全体でシェアすることがあります。

備考

科目名	日本語表現法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場面が多様化し、「ことば」はますます重要になってきている。そこで、本授業では、現代日本語の様々な姿やそこに潜む表現法を、実践を通して学んでいくことを目的とする。まず、インプットとして、現代日本語表現に関する基礎的な知識を学ぶ。そのうえで、アウトプットとして、「書く」こと、すなわち文章表現を扱う。文章には様々な種類がある。可能な限り、多種多様な文章を扱っていく。

到達目標

A1401

1. 句読点などの、基本的な表記法を習得する。
2. 慣用表現など、基本的な定型表現を習得する。
3. 待遇表現（敬語）など、文体に関わる表現法を習得する。
4. 様々な現代日本語表現における、文章の書き方の基本を習得する。

成績評価方法

授業態度・参加度の評価，授業時間内の小レポート（作業シート）の成績の総和による。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入：シラバスの説明，日本語表現法とは？ 【予習】日本語表現法という学問領域について考えておく（1時間） 【復習】日本語表現法について確認する（2時間）	
2) 知識(1)：表記，語 【予習】表記や語の種類について考えておく（1時間） 【復習】豊富な表記法などを振り返る（2時間）	
3) 知識(2)：定型表現，文 【予習】慣用表現などについて考えておく（1時間） 【復習】文の構造などを振り返る（2時間）	
4) 知識(3)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（1時間） 【復習】文章・文体について振り返る（2時間）	
5) 知識(4)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（1時間） 【復習】文章・文体について振り返る（60分）	
6) 演習(1)：要約 【予習】要約について見ておく（1時間） 【復習】要約について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
7) 演習(2)：メール 【予習】自分のメールを見ておく（1時間） 【復習】メールの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
8) 演習(3)：広告 【予習】ポスターを見ておく（1時間） 【復習】広告の表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
9) 演習(4)：メニュー 【予習】メニューを見ておく（1時間） 【復習】メニューの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
10) 演習(5)：マニュアル 【予習】マニュアルを見ておく（1時間） 【復習】マニュアルの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
11) 演習(6)：“やさしい日本語” 【予習】“やさしい日本語”について見ておく（1時間） 【復習】“やさしい日本語”の表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
12) 演習(7)：自己アピール 【予習】自己アピールについて考えておく（1時間） 【復習】自己アピールの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
13) 発展(1)：アンケート 【予習】アンケートについて確認しておく（1時間） 【復習】アンケートの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
14) 発展(2)：レポート，論文 【予習】論理的な文章について考えておく（1時間） 【復習】レポート・論文の構成について振り返る（2時間）	
15) 発展(3)：レポート，論文 / 総括 【予習】レポートや論文について考えておく（1時間） 【復習】レポート・論文の書き方について振り返る（2時間）	リフレクションシート
授業外学習	
<p>予習においては，授業で扱う予定のトピックにおいて，何が問題となりそうか考えておいてほしい。</p> <p>復習においては，授業中に行った課題及び説明について振り返るとともに，それらのことが，文章表現をする際にどのように役に立つかを確認してほしい。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：なし。代わりに，プリントを配付する。</p> <p>参考書等：授業の際に適宜挙げる。</p>	日本語表現法演習

課題に対するフィードバック

小レポート（作業シート）で提示された質問や感想などに関して、小レポート（作業シート）上で個別に回答したり、次の授業で取り上げ、受講者全員に共有したりすることで、フィードバックを行う。

備考

科目名	日本語表現法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

本授業では、論理的な文章を書くための基礎的な能力を養成することを目的とする。そのために、毎回様々な文章が提示され、それに関する課題をこなしていく。内容については、表記、語順、表現の選択、事実と意見の区別など、現代日本語表現法の基本となるテーマを扱う。毎回の作業の積み重ねによって、論理的な文章の表現法を体得することができる。

到達目標

A1402

1. 様々な文章を観察・分析することによって、文章表現法を論理的に考えることができる。
2. 表記法や文法的な問題を、文章表現の観点から意識できる。
3. 様々な表現の中から、文脈に即した適切な表現法を選択できる。
4. 事実と意見の違いを明瞭に理解し、的確な表現をすることができる。

成績評価方法

授業態度・参加度、授業内の小レポート（作業シート）により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入：シラバスの説明，文章表現とは 【復習】授業全体の流れ・目的を明瞭に理解しておく（1時間）	
2) 読点の打ち方 【予習】句読点について確認しておく（1時間） 【復習】読点の打ち方について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
3) 語順の文法 【予習】日本語の語順について確認しておく（1時間） 【復習】日本語の語順と文章表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
4) かなと漢字の書き分け 【予習】かな・漢字について確認しておく（1時間） 【復習】かな・漢字といった表記法について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
5) 主語の省略と表出 【予習】主語について確認しておく（1時間） 【復習】主語の出現条件について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
6) 話しことばと書きことば 【予習】話しことば・書きことばについて確認しておく（1時間） 【復習】話しことば・書きことばの違いを振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
7) 弱い判断の功罪 【予習】文末表現について確認しておく（1時間） 【復習】文末表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
8) 事実と意見の書き分け(1) 【予習】事実・意見ということばの意味を確認しておく（1時間） 【復習】事実と意見の区別について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
9) 事実と意見の書き分け(2) 【予習】事実・意見ということばの意味を確認しておく（1時間） 【復習】事実と意見の区別について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
10) 「のだ」のさじ加減(1) 【予習】主張について確認しておく（1時間） 【復習】主張を表す「のだ」について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
11) 「のだ」のさじ加減(2) 【予習】主張について確認しておく（1時間） 【復習】主張を表す「のだ」について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
12) 接続詞の使い方 【予習】接続詞について確認しておく（1時間） 【復習】接続詞の使い方について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
13) 文の長さを読みやすさ 【予習】文の長さについて確認しておく（1時間） 【復習】文の長さを読みやすさの関連性について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
14) 段落の考え方 【予習】段落について確認しておく（1時間） 【復習】段落の役割について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
15) 総括 【予習】今期の授業内容を整理しておく（1時間） 【復習】授業内容を総合的に振り返る（2時間）	リフレクションシート
授業外学習	
<p>予習においては，授業で扱う予定のトピックにおいて，何が問題となりそうか考えておいてほしい。</p> <p>復習においては，授業中に行った課題及び説明について振り返るとともに，それらのことが，文章表現をする際にどのように役に立つかを確認してほしい。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：なし。代わりに，プリントを配布する。 ・参考書：授業中に適宜指示する。 	日本語表現法演習

課題に対するフィードバック

小レポート（作業シート）で提示された質問や感想などに関して、小レポート（作業シート）上で個別に回答したり、次の授業で取り上げ、受講者全員に共有したりすることで、フィードバックを行う。

備考

科目名	異文化コミュニケーション論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	白石 義孝	関連する資格		

授業概要

本授業は、日本語の語彙と日本文化の特徴に着目しながら、異文化コミュニケーションの基礎を学ぶことを目的とする。グローバル化の進展により、多様な文化的背景をもつ人々との相互理解は、日常生活や教育・職業の場面において重要性を増している。本授業では、日本語という言語を通して文化を読み解き、自文化理解と他文化理解の双方を深めることを目指す。教材として第一学習社『新国語便覧』を使用し、日本語の語彙、敬語表現、言語文化、古典や文学にみられる価値観などを参照しながら、言語と文化の結びつきを具体的に理解する。季節や自然を表す語彙の豊かさ、対人関係を重視した敬語体系、あいまいさを含む表現など、日本語の特徴を文化的視点から考察する。

授業の到達目標は、第一に、日本語の語彙や表現が日本文化や社会規範と深く関わっていることを理解すること、第二に、日本文化に見られる価値観やコミュニケーション様式を説明できるようになること、第三に、異文化間で生じる誤解や摩擦の要因を考え、相互理解のための視点を身につけることである。

授業では講義に加え、『新国語便覧』の読解、身近な言語使用の事例分析、ディスカッション等を取り入れる。日本語の「あいまい表現」「察し」「遠慮」「本音と建前」などを具体的に検討し、言語と文化の関係を多面的に捉える。また、他言語との比較を通して、日本語の特徴を相対化し、自文化を客観的に見つめ直す姿勢を養う。

本授業を通して、日本語と日本文化に根ざしたコミュニケーションの特性を理解するとともに、多文化社会において他者と協働するための基礎的視点と態度の形成を目指す。

到達目標

A2401

日本語と日本文化に根ざしたコミュニケーションの特性を理解するとともに、多文化社会において他者と協働するための基礎的視点と態度の形成を目指す。

成績評価方法

期末試験および最終レポート：40点
小テストおよびミニレポート：35点
プレゼンテーションと振り返り：25点

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			35
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○		○	○	○		25
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス：授業の目的・方法 / 異文化コミュニケーションとは何か 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
2) 言語と文化の関係：日本語から文化を読み解く視点（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
3) 日本語の語彙：自然・季節語にみる日本文化（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
4) 日本語の語彙：感情語・人間関係語の特徴（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
5) 敬語と対人関係：社会構造とコミュニケーション（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
6) 日本的コミュニケーション：あいまい表現と「察し」の文化（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
7) 日本的コミュニケーション：「本音と建前」「遠慮」の意味（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
8) 日本文学・古典にみる価値観（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
9) 文化と非言語コミュニケーション：身振り・沈黙・距離感（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
10) 異文化比較：直接的表現と間接的表現（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
11) 異文化比較：個人主義と関係志向の文化（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
12) 現代社会と日本文化：多文化共生・価値観の多様化（テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
13) 事例研究：異文化間の誤解とコミュニケーション課題（グループ討議） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
14) 発表：日本語・日本文化の特徴を踏まえた異文化理解の提案（発表準備120分） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	授業時にディスカッションを行う
15) 総括：授業の振り返り / レポート作成・理解度確認	授業時にディスカッションを行う
授業外学習	
毎回指定された範囲のテキストの各章を読み、興味を持った課題の中から一つ以上を調べてディスカッションができるよう準備をしてくる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト『カラー版新国語便覧』 第一学習社 2026年	

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

- ・授業は一方向的な講義ではなく、みなさんとの対話形式で行います。毎回のテーマについて必ず予習をしてから受講してください。
- ・留学生が受講する場合の日本語能力試験のレベルは、他より難しいN1レベルです。

大学入学共通テストレベルの「国語」（古文・漢文含む）、「英語」（資料の読解、インターネットで使われる表現）、「地理・歴史・公民」（日本、欧米、アジアなどについて）、「情報」（プログラミングを含む）の知識があると授業が楽しめると思います。（重要なものは試験に出しますので勉強してください）

科目名	コミュニケーション論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	梶本 俊哉、小山 典子、木元 卓也		関連する資格	

授業概要

(概要)保健・医療・福祉および教育の現場で言語・非言語コミュニケーション活動を展開するにあたって、コミュニケーション論を基本にして、他者との人間関係における自己表現方法を学ぶ。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてグループワークや演習と講義を組み合わせ学習する。

(梶本俊哉 5回)

日常生活および教育現場での言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、基本的な支援の在り方に関する理論と技術を解説する。なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、地域のスクールカウンセラーとして心理相談業務に従事している。本講義においてはスクールカウンセリングのテーマでもある親子や児童生徒関係におけるコミュニケーションについて、実際の事例を元にして理解を深め、履修生とともに考える。

(小山典子 5回)

医療現場での言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、事例を交えてカウンセリング概念と基本的な技術と理論を解説する。

(木元卓也 5回)

福祉現場での言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、事例及び模擬面接を交えてカウンセリング概念と基本的な技術と理論を解説する。

到達目標

(A2402)

コミュニティでの言語・非言語コミュニケーション活動について、基本的な技術と理論を理解し説明できる。

日常の生活場面に加え、教育現場、医療現場、福祉現場での言語・非言語コミュニケーション活動について、基本的な技術と理論について理解し説明できる。

成績評価方法

3名の教員がオムニバスで担当し、授業参加状況やレポート等による各教員の評価をあわせて成績評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) コミュニケーションについて（榎本担当：第1～5回） 【復習】講義内容の復習（60分）	
2) 親子のコミュニケーション 児童期 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
3) 親子のコミュニケーション 思春期 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・レポート
4) ハラスメント - 加害者と被害者の心理 - 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
5) ハラスメント - 加害者と被害者の心理 - 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・レポート
6) 医療現場におけるコミュニケーションを支える心理（小山担当：第6～10回） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
7) 医療現場におけるコミュニケーションを動かす心理 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	演習・レポート
8) 医療現場におけるコミュニケーションのすれ違いとは 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	演習・レポート
9) コミュニケーションにおける信頼関係 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	演習・レポート
10) コミュニケーションにおける責任 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	演習・レポート
11) 福祉現場におけるコミュニケーションについて（木元担当：第11～15回） 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
12) 子ども家庭福祉を通して考えるコミュニケーション 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
13) ストーカー加害者を通して考える相手との会話 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
14) 模擬面接を通して考えるコミュニケーションの難しさ 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
15) 模擬面接を通して考えるコミュニケーションの難しさ 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
授業外学習	
<p>各担当教員より提示された課題を準備しておく。 各担当教員より提示された資料については事前に熟読し理解しておく。 授業中理解できなかった専門語彙は、次の授業までに調べて理解しておく。 各担当教員の指示に従いレポートを作成する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
各授業担当より指示する	心理学科の授業全般

課題に対するフィードバック

レポートに関するコメントや質問・感想への回答については各担当教員から個別に、あるいは全体に周知する形式で返却する。

備考

科目名	表現アートセラピー演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	三島 瑞穂、小山 典子		関連する資格	

授業概要

アートは人間の根源的な表現である。人類の歴史の中で、絵画やコラージュ、箱庭、写真、映像、彫刻、インスタレーション、ダンス、詩、物語、音楽、演劇等、多様な芸術表現が生み出された。表現アートセラピーとは、芸術表現による心理学的な効果を用いた統合的な芸術療法である。

芸術表現では、言葉を超えて感情や思いが表出され、自己理解や自己成長、創造性や思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力、癒しを引き出す効果があると考えられている。

表現アートセラピーは、年齢や立場、障害の有無によらず、幅広い対象に柔軟に適用することができる。さらに、表現アートセラピーの技法は心理アセスメントと組み合わせて使用されることも多い。カウンセリング場面にとどまらず、医療、福祉、教育、産業、司法、行政等、様々な領域で活用されており、心理専門職を目指す者にとっては重要なスキルとなる。また、個人においても、人生の様々な場面で活用できる。

表現アートセラピーでは、芸術表現がこころにどのような影響を与えるのかを理解する。色彩、形、素材、身体性、言葉、音、演劇、ダンス、物語等、様々な表現を試しながら、表現アートセラピーの基本的な考え方と技法を学ぶ。

到達目標

A1403

基本の様々な表現を体験する中で、感情の変容や自己理解、創造性の発揮、コミュニケーション能力の促進等、どのような効果があり得るのかを検討する。自分に合う表現を見つけるため、より適当なやり方を模索し、アレンジを試す。受講生が互いの表現を観察、受容、応答することを通して、その効果を深めていく。

成績評価方法

授業内課題の提出、授業への参加状況

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○			○		30
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度			○				20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、身体とイメージを使ったワークの体験 【予習】表現アートセラピーについて調べる（30分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
2) 素材、スクリブル、スクウィグルで、自分の感覚、身体性と向き合う 【予習】身の回りの素材とそれによる感覚に意識を向ける（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
3) フォーカシングとは何か 【予習】フォーカシングについて、自分なりに調べておく（60分） 【復習】授業内容の理解を深めておく（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
4) フォーカシングの実際 【予習】前回の資料を元に、フォーカシングについて考察しておく（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
5) 素材を用いたフォーカシングの体験 【予習】前回の資料を元に、フォーカシングについて考察しておく（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
6) 絵本セラピーの体験 【予習】自身が惹かれる絵本を選び、その理由を考えておく（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
7) 塗り絵によるアートセラピーの体験 【予習】形、色彩等に対する自身の心の反応に意識を向ける。 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 レポートの提出
8) デカルコマニーの体験 【予習】デカルコマニーについて調べる(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
9) 集団絵画療法の体験 【予習】集団絵画療法について調べる(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
10) ダンス、音楽等の身体表現の体験 【予習】身体表現の体験について調べる(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
11) 演劇教育、即興演劇（インプロ）の体験 【予習】演劇教育、即興演劇について調べる(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
12) 絵本をベースにした演劇的体験 【予習】絵本の内容について理解を深めておく(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
13) コラージュ療法の体験（個人） 【予習】コラージュ療法について理解を深めておく(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
14) コラージュ療法の体験（ペア・グループ） 【予習】コラージュ療法について理解を深めておく(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
15) まとめ 【予習】これまで学んだ内容を見直しておく（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 レポートの提出
授業外学習	
授業で体験した技法を自分に合う形でアレンジして試す。 文献等で芸術療法の技法を調べ、良いと感じたものを試す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト、教材は適宜配布する。</p> <p>参考書 福留留美(2016)「実践 イメージ療法入門 箱庭・描画・イメージ技法の実際」金剛出版 田嶋誠一（著，編集），成瀬悟策（監修）(2019)「壺イメージ療法：その生いたちと事例研究（創元アーカイブス）」創元</p>	<p>表現アートセラピー演習 芸術と心理 臨床心理学概論</p>

課題に対するフィードバック

作品制作や体験の表現に対して、適宜コメントを伝える。
無理のない範囲で作品や体験を話し、受講生からコメントをもらう。

備考

汚れても良い動きやすい服装で参加すること。
表現アートセラピーを受講希望の場合、この授業を履修しておくことが望ましい。

科目名	表現アートセラピー演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	三島 瑞穂、小山 典子	関連する資格		

授業概要

アートは人間の根源的な表現である。人類の歴史の中で、絵画やコラージュ、箱庭、写真、映像、彫刻、インスタレーション、ダンス、詩、物語、音楽、演劇等、多様な芸術表現が生み出された。表現アートセラピーとは、芸術表現による心理学的な効果を用いた統合的な芸術療法である。

芸術表現では、言葉を超えて感情や思いが表出され、自己理解や自己成長、創造性や思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力、癒しを引き出す効果があると考えられている。

表現アートセラピーは、年齢や立場、障害の有無によらず、幅広い対象に柔軟に適用することができる。さらに、表現アートセラピーの技法は心理アセスメントと組み合わせて使用されることも多い。カウンセリング場面にとどまらず、医療、福祉、教育、産業、司法、行政等、様々な領域で活用されており、心理専門職を目指す者にとっては重要なスキルとなる。また、個人においても、人生の様々な場面で活用できる。

表現アートセラピーでは、で学んだ基本的な技法を組み合わせより統合的な技法を学ぶ。既存の技法を元に受講生自身が表現アートセラピーの技法を考案し、教員のサポートの元、実際に体験する。心理専門職として実践力を身につけるのみならず、感性を磨き、創造性や共感力、問題解決力、合意形成の力を促進する。

到達目標

A1403

技法および、その組み合わせの効果についての理解を更に深める。また、受講者自身が表現アートセラピーのプログラムを組み立てることによって、創造性や構成力、問題解決能力を向上させ、心理専門職としての実践力を培うことを目指す。

成績評価方法

授業内課題の提出、授業への参加状況

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○			○		30
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度			○				20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、星と波描画テストの体験 【予習】表現アートセラピー を復習しておく（30分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
2)	マインドフルネスとコンパッションネイトカラー 【予習】マインドフルネスについて調べておく（60分） 【復習】授業内容の理解を深め、考察する（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
3)	黄黒交互彩色法の体験 【予習】交互彩色法について、自分なりに調べておく（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
4)	黄黒交互彩色法の体験 【予習】前回の授業の体験内容について、考察を深めておく（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
5)	箱庭療法とは 【予習】箱庭療法について自分なりに調べておく（60分） 【復習】授業内容の理解を深め、考察する（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
6)	箱庭療法の体験 【予習】箱庭療法についての文献を読んでおく（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
7)	体験をアートで表現する、または校内のアートの体験と表現 【予習】環境における自身の心の反応に意識を向ける（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 レポートの提出
8)	イメージ療法の体験 【予習】イメージ療法について調べる(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
9)	集団絵画療法の体験 【予習】集団絵画療法について調べる(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
10)	妖怪セラピーの体験 【予習】イメージ療法とは何かについて考察を深めておく(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
11)	現在・過去・未来の時間軸を用いた描画療法の体験 【予習】描画療法について調べる(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
12)	仮面を用いた演劇の体験 【予習】絵本の内容について理解を深めておく(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
13)	表現アートセラピーの考案 【予習】これまでの授業内容を振り返り、資料をまとめる(60分) 【復習】考案した表現アートセラピーをブラッシュアップする（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
14)	考案した表現アートセラピーの体験 【予習】考案した表現アートセラピーのプログラムの進行を検討する(60分) 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
15)	まとめ 【予習】これまで学んだ内容を見直しておく（60分） 【復習】授業で体験した内容を自分に合う形でアレンジして試す（60分）	対面授業 レポートの提出
授業外学習		
授業で体験した技法を自分に合う形でアレンジしたり組み合わせたりして試す。 文献等で芸術療法の技法を調べ、良いと感じたものを試す。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト、教材は適宜配布する。 参考書 福留留美(2016)「実践 イメージ療法入門 箱庭・描画・イメージ技法の実際」金剛出版 田嶋誠一（著，編集），成瀬悟策（監修）(2019)「壺イメージ療法：その生いたちと事例研究（創元アーカイブス）」創元		表現アートセラピー演習 芸術と心理 臨床心理学概論

課題に対するフィードバック

作品制作や体験の表現に対して、適宜コメントを伝える。
無理のない範囲で作品や体験を話し、受講生からコメントをもらう。

備考

汚れても良い動きやすい服装で参加すること。
この授業を受講希望の場合、表現アートセラピー を履修しておくことが望ましい。

科目名	フィールドスタディ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	3年	前期			
担当者名	木元 卓也		関連する資格				
授業概要 A3401 地域におけるボランティアの意義と実情について講義および演習形式で学び、現代社会におけるボランタリーセクターの重要性について理解することを目的とする。また、実際の活動を行っている方から直接話を聞く機会も設ける。							
到達目標 (A3401) ・ ボランティアについての正確な理解 ・ ボランタリーセクターの重要性の認識と各自のボランティア意識の高揚 ・ ボランティア活動への参加				成績評価方法 ボランティア活動体験レポート及び活動報告会での発表			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート		○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習		○	○		○		60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 【予習】ボランティア活動について調べる(60分) 【復習】ボランティア先について調べる(60分)	グループワーク
2) ボランティア参加への心構え及び意義 【予習】ボランティアの目的についてまとめる(60分) 【復習】宇部市のボランティア団体について調べる(60分)	小レポート
3) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先の概要をまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
4) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
5) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
6) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
7) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
8) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
9) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
10) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
11) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
12) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
13) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
14) ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア参加後の振り返り(60分)	フィールドワーク
15) ボランティア活動報告会 【予習】ボランティア活動についてまとめる(60分) 【復習】ボランティア報告会後の振り返り(60分)	プレゼンテーション
授業外学習	
ボランティア実習の写真撮影時には個人情報保護に配慮する。(担当者の許可を得るなど)	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
特になし。必要に応じて適宜紹介。	フィールドスタディ

課題に対するフィードバック

実習先での活動内容やレポート作成に関する指導を全体に対して行うとともに、個別の質問については、授業後またはメールにて対応する。

備考

科目名	フィールドスタディ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	1	3年	後期
担当者名	木元 卓也	関連する資格		

授業概要
 地域におけるボランティアの意義と実情について講義および演習形式で学び、現代社会におけるボランティアセクターの重要性について理解することを目的とする。また、実際の活動を行っている方から直接話を聞く機会も設ける。

到達目標 (A3402) <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアについての正確な理解 ・ ボランティアセクターの重要性の認識と各自のボランティア意識の高揚 ・ ボランティア活動への参加 	成績評価方法 ボランティア活動体験レポート及び活動報告会での発表
---	-------------------------------------

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート		○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習		○	○		○		60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1)～3) オリエンテーション及びボランティア先の決定 宇部市美化ロード清掃への参加</p> <p>4)～14) 各ボランティア先での活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ときわ公園 ・放課後デイサービス ・障害児通所施設 ・宇部市内のボランティア団体等 ・各種イベントの補助 <p>15) ボランティア活動報告及びまとめ</p>	<p>各ボランティア先のグループ毎にフィールドワークを通して今後、地域に必要なボランティア活動を考える。</p>
授業外学習	
<p>ボランティア実習の写真撮影時には個人情報保護に配慮する。（担当者の許可を得るなど）</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>特になし。必要に応じて適宜紹介。</p>	<p>フィールドスタディ</p>

課題に対するフィードバック

実習先での活動内容やレポート作成に関する指導を全体に対して行うとともに、個別の質問については、授業後またはメールにて対応する。

備考

科目名	キャリアデザイン			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	梶本 俊哉	関連する資格		

授業概要

大学に入学をして、あなたは何をしたいのか？ 4年間をどの様に過ごすのか？ 4年後に卒業をし、社会に出る、又は大学院進学に向けての進路選択活動をするため、自己理解を深め、これからの自分の大学生活をデザインすることを目的とする。グループワーク・グループ演習などを通して、他者とのコミュニケーションをはかり、同時に、自分の想い、他者への想いを深めていく。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、社会人として必要な知識・スキルについて講義をする。

到達目標

(A1801)

- 自己理解を深める
- 社会人として必要な能力を向上させる
- 社会で働くことの意義を考えることができる
- 広い範囲から職業選択、進路選択ができる

成績評価方法

授業中のグループワークや演習課題への積極的な参加、小レポートの作成、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○	○	○		30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							40
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション ガイダンス 【予習】 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
2) コミュニケーションスキル 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
3) コミュニケーションスキル 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
4) PROGテスト 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
5) 大学生活の過ごし方・マナー 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
6) ワールドカフェ ～クラスのみなどと知り合い、自分の意志を伝える～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
7) 未来の自分を考える ～将来の自分に視点を向け、考える～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
8) あなたの未来は？ ～お金の意味を考える～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
9) Web情報・書籍の活用 Webや書籍の活用方法について考える 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
10) PROGの解説 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
11) PROGの解説 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
12) 社会人基礎力とは？ ～社会人基礎力の概要～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
13) キャリアとは ～キャリアについて考える～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
14) キャリア理論 ～キャリア理論の概要～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
15) 総括 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
授業外学習	
<p>毎授業後、作成するレポートを通して、自身の課題を明確にし、次回の授業への関わりに活かす。 実践的な課題を提示するので、各自取り組み報告する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>適時資料を配布する。 図書館やキャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にし、自分に合った教材を見つける。</p>	<p>キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリア形成実践演習、インターンシップ、インターンシップ</p>

課題に対するフィードバック

小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。

備考

授業においては、Googleクラスルームを活用する。
キャリアデザイン までの課題を提示するので、キャリアデザイン の受講までに、各自取り組み報告する。

科目名	キャリアデザイン			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	後期
担当者名	榎本 俊哉、三島 瑞穂		関連する資格	

授業概要

大学卒業後の職業選択に関する基礎的な事項（経済、社会、企業の仕組み等）について理解を深める。また、社会人・職業人インタビューの実施、発表を通して、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力に磨きをかける。
本授業は対面で実施する。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、業界、企業など社会の仕組みについて講義をする。

到達目標

- (A2801)
- 社会人として必要な能力を向上させる
 - ロールモデルを見つけ、自身の将来像がイメージできる
 - 社会で働くことの意義を考えることができる
 - 広い範囲から職業選択、進路選択ができる

成績評価方法

授業中のグループワークや演習課題への積極的な参加、小レポートの作成、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション			○	○	○		15
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、ビジネス文書、メールのマナー 【予習】情報処理演習の復習（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
2)	質問力・説明力を身につける 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
3)	業界・職種・組織を知る 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
4)	WEB情報の活用（業界研究・職種研究） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
5)	～地域の企業を知る～ 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート グループワーク
6)	どのような働き方があるか、多様な働き方 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
7)	キャリアの心理学 【予習】「キャリア」とは何か、自分なりに考えておく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
8)	お金の話 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
9)	お金の話 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
10)	お金の話 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
11)	社会人へのインタビューの発表 【予習】事前配付資料を元に社会人にインタビューし、まとめておく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
12)	街づくり・人づくり（担当：外部講師） 【予習】自分が育った街や暮らす街の成り立ちや特徴を調べておく（90分） 【復習】自分が街の中で成長し、街に貢献するプロセスを考える（90分）	小レポート グループワーク
13)	街づくり・人づくり（担当：外部講師） 【予習】自分が育った街や暮らす街の成り立ちや特徴を調べておく（90分） 【復習】自分が街の中で成長し、街に貢献するプロセスを考える（90分）	小レポート グループワーク
14)	Jobフェアへの参加 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
15)	キャリアデザイン 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
授業外学習		
<p>毎授業後、作成するレポートを通して、自身の課題を明確にし、次回の授業への関わりに活かす。 社会人へのインタビューを実施し、レポート作成及び、プレゼンテーションの準備をする。 実践的な課題を提示するので、各自取り組み報告する。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
<p>適時資料を配布する。 図書館やキャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にし、自分に合った教材を見つける。</p>		<p>キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリア形成実践演習、インターンシップ、インターンシップ</p>

課題に対するフィードバック

小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。

備考

Googleクラスルームを活用する。
キャリアデザイン までの課題を提示するので、キャリアデザイン の受講までに、各自取り組み、報告する。

科目名	キャリアデザイン			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	3年	後期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格		

授業概要

将来の進路を見据え、不足している能力や知識を認識し、主体的にその能力や知識の習得に取り組む。グループワークを通して、自己理解を深めると同時に、スピーチ、プレゼンテーションなどを通して、社会人基礎力を育成する。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、就職活動全般に必要な知識について、講義をする。

到達目標

- (A3801)
- 自己の価値観を確立する
 - 自己を客観的に分析できる能力の習得
 - 仕事を取り巻く社会環境について、理解することができる
具体的な就職活動、進路選択活動の行動を起こすことができる

成績評価方法

授業への積極的な参加、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							15
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	キャリアデザイン、自分の価値観を知る・説明する 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート
2)	PROGの実施 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート グループワーク
3)	就職活動の全体像を知る 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート
4)	就職活動上必要なマナーを習得する 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート グループワーク
5)	～地域の企業を知る～ 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート グループワーク
6)	PROG解説 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート グループワーク
7)	応募書類の作成 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート グループワーク
8)	お金の話 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
9)	お金の話 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
10)	お金の話 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
11)	社会人の先輩と話そう 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（61分）	小レポート グループワーク
12)	業界研究会（模擬合同就職説明会を体験する） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート グループワーク
13)	街づくり・人づくり（担当：外部講師） 【予習】自分が住む街がどのように生まれ、成長したのかを調べておく（90分） 【復習】自分が街の中で成長し、街に貢献するプロセスを考える（90分）	小レポート グループワーク
14)	街づくり・人づくり（担当：外部講師） 【予習】自分が住む街がどのように生まれ、成長したのかを調べておく（90分） 【復習】自分が街の中で成長し、街に貢献するプロセスを考える（90分）	小レポート グループワーク
15)	労働法 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）	小レポート
授業外学習		
<p>毎授業後、作成するレポートを通して、自己の思いに向き合い、自身の課題を明確にする。 実践的な課題を提示するので、各自取り組み報告する。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
<p>適時資料を配布する。 キャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にして、自分に合った教材を見つける。</p>		<p>キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリアデザイン 、キャリア形成実践演習、インターンシップ、インターンシップ</p>

課題に対するフィードバック

小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。

備考

Googleクラスルームを活用する。

科目名	キャリア形成実践演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	後期
担当者名	角光 通子	関連する資格		

授業概要

職業体験とは、「学生が企業や行政機関などの職場において、就業体験を通じて勤労観や職業観を高めるための制度」である。キャリア形成実践演習では、学校にはない実際の現場を教育の場として利用し、教室で学習したさまざまな知識を実際に応用するための機会を提供する。本学のインターンシップでは、学生自身に将来の職業適性を考える機会を与え、社会人として必要な責任感や自立心など将来の職業人としての心構えを養う。自身の専攻分野に関わらず、幅広く社会に興味を持つことに視点を置き、多様な選択肢から実習機関を選択、実施することにより、学習の場が社会に繋がっていることを知る。本授業は対面で実施する。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、社会人として必要な知識・マナーについて、指導をする。

到達目標

- (A2802)
- 自分自身で考え、考えた内容を自分の言葉で表現できる。
 - 初対面の人とコミュニケーションを取ることが出来、人間関係が構築できる。
 - 社会人として基本的なマナーを習得し実行できる。

成績評価方法

事前指導の受講態度、実習先による評価、実習レポート、実習日誌、報告会での報告内容を総合して、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>10月 オリエンテーション（担当：角光） ～キャリア形成実践演習の概要について～</p> <p>11月 職場体験受け入れ先の選択（担当：角光） 希望先について調査し、レポートを作成 必要書類の準備</p> <p>1月 職場体験受け入れ先の選択・決定（最終）（担当：角光） 必要書類の準備</p> <p>1月上旬～（集中）マナーの習得（担当：角光） ビジネスマナーの習得その1 ビジネスマナーの習得その2</p> <p>2月～3月 希望先での職場体験 （後定期試験期間終了後：春休み期間中）</p> <p>3月 職場体験報告書の作成・提出（担当：角光） 職場体験の振り返り 報告会</p>	
授業外学習	
<p>希望先について調査し、レポートを作成する。職場体験を通じて、自分が習得したいことを事前準備で明確にする。職場体験での日々の振り返りを通して、次の職場体験における行動に活かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>適宜配布するプリント</p>	<p>キャリアデザイン、 インターンシップ、</p>

課題に対するフィードバック

適宜、面談又は、提出された課題にコメントにて実施する。

備考

科目名	インターンシップ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	3年	前期
担当者名	角光 通子	関連する資格		

授業概要
 インターンシップとは、「学生が企業や行政機関などの職場において、就業体験を通じて勤労観や職業観を高めるための制度」である。インターンシップでは、学校にはない実際の現場を教育の場として利用し、教室で学習したさまざまな知識を実際に応用するための機会を提供する。本学のインターンシップでは、学生自身に将来の職業適性を考える機会を与え、社会人として必要な責任感や自立心など将来の職業人としての心構えを養う。これまでの学びを深化させると共に、それぞれの業界・職種を理解する一助として、インターンシップを位置づけ、自身の将来の進路について考える機会とする。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、社会人として必要な知識・マナーについて、指導をする。

到達目標 (A3802) ○自分自身で考え、自分の言葉で表現できる。 ○初対面の人とコミュニケーションを取ることが出来、人間関係が構築できる。 ○社会人として基本的なマナーを習得し実行できる。"	成績評価方法 事前指導の受講態度、インターンシップ先による評価、実習レポート、実習日誌、報告会での報告内容を総合して、評価する。
---	---

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				30
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○		○	○			10
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
<p>4月 オリエンテーション（担当：角光） ～インターンシップの概要について～</p> <p>5月 インターンシップ受け入れ先の選択（担当：角光） 希望先について調査し、レポートを作成 必要書類の準備</p> <p>6月 インターンシップ受け入れ先の選択・決定（最終）（担当：角光） 必要書類の準備</p> <p>7月上旬～（集中）マナーの習得（担当：角光） ビジネスマナーの習得その1 ビジネスマナーの習得その2</p> <p>8月～9月 希望先でのインターンシップ （夏季休暇期間中）</p> <p>10月 インターンシップ報告書の作成・提出（担当：角光） インターンシップの振り返り</p> <p>12月 報告会（担当：角光）</p>		
授業外学習		
<p>希望先について調査し、レポートを作成する。インターンシップを通じて、自分が習得したいことを事前準備で明確にする。インターンシップでの日々の振り返りを通して、次のインターンシップにおける行動に活かす。</p>		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
<p>適宜配布するプリント</p>	<p>キャリアデザイン、インターンシップ キャリア形成演習、インターンシップ</p>	

課題に対するフィードバック

適宜、面談又は、提出された課題にコメントにて実施する。

備考

科目名	インターンシップ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	3年	後期
担当者名	角光 通子	関連する資格		

授業概要

インターンシップとは、「学生が企業や行政機関などの職場において、就業体験を通じて勤労観や職業観を高めるための制度」である。インターンシップでは、学校にはない実際の現場を教育の場として利用し、教室で学習したさまざまな知識を実際に応用するための機会を提供する。本学のインターンシップでは、学生自身に将来の職業適性を考える機会を与え、社会人として必要な責任感や自立心など将来の職業人としての心構えを養う。学生それぞれの専攻分野及び志望するキャリアに関連することを意識して就業体験することにより、これまでの学習内容をさらに充実・深化させ、将来の自身の進路選択に繋げる。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、社会人として必要な知識・マナーについて、指導をする。

到達目標

- (A3803)
 ○自分自身で考え、自分の言葉で表現できる。
 ○初対面の人とコミュニケーションを取ることが出来、人間関係が構築できる。
 ○社会人として基本的なマナーを習得し実行できる。"

成績評価方法

事前指導の受講態度、インターンシップ先による評価、実習レポート、実習日誌、報告会での報告内容を総合して、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				30
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○		○	○			10
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>10月 オリエンテーション（担当：角光） ～インターンシップの概要について～</p> <p>11月 インターンシップ受け入れ先の選択（担当：角光） 希望先について調査し、レポートを作成 必要書類の準備</p> <p>1月 インターンシップ受け入れ先の選択・決定（最終）（担当：角光） 必要書類の準備</p> <p>1月上旬～（集中）マナーの習得（担当：角光） ビジネスマナーの習得その1 ビジネスマナーの習得その2</p> <p>2月～3月 希望先でのインターンシップ（担当：角光） （後期定期試験期間終了後）</p> <p>3月 インターンシップ報告書の作成・提出（担当：角光） インターンシップの振り返り 報告会</p>	
授業外学習	
<p>希望先について調査し、レポートを作成する。インターンシップを通じて、自分が習得したいことを事前準備で明確にする。インターンシップでの日々の振り返りを通して、次のインターンシップにおける行動に活かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>適宜配布するプリント</p>	<p>キャリアデザイン、 インターンシップ、</p>

課題に対するフィードバック

適宜、面談又は、提出された課題にコメントにて実施する。

備考

科目名	心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	梶本 俊哉	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、心理学を学ぶための導入として心理学の各領域について概観し、代表的な心理学理論について理解する。なお本講義は、公認心理師標準シラバスの心理学概論「人の心の基本的な仕組み及び働き」に相当する。

到達目標

(A1201ab)
心理学の主要な研究分野について、その基本的な概念と理論を説明できる。
日常的な現象について心理学的な観点から説明することができる。
人の心と行動をとらえる多様な視点や、心理学の各研究分野の概要を説明することができる。

成績評価方法

試験とレポート等で評価する。なお、出席回数が規定回数に満たない場合、およびレポートの提出がない場合には成績評価をしない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○		○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学の諸領域 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	
2) 私たちの日常生活と心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
3) 感覚と知覚の心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
4) 認知と注意の心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
5) 学習と心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
6) 問題解決と心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
7) 問題解決と心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
8) 欲求と心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
9) 動機付けと心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
10) 記憶と心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
11) 人格と心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
12) 心の理論 フロイトとユング 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
13) 心の理論 夢とイメージ 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
14) 心の健康と臨床の心理学 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
15) まとめ 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習・グループワーク
授業外学習	
授業内容を復習し、日常生活との関連や心理学的理論の活用について考えること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜資料を配付する。	心理学概論

課題に対するフィードバック

質問やレポートについては全体にコメントをフィードバックする。

備考

科目名	心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、心理学の基本概念を踏まえて、心理学とはどのような学問領域なのかを考える。具体的には、諸科学と心理学との違いを検討し、心理学の歴史的発展過程を時代背景と共に概説した上で、心理学が関わる新しい領域についても展望する。

到達目標

(A1202ab)
 心理学とはどのような学問なのか、その定義や範囲を説明できる。
 科学的心理学の成立と発展における重要な学派や概念を説明できる。
 心理学の新しい研究領域と展開について、普段の生活と結びつけて説明できる。

成績評価方法

期末試験、小テスト、授業内レポート、授業態度・授業参加度、演習で評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○		○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) はじめに 心理学においてデータとは？ 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
2) 学習1 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
3) 学習2 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
4) 感覚知覚 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
5) 注意 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
6) 認知 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
7) 記憶 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート・中間テスト
8) 思考・知能 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
9) 動機・欲求・情動 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
10) 発達1 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
11) 発達2 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
12) パーソナリティ 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
13) 自己 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
14) 社会集団 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
15) 進化 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート・期末小テスト
授業外学習	
事前に公開される授業資料を事前に読み、予習する。授業で扱った重要概念について配布資料をもとにその定義について復習する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリントを配布します。	心理学概論 心理学の各専門科目

課題に対するフィードバック

質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。試験については、回答を提示して解説を行う。

備考

科目名	知覚・認知心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

私たちは、多くの事物や出来事に取り囲まれて生活している。その中において適切に振る舞い対処していくためには、周りの状況や事物や出来事、あるいは自分自身の身体の状態さえも適切に捉えることが必要である。それを支えているのが、感覚、知覚、（狭義の）認知と呼ばれる心の働きである。感覚・知覚・認知は、通常、私たちの周りで発生した刺激（情報）がヒトの感覚器官に受容されることから始まるが、私たちが経験するのは周りの世界の写しではなく、むしろ経験や知識の関わりにより解釈し構成された世界である。このような感覚、知覚、認知の働きをまとめて心の認知機能という。この授業では、まず初めに、この認知機能の枠組みと特徴、そしてそれらを捉える方法論について解説する。続いて、それら認知機能が外的情報（刺激）と内的情報（記憶・知識）との相互作用の結果としてもたらされるものとして、それを担う感覚・知覚・認知の過程について解説する。

到達目標

A1203

認知機能の枠組みとその諸特性を理解し、概説できる
多様な感覚・知覚・認知の現象を知り、それぞれを概説できる
感覚・知覚・認知に関する情報処理モデルの考え方を理解し、概説できる

成績評価方法

下記の評価割合に基づき、授業時間内課題、授業時間外学習課題、定期試験、授業態度・参加度によって、1000点満点で総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 感覚の種類と構造 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
2) 感覚・知覚の基本的特性 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
3) 視覚 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
4) 聴覚 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
5) 化学的感覚・体性感覚 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
6) 対象認知 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
7) 感覚・知覚の障害 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
8) 認知の基本的特性 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
9) 注意のメカニズム 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
10) 記憶のメカニズム(1)ワーキングメモリ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
11) 記憶のメカニズム(2)長期記憶 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
12) 記憶のメカニズム(3)日常的記憶 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
13) 知識の表象と構造 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
14) 問題解決と推論 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
15) 認知・思考の障害 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
授業外学習	
<p>予習と復習を行ってください。 具体的内容については授業時に指示します。 授業外でも遠慮なく質問してください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは使用しません。各単元でプリントを配布します。 参考図書： 石口彰（編著）「知覚・認知心理学」放送大学、2019 道又爾他（著）「認知心理学 知のアーキテクチャを探る」有斐閣、2003</p>	<p>脳科学、学習・言語心理学、神経・生理心理学、色彩心理学、色彩心理学演習</p>

課題に対するフィードバック

・ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）・小テストについては、適宜回答と解説等をフィードバックします。

備考

質問があれば講義後またはオフィスアワーを利用すること。

単位認定については大学の規定に準ずる。各自キャンパスガイドを確認の上単位登録・受講すること。

授業資料や課題はClassroomを用いて公開・実施するため、インターネットにアクセスできる機器を持参すること。

本授業では授業開始冒頭に氏名読み上げによる出席確認を毎回行う。遅刻者は授業後に教員に申し出ること。また、遅刻や途中退室が多い場合は、単位認定の対象とならないことがある。やむを得ない理由による欠席の場合は、事前または事後速やかに連絡すること。なお、その際に医療機関等の公的な証明書の提出を求める場合がある。

レポート・課題は原則ClassroomまたはGoogle Form等のe-learningシステムに提出すること。

指示された期提期限までに提出し、それ以降の提出は減点または不受理の対象となる。

授業中のIT端末については、授業活動に必要な場合を除き禁止とし、私的な閲覧やSNSの利用は控えること。

また授業の録音・録画・スクリーンショットの取得は、教員が許可した場合を除き禁止する。

出欠や試験・課題等での不正が発覚した場合には、単位認定しない。

合理的配慮が必要な者は各自手続きを進めること。

第1回はオリエンテーションを兼ねている。オリエンテーションおよびシラバスを理解し、受講ルールを了承の上登録、受講すること。

科目名	発達心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	三島 瑞穂、馬場 弓歌	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

人間の発達とは、生涯にわたり、質的・量的に変化していく「連続した過程」として捉えられる。また、各発達の段階には、達成すべき課題があり、それらを遂行していく過程とも捉えられる。本講では、こうした視点を踏まえ、出生から死に至るまで人生で生じる心の変化を概観し、発達障害とその支援についても理解を深める。なお、人間の発達を実感できるようにビデオやDVDなどの視聴覚教材を適宜活用する。

授業は対面授業を基本とする。

担当する教員の内、馬場は公認心理師として、スクールカウンセラー、フリースクール支援員などの教育臨床領域、および産業領域のカウンセラーなどを行なっている。

到達目標

(A2211ab)

1. 人の発達をライフサイクルの視点からとらえ、変化のプロセスを説明できる。
2. 各発達段階における特徴と課題を説明できる。
3. 認知機能の発達及び感情・社会性の発達について説明できる。
4. 自己と他者の関係の在り方と心理的発達について説明できる。
5. 高齢者の心理について説明できる。
6. 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達について説明できる。
7. 発達障害等非定型発達に関する基礎的な知識及び考え方について説明できる。
8. 発達に関する知識を用いて自己理解を深めることができる。

成績評価方法

各回の授業レポート30%、授業内に取り組む課題40%、授業への参加状況30%

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		40
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (三島) 発達心理学の概要 【予習】自分を振り返り、発達とは何か考えておく 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（各々60分以上）	授業内ワークとミニレポート
2) (三島) 子どもの発達に関する理論 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	授業内ワークとミニレポート
3) (三島) 胎児期から乳児期の認知的発達、初期学習能力、現代日本の子育て状況 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	授業内ワークとミニレポート
4) (馬場) 乳児期:感情・社会性の発達 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる 【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ワークとミニレポート
5) (馬場) 乳児期～幼児前期:認知機能の発達 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる 【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する（各々90分以上）	授業内ワークとミニレポート
6) (馬場) 幼児後期:自己と他者の関係の在り方と心理的発達 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる 【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ワークとミニレポート
7) (馬場) 児童期:論理の発達、社会性の発達、学習、学校への適応 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる 【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する（各々90分以上）	授業内ワークとミニレポート
8) (馬場) 思春期:自己形成、仲間関係、心の問題の顕在化 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる 【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ワークとミニレポート
9) (馬場) 青年期:アイデンティティの形成、親子関係の変化と自立 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる 【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ワークとミニレポート
10) (三島) 成人前期:職業選択とキャリア形成、ライフコースの選択、社会的役割 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる 【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ワークとミニレポート
11) (三島) 成人後期:中年期の危機、心理社会的・認知的変化 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（各々60分以上）	授業内ワークとミニレポート
12) (三島) 老年期:知的発達、自伝的記憶と回想、サクセスフルエイジング【予習】 授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	授業内ワークとミニレポート
13) (三島) 人の死の心理学的特性 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	授業内ワークとミニレポート
14) (馬場) 発達障害等、非定型発達とその心理的特性 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	授業内ワークとミニレポート
15) (三島) 子どもの権利:発達を促進する権利保護 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	授業内ワークとミニレポート
授業外学習	
<p>授業で配布されるプリントを用いたり、小課題（宿題）を行うことでその回の授業内容を復習すること。 次回の授業内容に示された専門用語について、教科書や心理学事典などで事前に調べておくこと。 授業の内容を元に、自分自身や周りの人を発達の観点で捉え、理解を深めること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書 相馬 花恵（編集、著）、板口 典弘（編集、著）「ステップアップ心理学シリーズ 発達心理学 こころの展開とその支援（KS心理学専門書）」講談社	心理学概論 ・ 、教育・学校心理学、学習・言語心理学、障害者・障害児心理学、発達障害児支援論、老年心理学

課題に対するフィードバック

授業に関する質問、資料について補足説明が必要な箇所については、次回の授業で説明する。
ミニレポートに対して適宜、コメントを出す。

備考

科目名	学習・言語心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	古野 公紀	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この授業では、ヒトや動物の行動が変化する過程を理論的に説明できるようになること、また言語の性質と習得のプロセスを理解することを中心に学ぶ。遺伝的あるいは生物学的要因とならび、環境要因が学習において重要なこと、学習者への援助として環境調整への配慮が大切であることへの理解を深める。日常生活への応用として、学習の原理を活用できるように具体例を考えるとといった課題を出す。具体的には以下の内容が予定されている。

ヒトや動物の行動が変化する過程

基本的な学習理論や実験に加えて随時新しい知見や研究成果を紹介し、行動の習得と変化の機序を理解する。その上で日常や学校、社会における様々な行動について学習理論を元に理解し、説明できるように取り組む。

言語の習得における機序

胎児期から乳児期、幼児期と、言語がどのように修得されるのか、その過程を理解すると共に、応答性や感受性を豊かにすることが言語習得においてどのような影響を持つのかを理解する。また、読字障害、書字障害などの学習障害とその支援の在り方について学ぶ。

学習心理学の知見の応用

学習心理学や行動分析学の知見は、認知行動療法や応用行動分析として、教育や臨床などの実践場面で活用されている。どのように役立つかを体験型のワークを通して実践的に学ぶ。

講義は基本的に対面で行う。

到達目標

A2201ab

学習の領域の構成を理解する。
人の行動が変化し学習が成立するプロセスを学ぶ。
人が言語を修得するプロセスを学ぶ。
学習や言語を効果的に習熟する方法について、実験的研究結果から実証的に判断する。
身近な実験から帰納する。
心理学のモデルと日々の言動を対応づけ、普段から心理学的な思考ができるようにする。
言語発達の過程を学び、効果的な習熟過程を考察する中で、人の発達における感受性を豊かにすることや、応答的な学習を促進することの重要性を理解する。
学習障害について学び、学習困難の背景を理解する。

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、授業態度・授業参加度、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度		○	○		○		10
プレゼンテーション							0
グループワーク							0
演習							0
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 学習とは何か？ 予習：教科書（pp.1?11）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.1?11）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
2) 生得的行動・初期学習・順化 予習：教科書（pp.11?24）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.11?24）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
3) 古典的条件づけの基礎 予習：教科書（pp.25?35）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.25?35）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
4) 古典的条件づけにおける諸現象 予習：教科書（pp.36?45）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.36?45）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
5) 古典的条件づけの理論 予習：教科書（pp.46?54）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.45?54）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
6) オペラント（道具的）条件づけの基礎 予習：教科書（pp.55?65）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.55?65）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
7) 回避と逃避 予習：教科書（pp.66?70）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.66?70）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
8) 強化スケジュール 予習：教科書（pp.71?75）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.71?75）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
9) 弁別学習 予習：教科書（pp.76?84）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.76?84）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
10) さまざまな学習 予習：教科書（pp.85?100）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.85?100）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
11) 行動分析学とは 予習：配布資料を読んでおく（60分） 復習：配布資料を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
12) 応用行動分析学とは 予習：配布資料を読んでおく（60分） 復習：配布資料を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
13) 言語の諸相 予習：教科書（pp.101?112）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.101?112）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出 授業外課題の提出
14) 言語の獲得 予習：教科書（pp.113?127）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.113?127）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出 授業外課題の提出
15) 全体のまとめ 予習：配布資料を読んでおく（60分） 復習：配布資料を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
授業外学習	
テキストを読んで予習および復習をしてください。また、必要に応じて授業外課題を行います。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：中島定彦（2020）学習と言語の心理学 昭和堂 テキストに加え、適時資料を配布します	「心理学概論 ・ 」 「認知心理学」 「心理学実験 ・ 」 「教育心理学」 「臨床心理実習 ・ 」

課題に対するフィードバック

リフレクション内での授業の質問に対しては次回の授業でコメントします。

備考

科目名	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

社会的行動の個人的側面と集団的側面を中心に概観することにより、人間の社会的行動のメカニズムについて学ぶ。
 ・社会心理学について歴史や成り立ちを概説し、主要な研究の紹介を交えながら個々のトピックを解説する。
 ・社会や集団という観点から、人の認知、態度、行動に関する心理過程を解説する。

到達目標

- (A2701ab)
- ・社会心理学について歴史や成り立ちを理解し説明できる。
 - ・人間の社会的行動のメカニズムについて説明できる。
 - ・社会や文化の文脈が個人の心的過程に与える影響について説明できる。

成績評価方法

授業ごとの小課題で30%、試験で70%の配分で成績評価を行う。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 社会・集団・家族心理学とは・社会的影響 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
2) 望まぬ社会行動 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
3) 社会心理学の前提・認知バイアスと二重処理モデル 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
4) 印象形成 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
5) ステレオタイプと偏見 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
6) 自己 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
7) 態度と説得 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
8) 攻撃行動と援助行動 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
9) 対人関係の発展・維持・崩壊 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
10) 集団意思決定 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
11) 集団間関係 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
12) 社会的つながりとネットワーク 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
13) 文化とこころ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
14) 家族システム論 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
15) 多様な家族 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
授業外学習	
<p>毎授業時に配布する資料を読み返し復習を行う。特に、授業ごとに出される復習用の小テストを通して、自身の内容の理解度を確認し、適宜足りない部分に重点的に取り組むこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
*テキスト 適宜プリントを配布する。	心理学概論 ・

課題に対するフィードバック

授業内課題については、出された質問・意見に対して授業冒頭で全体にフィードバックする。

備考

科目名	神経・生理心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、人間の心という主観的体験を、脳という物理的基盤と、個人の主観的認知、そして社会的な文脈の相互作用として捉えるBPSモデルを軸に学ぶ。単なる脳解剖の暗記にとどまらず、活動電位やシナプス可塑性がいかんして学習や記憶、情動といった心理現象を生み出すのか、その物理的プロセスを神経・生理学的エビデンスに基づいて解明する。さらに、EEGなどの生理指標が、日常の集中力やストレス、さらには精神疾患の病態をいかに客観的に反映するかを理解し、これらの指標を臨床的アセスメントや介入に応用するための基礎体力を養うものである。心理職が中枢・末梢神経系の構造と機能という客観的なエビデンスを武器として携え、多職種連携や個別化された支援に貢献できる専門性を確立することを目的とする

本講義は心理学部DP1, 4および、公認心理師コアカリキュラムのA2-3、B2-5と関連する。

到達目標

A2210ab

- ・ニューロン間の電気化学的な情報伝達およびシナプス可塑性の機序を、学習や記憶のプロセスと関連づけて説明できる。
- ・EEGにおける周波数帯域(α波、β波等)やHRV、SCRといった生理指標の物理的意味を理解し、心理状態(注意、緊張、情動調整)の客観的評価に応用できる。
- ・前頭前野、扁桃体、海馬といった主要な脳領域の機能局在と、それらが形成する脳機能ネットワーク(DMN, FPN, SN)の動態を、代表的な精神疾患の病態に関連づけて論じることができる。
- ・神経心理学的アセスメントの意義を理解し、脳機能障害や適応困難を持つクライアントに対するBPSモデルに基づいた統合的な定式化の仮説を立てることができる。
- ・BCIやTMSなどの最新の神経技術の進展と、それに伴う神経倫理的な課題(心のプライバシー、自律性)について批判的に考察できる。

成績評価方法

期末試験、小テスト・リアクションペーパー、課題、授業態度・参加度を下記の評価割合に基づいて100点満点で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)		○	○				50
小テスト、授業内レポート	○		○				30
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 神経生理心理学の射程：BPSモデルによる人間理解の全体像 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
2) 脳計測技術と心理学研究法：最新機器による心理現象の可視化手法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
3) 神経系の微細構造と情報伝達：電気信号が繋ぐ脳内対話の基本原則 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
4) シナプス可塑性と学習・記憶：細胞レベルでの記憶形成と習熟の軌跡 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
5) 神経化学物質と行動の相関：化学物質が操る情動と依存の力学 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
6) 感覚・知覚の機序と心理的応用：外界の受容と他者理解を支える神経系 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
7) 運動制御と身体的習熟の生理：熟練の技を支える小脳と基底核の役割 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
8) 自律神経系と生体リズムの調節：心身の調整を司る内部環境の恒常性 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
9) 注意と記憶の高次システム：集中と想起を生む脳内ネットワークの解明 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
10) 意思決定と動機づけの神経基盤：価値評価と衝動制御を担う前頭葉の機能 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
11) 感情生成と情動調整ネットワーク：扁桃体と皮質の拮抗による心の調律 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
12) ストレスの生理学と心身の相関：慢性負荷が脳構造に刻む不可逆的变化 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
13) 精神疾患・発達障害の生物学的病態：脆弱性とネットワーク不全の理解 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
14) 脳機能評価と介入技術の原理：神経心理学的検査と認知リハの実践原理 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
15) 脳機能評価と介入技術の原理：神経心理学的検査と認知リハの実践原理 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
授業外学習	
<p>【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論名について、心理学事典等を用いてあらかじめ調べておくこと。</p> <p>【復習】毎回出される小課題（宿題）を行い、その回の授業内容を復習すること。また、疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて、心理学事典や参考書、インターネット等を用いて調べる。</p> <p>事後学習案を提示するので、各自興味関心に合わせたテーマを選択し、調査・分析する。</p> <p>適宜アナウンスする課題を実施する。</p> <p>高校を含めこれまでに学んだ生物や身体の構造と機能、脳科学等の学びを各自復習する時間を確保する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>【テキスト】 宮田洋（編）1996、脳と心、培風館</p> <p>【参考書】 宮田洋（監修）1997-8、新・生理心理学1-3、北大路書房；日本生理心理学会（編）2016-8、生理心理学と精神生理学1?3、北大路書房。</p>	<p>学習・言語心理学、司法・犯罪心理学、脳科学、生涯発達心理学、知覚・認知心理学</p>

課題に対するフィードバック

課題等は適宜フィードバックする

備考

質問があれば講義後またはオフィスアワーを利用すること。
単位認定については大学の規定に準ずる。各自キャンパスガイドを確認の上単位登録・受講すること。
授業資料や課題はClassroomを用いて公開・実施するため、インターネットにアクセスできる機器を持参すること。
本授業では授業開始冒頭に氏名読み上げによる出席確認を毎回行う。遅刻者は授業後に教員に申し出ること。また、遅刻や途中退室が多い場合は、単位認定の対象とならないことがある。やむを得ない理由による欠席の場合は、事前または事後速やかに連絡すること。なお、その際に医療機関等の公的な証明書の提出を求める場合がある。

レポート・課題は原則ClassroomまたはGoogle Form等のe-learningシステムに提出すること。
指示された期提期限までに提出し、それ以降の提出は減点または不受理の対象となる。
授業中のIT端末については、授業活動に必要な場合を除き禁止とし、私的な閲覧やSNSの利用は控えること。
また授業の録音・録画・スクリーンショットの取得は、教員が許可した場合を除き禁止する。
出欠や試験・課題等での不正が発覚した場合には、単位認定しない。
合理的配慮が必要な者は各自手続きを進めること。

第1回はオリエンテーションを兼ねている。オリエンテーションおよびシラパスを理解し、受講ルールを了承の上登録、受講すること。

科目名	感情・人格心理学(人格心理学)			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、人間の個性の体系である人格（パーソナリティ）について、その構造、形成過程、および適応との関連を科学的に理解することを目指す。古典的な精神力動理論や人間性心理学のエッセンスを学びつつ、現代の主流である特性論（ビッグファイブ）、社会的認知理論、行動遺伝学の知見に重点を置く。公認心理師に求められる「科学者 - 実践家モデル」を基盤とし、学術的知見をいかに実際の対人支援、ケース定式化、および自己内省に活用するかを実践的に考究する。

本講義は心理学部のDP2・4および公認心理師コアカリキュラムの下記の項目と関連する。

B-2-4、B-2-3、B-2-5、B-3-1、B-3-2、C-1-1、C-2-1、D-1-1

到達目標

A2418ab

人格の主要な理論（特性論、類型論、力動理論、社会的認知理論等）を、心理学の専門用語を用いて正しく説明できる。
 人格形成における遺伝と環境の相互作用、および状況が行動の一貫性と変容に与える影響を多面的に概説できる。
 人格のアセスメント手法（質問紙法、投影法等）の原理と倫理的留意点を理解し、適切なテストバッテリーを考案できる。
 専門職として自己の特性やバイアスを客観的に内省し、他者理解や支援に活かす「反省的实践」の態度を習得する

成績評価方法

期末試験、小テスト、宿題、授業態度・参加度を下記の評価割合に基づいて100点満点で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)			○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 人格の概念と定義：人格・性格・気質の定義と人間理解の枠組み 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
2) 人格の形成1：行動遺伝学の知見に基づく遺伝と環境の相互作用 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
3) 人格の形成2：状況論と相互作用論に基づく行動の一貫性と変容の理解 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
4) 特性論(1)：5因子モデルの構造と適応的機能と科学的基盤 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
5) 特性論(2)：適応リソースとしての知能の構造と人格との関連性 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
6) 類型論の歴史の変遷と現代的応用：理論の変遷と分類の功罪 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
7) 社会的認知理論：三元相互決定論、モデリング、自己調整による行動変容の機序【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
8) 精神力動的視点と防衛機制の統合：無意識のプロセスの自動性と防衛機制 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
9) ナラティブ・アイデンティティと自己概念：人生の物語の意味づけと自己概念構築 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
10) 多角的測定とアセスメントの科学：データ統合、測定指標、および評価 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
11) 生涯発達と成熟：順位安定性と平均水準の変化、および社会投資理論による成熟 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
12) 人格の病理とBPSモデル：特性の極端な偏りと見立て 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
13) ストレス・健康と人格：心身相関、健康行動モデル、および回復力の特性 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
14) 定式化と心理的支援：人格理論を基盤とした見立ての構造化と支援 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
15) 専門職の倫理と反省的实践：文化的背景への配慮、自己内省、支援者の専門的態度 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
授業外学習	
<p>【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論名について、心理学事典等を用いてあらかじめ調べておくこと。</p> <p>【復習】毎回出される小課題（宿題）を行い、その回の授業内容を復習すること。また、疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて、心理学事典や参考書、インターネット等を用いて調べる。</p> <p>事後学習案を提示するので、各自興味関心に合わせたテーマを選択し、調査・分析する。</p> <p>適宜アナウンスする課題を実施する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：必要に応じて資料を配付する。</p> <p>参考書： はじめて学ぶパーソナリティ心理学 小塩真司(著) ミネルヴァ書房 2010 性格の心理 丹野義彦(著) サイエンス社 2003</p>	<p>社会・集団・家族心理学 臨床心理学概論 健康・医療心理学 心理的アセスメント</p>

課題に対するフィードバック

課題は適宜フィードバックする

備考

質問があれば講義後またはオフィスアワーを利用すること。
単位認定については大学の規定に準ずる。各自キャンパスガイドを確認の上単位登録・受講すること。
授業資料や課題はClassroomを用いて公開・実施するため、インターネットにアクセスできる機器を持参すること。
本授業では授業開始冒頭に氏名読み上げによる出席確認を毎回行う。遅刻者は授業後に教員に申し出ること。また、遅刻や途中退室が多い場合は、単位認定の対象とならないことがある。やむを得ない理由による欠席の場合は、事前または事後速やかに連絡すること。なお、その際に医療機関等の公的な証明書の提出を求める場合がある。

レポート・課題は原則ClassroomまたはGoogle Form等のe-learningシステムに提出すること。
指示された期提期限までに提出し、それ以降の提出は減点または不受理の対象となる。
授業中のIT端末については、授業活動に必要な場合を除き禁止とし、私的な閲覧やSNSの利用は控えること。
また授業の録音・録画・スクリーンショットの取得は、教員が許可した場合を除き禁止する。
出欠や試験・課題等での不正が発覚した場合には、単位認定しない。
合理的配慮が必要な者は各自手続きを進めること。

第1回はオリエンテーションを兼ねている。オリエンテーションおよびシラパスを理解し、受講ルールを了承の上登録、受講すること。

科目名	感情・人格心理学(感情心理学)			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義は、人間の感情について、その発生機序、主要な理論、行動や認知への影響、および心理的支援への応用を体系的に教授するものである。公認心理師の「科学者 実践家モデル」に基づき、感情の科学的理解を実際の対人支援や自己内省（反省的実践）に結びつけることを目的とする。

具体的には、以下の視点から構成される

基礎的視点：感情の定義、歴史、および主要な古典的・現代的理論（基本感情説、次元論、認知的評価理論等）の検討

生物・神経学的視点：扁桃体や前頭前野等の脳部位、および神経伝達物質による感情喚起の神経生理学的機序の解明

応用・臨床的視点：感情の表出・制御（感情調節）が心身の健康や動機づけに及ぼす影響の分析、および気分障害や不安症に対する心理学的支援の方向性の探求

本講義は公認心理コアカリキュラムにおけるB-2-4、C-2、学部DP1・2・4・5と関連する。

到達目標

ナンバリング(A3434ab)

- 感情の主要な理論（基本感情説、次元論、認知的評価理論等）と脳神経学的機序を専門用語で説明できる。
- 感情の表出、制御、および動機づけが行動や心身の健康に及ぼす影響を、具体的な事例に即して分析できる。
- 自己の感情反応を客観的に内省し、専門職としての対人関係構築や倫理的配慮に活かす態度を身につける。

成績評価方法

定期試験、小テスト、宿題、授業態度・参加度に関して、下記の評価割合に基づいて100点満点で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)			○				50
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 感情の定義と歴史：感情・情動・気分概念の区別と心理学研究の歴史の変遷 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
2) 感情の古典的理論：身体反応と中枢プロセスの関連性と感情生起モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
3) 感情の現代的理論：認知評価および構成主義的視点から見た多層的な感情生成理論 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
4) 感情の分類と次元：基本感情説と次元モデルによる感情構造の体系的理解 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
5) 感情の神経生理学的基礎：中枢・末梢から捉える感情の生物学的機序 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
6) 感情の表出と伝達：非言語的表出機能と文化を超えた感情伝達の普遍性と表示規則 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
7) 感情と社会・文化：対人関係の力動性と文化的自己が観感情機能に及ぼす影響 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
8) 感情と認知の相互作用：気分が情報処理、記憶、判断に与える影響とメカニズム 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
9) 感情の発達と社会化：生涯発達の視点に基づく感情の変容とアタッチメントの役割 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
10) 感情調節の理論と実際：感情調節プロセスモデルに基づく調整方略 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
11) 感情と心身の健康：感情調整の不全が心身の病理（心身症等）に及ぼす影響の分析 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
12) 感情と個人的動機づけ：内発的・外発的動機づけと自己決定プロセスにおける感情 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
13) 社会的動機と達成：成功・失敗の評価と自己効力感、達成をめぐる感情の力動 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
14) 感情の障害と心理的支援：心理学的アセスメントと主要な介入技法の概要 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
15) 専門職としての感情内省：対人支援におけるリフレクション、セルフケアの実践 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分） 【復習】学んだ知識を日常場面に当てはめ心理学的に分析する（90分）	PBL・小テスト・リアクションペーパー・体験学習
授業外学習	
<p>【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論名について、心理学事典等を用いてあらかじめ調べておくこと。</p> <p>【復習】毎回出される小課題（宿題）を行い、その回の授業内容を復習すること。また、疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて、心理学事典や参考書、インターネット等を用いて調べる。</p> <p>事後学習案を提示するので、各自興味関心に合わせたテーマを選択し、調査・分析する。</p> <p>適宜アナウンスする課題を実施する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは使用しない。</p> <p>毎回プリントを配布する。</p> <p>参考文献は授業内で紹介する。</p>	<p>神経心理学、認知心理学、人格心理学、健康心理学、社会心理学、臨床心理学、脳科学、生理学関連の講義</p>

課題に対するフィードバック

課題等についてはClassroomや講義等で適宜フィードバックする

備考

質問があれば講義後またはオフィスアワーを利用すること。
単位認定については大学の規定に準ずる。各自キャンパスガイドを確認の上単位登録・受講すること。
授業資料や課題はClassroomを用いて公開・実施するため、インターネットにアクセスできる機器を持参すること。
本授業では授業開始冒頭に氏名読み上げによる出席確認を毎回行う。遅刻者は授業後に教員に申し出ること。また、遅刻や途中退室が多い場合は、単位認定の対象とならないことがある。やむを得ない理由による欠席の場合は、事前または事後速やかに連絡すること。なお、その際に医療機関等の公的な証明書の提出を求める場合がある。

レポート・課題は原則ClassroomまたはGoogle Form等のe-learningシステムに提出すること。
指示された期提期限までに提出し、それ以降の提出は減点または不受理の対象となる。
授業中のIT端末については、授業活動に必要な場合を除き禁止とし、私的な閲覧やSNSの利用は控えること。
また授業の録音・録画・スクリーンショットの取得は、教員が許可した場合を除き禁止する。
出欠や試験・課題等での不正が発覚した場合には、単位認定しない。
合理的配慮が必要な者は各自手続きを進めること。

第1回はオリエンテーションを兼ねている。オリエンテーションおよびシラパスを理解し、受講ルールを了承の上登録、受講すること。

科目名	心理学研究法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

心理学が取り扱う心や行動のメカニズムは、目に見える仕方では直接調べることができないものが多い。そこで心理学の研究法には、研究対象に接近するための様々な工夫が凝らされてきた。心についての科学的知識が、社会生活を営む上で重要性を増している現代社会において、これらの知識がどのように生み出されるのかを理解することは、情報を批判的に吟味する能力を養うことにつながる。それは、研究者や対人援助の専門家だけでなく、社会で生きるすべての人々にとって有用なものでもある。本講義では研究事例をもとに、心理学の各領域で試みられた様々な方法的工夫を紹介する。なお、本講義は公認心理師標準シラバスの心理学研究法「心理学における実証的研究法（量的研究及び質的研究）」に相当する。

到達目標

(A2201ab)

心理学的知見が生成される過程を理解し、科学的情報を批判的に吟味する視点を身につける。

こころと行動を研究対象とする場合の難しさと、主要な研究法においてそれに対処するための工夫について説明することができる。

心理学研究における量的アプローチと質的アプローチの概要を理解し、複数の可能性から研究対象に合わせて適切な方法を選択できる。

心理学研究において遵守すべき倫理規定を理解し、自らの学習並びに研究活動において実践することができる。

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、授業態度・授業参加度、グループワーク、中間テスト、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学とは、研究とはなにか 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
2) 量的研究と質的研究、構成概念 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
3) 妥当性と信頼性・相関と因果・独立変数と従属変数 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
4) 研究方法の選択：実験法(1) 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
5) 研究方法の選択：実験法(2) 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
6) 研究方法の選択：調査法（1） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
7) 研究方法の選択：調査法（2） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート・中間小テスト
8) 研究方法の選択：観察法 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
9) 研究方法の選択：面接法 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
10) 研究方法の選択：検査法 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
11) 研究方法の選択：介入法 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
12) 得られたデータの扱い方 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
13) リサーチクエスション 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
14) 先行研究の探し方 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
15) まとめと振り返り 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
授業外学習	
事前に公開される授業資料を事前に読み、予習する。授業で扱った重要概念について配布資料をもとに内容を復習する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：講義資料を配付する	心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習、心理検査法演習、心理学実験、心理学実験、色彩心理学演習、心理的アセスメント、心理検査法演習

課題に対するフィードバック

復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。

備考

科目名	心理学研究法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

心理学が取り扱う心や行動のメカニズムは、目に見える仕方で直接調べることができないため、研究対象に接近するための様々な工夫が凝らされてきた。これらの方法を通じて、心や行動のメカニズムについての手掛かりとなる多様なデータを得ることができる。心や行動を心理学的に理解するためには、これらのデータを適切に取り扱うための方法を身につけることが不可欠である。さらに、科学者としてデータを正しく扱うためのルールや、研究を行う際に守るべき規範についても学ぶ必要がある。本講義では、心理学の各領域における様々な研究法を踏まえ、それらの方法によって得られるデータの分析方法や、データに基づいた実証的思考法について概説するとともに、演習を通じてこれらのスキルを実践的に身につけることを目指す。

到達目標

(A2201ab)
 データに基づいて実証的に考え、論理的に表現することができる。
 データから導かれる結論の確からしさについて、批判的に検討することができる。
 心理学研究における量的アプローチと質的アプローチ並びにそれぞれのアプローチで用いられる研究方法について概要を理解し、得られたデータの適切な分析法を選択することができる。
 心理学研究において遵守すべき倫理規定を理解し、自らの学習並びに研究活動において実践することができる。

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、授業態度・授業参加度、演習、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート	○						10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		40
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 研究とはなにか 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習
2) 量的研究と質的研究 【予習】「心理学」の学問的立場について概論書を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
3) 構成概念と信頼性・妥当性 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
4) 実験計画を立ててみる 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
5) 調査項目を見る目を養う 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
6) 紙のデータをエクセルに入力する 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
7) 面接の練習をする 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
8) 半構造化面接の計画を立てる 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
9) インタビューする 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
10) 面接の振り返りと逐語録作成 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
11) 逐語録の分析 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
12) テキストマイニング 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
13) 写真の観察 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
14) 動画の観察と観察データの数値化 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
15) 研究計画を立てる 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	振り返り小レポート
授業外学習	
<p>事前に公開される授業資料を事前に読み、予習する。授業で扱った重要概念について配布資料をもとに内容を復習する。後半の演習では、ディスカッションを踏まえた課題文をメンバーと共有し、他のメンバーのものを読んで自分の意見を形成しておく。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：講義資料を配付する 参考図書： 高野陽太郎・岡隆（編著）「心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし」補訂版 有斐閣、2017 村井潤一郎・藤川麗（編著）「心理学研究法」（公認心理師の基礎と実践 4） 遠見書房、2018</p>	<p>心理学研究法、心理学統計法、心理学統計法演習、心理検査法演習、心理学実験、心理学実験、色彩心理学演習、心理的アセスメント、心理検査法演習</p>

課題に対するフィードバック

復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。

備考

科目名	心理学統計法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

科学的心理学において、実験や調査で得られたデータの統計処理は重要な位置を占めている。この授業では、心理学研究で用いられる統計学手法について、統計に関する基礎的な知識からより複雑な手法に至るまで、具体的な事例を用いて、電卓を用いた手計算およびExcelを使った演習を交えながら解説する。

到達目標

(A2203ab)
 分析手続きに関する知識とスキルを修得する
 統計的指標のもつ意味や分析方法の原理を概念的に理解する
 心理学的研究仮説から統計的に検証可能な予測を導き、研究仮説に関して妥当な結論を導くことができる

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、中間試験、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション，母集団とサンプル 【予習】「心理学研究法」で配布された資料を読み返しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2) データの標準化，z検定 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
3) グループ平均のz検定，共分散，相関 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
4) ノンパラメトリック相関と偏相関 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
5) 計算に慣れる 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
6) カイ2乗検定 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
7) F検定 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
8) t検定 【予習】これまでの授業を復習し，中間試験の準備をする。（90分） 【復習】資料を参照しながら中間試験の問題を再度解答する（90分）	
9) 無相関検定・ウェルチの検定 【予習】中間試験の内容を確認する。（90分） 【復習】中間試験で誤答した問題を再度解答する（90分）	小テスト
10) 1要因の分散分析 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
11) 2要因の分散分析 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
12) 分散分析：主効果と交互作用の復習 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
13) 多変量解析の紹介 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
14) 因子分析 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
15) まとめ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
授業外学習	
初回と第8回を除く授業への予習と、最終回を除く授業の復習。 具体的内容については授業時に指示する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：講義資料を配付する 参考図書： 清水裕士（2021）. 心理学統計法 放送大学教育振興会	統計学、心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法演習、 心理的アセスメント、心理検査法演習、心理学実験、心理学実験

課題に対するフィードバック

復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。

備考

科目名	心理学統計法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	認定心理士	

授業概要

心理学の研究において、実験法や調査法などいずれの方法を用いる場合でも、得られたデータを適切な統計手法を用いて分析することが重要である。本授業では、統計ソフトHADを用いて実際に量的なデータを扱い、心理統計の方法を身につけることを目指す。

到達目標

(A2204b)

- ・統計値について正しく理解できる。
- ・Excelを用いて基本的な統計量を算出できる。
- ・統計ソフトHADを用いて統計量を算出できる。

成績評価方法

授業内小テスト(20%)、時間外復習課題(40%)、演習(40%)で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							40
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 【予習】Excelに触れ、使い方について調べておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
2) 記述統計 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
3) データの標準化とz検定 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
4) グループ平均を用いたz検定と相関係数 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
5) ノンパラメトリック相関・偏相関 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
6) クロス表とカイ2乗検定 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
7) t検定（1） 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
8) t検定（2） 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
9) 1要因の分散分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
10) 2要因の分散分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
11) 分析方法の総復習 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
12) 因子分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
13) 単回帰分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
14) 重回帰分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
15) まとめ 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
授業外学習	
各授業の予習及び復習をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>【テキスト】講義資料を配付する</p> <p>【教科書】 小宮あすか・布井雅人（2024）. Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける 第2版 講談社</p>	<p>心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法、心理的アセスメント、心理検査法演習、心理学実験、心理学実験</p>

課題に対するフィードバック

次回の授業で解説する。

備考

科目名	心理調査法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	認定心理士(心理調査)	

授業概要

心理学は人や動物の行動に関する科学と定義されている。心は目に見えず科学として直接扱うことは難しいが、目に見える行動は心の働きを反映しており、観察可能である。心理調査法とは、心を反映する行動を定性的・定量的にとらえ、人の心理を理解するものをいう。本講義では、これまでに開発されてきた心理調査法の具体的な技法を学ぶ。

カウンセラーを目指す者は、大学での卒業論文、大学院での修士論文などでは、実験研究、調査研究が行われる。また、就職を考えている者にとっても、消費者行動の調査が必要となることもあるだろう。そこで、本講義では、心理調査法の種類や、手続き、分析と解釈ができるような実践的な講義を展開する。これにより、受講者それぞれのキャリアに心理学を活用できるようになることを目指す。

この講義は心理学部DP1,4および公認心理師コアカリキュラムB-1-3、B-1-4、C-1-1と関連し、認定心理士(心理調査)の資格を有する教員が担当する。

到達目標

A2205

心理調査の種々の方法について説明できる。
 心理調査の種々の方法を用いた研究論文を読解できる。
 心理調査の種々の方法を用いた倫理的に適切な研究計画を立案できる。
 心理学研究の倫理規定を理解し調査場面に応じた配慮を説明・実践できる。

成績評価方法

授業内課題・レポート・授業参加度、プレゼンテーションおよびグループワークについて、下記の評価基準の割合に基づいて100点満点で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			50
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度		○	○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			10
グループワーク		○	○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 心理調査法の概要と研究倫理 【予習】関連科目の学びをおさらいする（90分） 【復習】心理調査法で何ができるようになるかをまとめる（90分）	アンケート
2) 観察法から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 グループワーク
3) 対比較法から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
4) 対比較法から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】	講義内課題 レポート
5) 対比較法から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
6) SD法から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
7) SD法から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
8) 心理尺度から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
9) 心理尺度から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
10) 心理尺度から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
11) 心理尺度から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
12) 面接法から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 グループワーク
13) 質的研究から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 グループワーク
14) 質的研究から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 グループワーク
15) 心理調査を用いた研究計画 【予習】興味関心のある心理学のテーマを考える（90分） 【復習】卒業論文にこれまでの学びをどのように生かすか考える（90分）	レポート
授業外学習	
本講義では心理調査を体験しながら学ぶ講義形式をとる。講義で用いたデータの解析やレポート作成を講義時間外にも行ってほしい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は使用しない。適宜資料を配布する。 また、参考となる図書については講義内で紹介する。	心理学研究法，心理統計法，卒業研究 心理学実験，心理検査法演習 情報処理演習（文書作成），情報処理演習（表計算）

課題に対するフィードバック

可能な限り添削や講評によってフィードバックする

備考

質問があれば講義後またはオフィスアワーを利用すること。
単位認定については大学の規定に準ずる。各自キャンパスガイドを確認の上単位登録・受講すること。
授業資料や課題はClassroomを用いて公開・実施するため、インターネットにアクセスできる機器を持参すること。
本授業では授業開始冒頭に氏名読み上げによる出席確認を毎回行う。遅刻者は授業後に教員に申し出ること。また、遅刻や途中退室が多い場合は、単位認定の対象とならないことがある。やむを得ない理由による欠席の場合は、事前または事後速やかに連絡すること。なお、その際に医療機関等の公的な証明書の提出を求める場合がある。

レポート・課題は原則ClassroomまたはGoogle Form等のe-learningシステムに提出すること。
指示された期提期限までに提出し、それ以降の提出は減点または不受理の対象となる。
授業中のIT端末については、授業活動に必要な場合を除き禁止とし、私的な閲覧やSNSの利用は控えること。
また授業の録音・録画・スクリーンショットの取得は、教員が許可した場合を除き禁止する。
出欠や試験・課題等での不正が発覚した場合には、単位認定しない。
合理的配慮が必要な者は各自手続きを進めること。

各自情報端末を持参のうえ受講すること。また、レポート作成には講義の参加が必須であることから、遅刻や欠席をしないようにすること。
他者やWeb上のレポートを写すなどは盗用にあたり、不正行為となる。厳に慎むこと。
講義で課したレポートはすべて期限内に提出すること。未完成・記述不足等の不備があれば再提出を求めることがある。
第1回はオリエンテーションを兼ねている。オリエンテーションおよびシラバスを理解し、受講ルールを了承の上登録、受講すること。

科目名	心理学実験			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	2	2年	前期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この授業では実際に代表的な心理学実験を実験者・被験者・実験参加者の立場で体験します。この体験の中で、実験の計画立案、統計に関する基礎的な知識を活用してのデータ処理や結果の解釈および考察の方法、実験レポートの書き方を学びます。これらにより、卒業研究に取り組むために必要な技能を習得していきます。

到達目標

A2205

- ・実験の計画立案ができる。
- ・統計に関する基礎的な知識を活用できる。
- ・実験レポートを適切に作成できる。

成績評価方法

- ・授業および実験への参加と実施（50%）
- ・実験レポート（50%）
- * すべての実験レポート提出を必須とする。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		20
演習	○	○		○			10
実習	○	○	○	○	○		10

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学実験の諸注意 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2) レポートの書き方 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】日本語論文を読む（90分）	
3) ミュラー・リヤーの錯視 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
4) ミュラー・リヤーの錯視 ～「目的」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
5) ミュラー・リヤーの錯視 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
6) ミュラー・リヤーの錯視 ～「方法」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
7) ミュラー・リヤーの錯視 ～分析（1要因分散分析） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
8) ミュラー・リヤーの錯視 ～「結果」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
9) ミュラー・リヤーの錯視 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
10) ミュラー・リヤーの錯視 ～「考察」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
11) ミュラー・リヤーの錯視 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
12) ミュラー・リヤーの錯視 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
13) 鏡像描写 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
14) 鏡像描写 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
15) 鏡像描写 ～分析（t検定） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
16) 鏡像描写 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
17) 鏡像描写 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
18) 鏡像描写 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
19) 単語の記憶 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
20) 単語の記憶 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験

21)	単語の記憶 ~ 分析 (2要因の分散分析) 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
22)	単語の記憶 ~ 解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	
23)	単語の記憶 ~ レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
24)	単語の記憶 ~ 自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
25)	ストループ効果 ~ 実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
26)	ストループ効果 ~ 実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実験
27)	ストループ効果 ~ 分析 (2要因の分散分析) 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
28)	ストループ効果 ~ 解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	
29)	ストループ効果 ~ レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
30)	ストループ効果 ~ 自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習

授業外学習

実施したすべての心理学実験についてのレポート提出を義務とします。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>【テキスト】木下富雄 (代表編集, 1990) 教材心理学, 第4版, ナカニシヤ出版</p> <p>【参考書】日本心理学会・認定心理士資格認定委員会 (編集, 2015) 実験・実習で学ぶ心理学の基礎, 金子書房</p>	<p>心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習</p>

課題に対するフィードバック

レポートはコメントと評価をつけて返す。

備考

- ・実習のため、原則として遅刻・欠席は認められません。
- ・レポートの提出は期限厳守です。
- ・実験レポートの提出がなければ単位認定されません。
- ・他の受講生やオンライン上にあるレポートを盗用・流用した場合には、不正行為となりますので、厳に慎んでください。
- ・本演習は公認心理師 (心理学基礎科目)、認定心理士 (領域C) 取得に関わります。
- ・公認心理師、認定心理士の取得には前期開講の心理学実験 と後期開講の心理学実験 の両方の単位認定が必要です。

第1回はオリエンテーションを兼ねている。オリエンテーションおよびシラバスを理解し、受講ルールを了承の上登録、受講すること。

科目名	心理学実験			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	2	2年	後期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この授業では、心理学実験 に引き続き、実際に代表的な心理学実験を実験者・被検査者・実験参加者の立場で体験します。この体験の中で、実験の計画立案、統計に関する基礎的な知識を活用してのデータ処理や結果の解釈および考察の方法、実験レポートの書き方を学びます。これらにより、卒業研究に取り組むために必要な技能を習得していきます。

到達目標

(A2206ab)

- ・実験の計画立案ができる。
- ・統計に関する基礎的な知識を活用できる。
- ・実験レポートを適切に作成できる。

成績評価方法

- ・授業および実験への参加と実施 (50%)
- ・実験レポート (50%)
- * すべての実験レポート提出を必須とする。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験 (中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		20
演習	○	○		○			10
実習	○	○	○	○	○		10

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学実験の諸注意 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2) レポートの書き方 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】日本語論文を読む（90分）	
3) 触2点関 ~実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
4) 触2点関 ~「目的」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
5) 触2点関 ~実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
6) 触2点関 ~「方法」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
7) 触2点関 ~分析（1要因分散分析） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
8) 触2点関 ~「結果」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
9) 触2点関 ~解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
10) 触2点関 ~「考察」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
11) 触2点関 ~レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
12) 触2点関 ~自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
13) 大きさの恒常性 ~実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
14) 大きさの恒常性 ~実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
15) 大きさの恒常性 ~分析（相関係数） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
16) 大きさの恒常性 ~解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
17) 大きさの恒常性 ~レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
18) 大きさの恒常性 ~自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
19) パーソナルスペース ~実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
20) パーソナルスペース ~実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験

21)	パーソナルスペース ~ 分析 (2要因の分散分析) 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
22)	パーソナルスペース ~ 解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	
23)	パーソナルスペース ~ レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
24)	パーソナルスペース ~ 自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
25)	質問紙調査 ~ 調査の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
26)	質問紙調査 ~ 調査の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実験
27)	質問紙調査 ~ 分析 (相関係数) 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
28)	質問紙調査 ~ 解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	
29)	質問紙調査 ~ レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
30)	質問紙調査 ~ 自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習

授業外学習

実施したすべての心理学実験についての小レポート、レポート提出を義務とします。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】木下富雄 (代表編集, 1990) 教材心理学, 第4版 . ナカニシヤ出版	心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習

課題に対するフィードバック

レポートはコメントと評価をつけて返す。

備考

- ・本演習の講義形態は選択となっていますが、公認心理師、認定心理士の取得に心理学実験 ・ の両方の単位認定が必要です。資格取得を目指される方は必ず選択してください。
- ・実習のため、原則として遅刻・欠席は認められません。
- ・レポートの提出は期限厳守です。
- ・実験レポートの提出がなければ単位認定されません。
- ・他の受講生やオンライン上にあるレポートを盗用・流用した場合には、不正行為となりますので、厳に慎んでください。

科目名	心理学研究総合演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	3年	後期			
担当者名	榎本 俊哉、小野 洋平、三島 瑞穂、脇 貴典、森本 裕子、小山 典子、木元 卓也、馬場 弓歌		関連する資格	認定心理士（心理調査）			
授業概要 この演習は認定心理士（心理調査）の取得を希望する場合には必須となる。 演習の概要としては、調査・実験・観察・面接・尺度構成・検査などの方法を用いて、履修生が演習内容を自ら計画し、データの採取、処理、解析を行い、報告書の提出を行うことが求められる。 なお、実験研究の文献講読演習、実験・調査のみの実施、心理学の調査・実験と関係がない一般的なPC実習、情報処理法、プログラミング実習、病院・施設の見学などはこの演習の内容としては認められない。							
到達目標 (A3601*) ・履修生が主体となって調査研究の計画作成をすることができる。 ・調査に関して調査協力者に適切な倫理的配慮をすることができる。 ・「目的、方法、結果、考察を含む報告書」の作成をすることができる。			成績評価方法 演習内容について履修生からの「目的、方法、結果、考察を含む報告書」の提出に基づき、演習への取り組み状況をふまえて担当教員が総合的に成績評価を行う。 なお、この要件を満たす報告書の提出がない場合には単位認定しない。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理調査の計画 【復習】関連文献の精読（120分）	演習
2) 心理調査の計画 【復習】計画作成・関連文献の精読（120分）	演習
3) 心理調査の計画 【復習】計画作成・関連文献の精読（120分）	演習
4) 心理調査の計画の検討 【復習】計画を担当教員に報告して計画を再検討する（120分）	プレゼンテーション・演習
5) 心理調査の計画の検討 【復習】計画を担当教員に報告して計画を再検討する（120分）	プレゼンテーション・演習
6) 心理調査の実施 【復習】調査実施およびデータの整理（120分）	演習
7) 心理調査の実施 【復習】調査実施およびデータの整理（120分）	演習
8) 心理調査の実施 【復習】調査実施およびデータの整理（120分）	演習
9) 心理調査結果の分析および考察 【復習】結果データ分析および考察の検討（120分）	演習
10) 心理調査結果の分析および考察 【復習】結果データ分析および考察の検討（120分）	演習
11) 心理調査結果の分析および考察 【復習】結果データ分析および考察の検討（120分）	演習
12) 心理調査報告書の作成 【復習】報告書の作成（120分）	演習
13) 心理調査報告書の作成 【復習】報告書の作成（120分）	演習
14) 心理調査報告書の作成 【復習】報告書の作成（120分）	演習
15) 心理調査報告書のプレゼンテーション 【復習】担当教員からのコメントをふまえての調査報告書の見直し（180分）	プレゼンテーション・演習
授業外学習	
<p>心理調査の進捗状況について、適宜、担当教員に報告することを必須とする。 なお、心理調査の実施前に、必ず調査計画書を担当教員に提出し、調査実施の許可を得てから調査を実施すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>特に定めない。 調査研究の内容に沿った文献を精読すること。</p>	<p>心理学に関連する科目全般</p>

課題に対するフィードバック

履修生からの進捗状況の報告に基づき、担当教員が個別にコメントする。

備考

科目名	ビジネス心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	三島 瑞穂、脇 貴典、森本 裕子、馬場 弓歌		関連する資格	

授業概要

ビジネス心理学は、企業を中心とする様々な組織で働いている人々の行動や経営活動について、心理学の考え方を応用、活用して問題解決を図っていこうとする学問であり、企業で働く人々に役立つ実践的な心理学である。この授業は学部基礎科目であり、人間行動にかかわる心理学の知識と技術を活かし、人と人、人と集団、集団と集団の相互作用の中でビジネスの活動を展開できる能力を習得することを目的としている。

5名の教員がそれぞれの専門の立場から講義を行うことを通して、学生の働くことへの意欲と興味を引き出し、3年次以降の専門科目につなげるための重要な科目の一つである。

到達目標

ナンバリング(A2601b)

心理学の知識と技術を生かして、ビジネスの現場で有効な活動を展開できる能力を習得する。

1～4回（三島）：ビジネスにおける思考法、仕事のモチベーション、労働評価、マーケティングについて心理学の視点から理解できる。

5～7回（馬場）：職場のメンタルヘルスに活かせる心理学の知識や技術を学び、ストレスマネジメントや対人関係に活用できる。

8～10回（脇）：説得力と影響力、ビジネスとフォロワーシップについて学ぶ。また、障害のある人と働くことに関する理解を深める。

11～13回（森本）：集団、組織、チームワークとリーダーシップ等、ビジネスにおける重要な対人関係の心理と行動を学ぶ。

14～15回（三島）：既存のビジネスの分析やビジネスプランの作成等、実践的な検討に挑戦する。

成績評価方法

定期試験は行わず、授業時間内課題等によって総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート	○		○				20
授業態度・授業参加度			○				20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○	○	20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ビジネスにおける思考法 【予習】授業計画を把握し、ビジネス心理学のおおよそを理解しておく（45分） 【復習】復習課題を作成する（45分）	課題作成
2) 仕事のモチベーションマネジメント（三島） 【予習】モチベーションが変化する条件や状態を考える（30分） 【復習】授業やアルバイトなどの活動に応用し、効果を検討する（60分）	課題作成
3) 労働の評価に関わる心理学 人は人をどのように評価しているか（三島） 【予習】人を客観的に評価することを考える（30分） 【復習】周りを公平に捉えることを試しその効果を検討する（60分）	課題作成
4) マーケティングに関連する心理学 なぜ人はそれにお金を払うのか（三島） 【予習】節約できるときの条件や状況を考える（45分） 【復習】学んだ内容を応用し効果を検討する（45分）	課題作成
5) 現代若者の職業観とメンタルヘルス（馬場） 【予習】事前配布資料を読んでおく（45分） 【復習】復習課題を作成する（45分）	課題作成
6) ビジネス場面で求められるコミュニケーションスキル（馬場） 【予習】事前配布資料を読んでおく（45分） 【復習】復習課題を作成する（45分）	課題作成
7) ストレスマネジメントとしてのセルフケア（馬場） 【予習】事前配布資料を読んでおく（45分） 【復習】復習課題を作成する（45分）	課題作成
8) 説得力と影響力の科学（脇） 【予習】説得がビジネスに及ぼす影響についてまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	課題作成
9) ビジネスとフォロワーシップ（脇） 【予習】フォロワーシップがビジネスに及ぼす影響についてまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	課題作成
10) 障害のある人と働く（脇） 【予習】障害者雇用の現状と課題についてまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	課題作成
11) ビジネスにおける集団心理学（森本） 【予習】集団での人のふるまいについて考えておく（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	課題作成
12) ビジネスにおける組織心理学（森本） 【予習】会社や行政の組織について調べておく（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	課題作成
13) リーダーシップとチームワーク（森本） 【予習】リーダーシップ、チームワークについて考えておく（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	課題作成
14) 既存のイベントや企業の取組みを分析する（三島） 【予習】興味のあるイベントや企業の情報を集めて整理する（45分） 【復習】分析の続きを行う（45分）	課題作成
15) ビジネスプランを作成する（三島） 【予習】社会の問題を解決するビジネス、心が動くイベントを考える（45分） 【復習】授業内容を日常生活に活かす方法を考える（45分）	課題作成
授業外学習	
講義で学ぶことの予習と復習、および必要に応じて課題を課す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しない。 適宜資料を配布する。	心理学概論、経営学、キャリアデザイン、ストレスマネジメント論

課題に対するフィードバック

作成した復習課題は翌週の授業で解説する。

備考

科目名	臨床心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	馬場 弓歌	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この講義では、まず臨床心理学の歴史を取り上げ、臨床心理学の成り立ちについて学習する。また、精神疾患、臨床心理査定、心理療法、臨床心理面接、臨床心理学的地域支援の主に4点について概説する。具体的には、心の健康の回復や増進に向けて、どのような臨床領域があるのか、臨床心理学はどのような学問的性格があるのか、臨床心理学の独自性は何なのか、どのような方法論があるのかなど、臨床心理学における代表的な理論を取り上げながら事例や研究を交えて解説する。なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、教育領域、産業領域、医療機関などにおいて心理学的支援を実践している。

到達目標

(A2702ab)

遠隔授業で実施

- ・臨床心理学の基礎概念について説明できる。
- ・精神疾患、臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理学的地域支援について、それぞれ理解し説明できる。

成績評価方法

授業内レポートと最終レポートの評価を基本としながら、授業参加度を考慮して総合的な評価を行う。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 臨床心理学の成り立ち 日本の臨床心理学の歴史、国家資格化と今後の臨床心理学 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
2) 世界の臨床心理学 臨床心理学の起源、臨床心理学の変遷 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
3) 臨床心理学的研究法 過去に行われた実験など、質的研究・量的研究 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
4) 臨床心理学の活動 心理アセスメントについて、心理的支援について 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
5) 臨床心理学の定義・理念・体系 定義・基礎理念・体系 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
6) 臨床心理査定 心理査定（アセスメント）とは、さまざまな心理検査 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
7) 臨床心理学支援 臨床心理学支援とは、さまざまな臨床心理支援 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
8) 精神分析的アプローチ 定義と歴史、病理論とアセスメント論、そして治療論 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
9) 分析心理学的アプローチ 集合的無意識と個性化、文化と時代的側面 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
10) 行動論・認知論的アプローチ 認知行動療法の理解、臨床心理学への寄与と課題 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
11) ヒューマニスティック・アプローチ 人間性心理学の歴史、面接プロセス・今後の課題 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
12) グループ・アプローチ グループ・アプローチの臨床理論、グループ・アプローチの意義と展望 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
13) コミュニティ・アプローチ コミュニティ・アプローチの諸理論、コミュニティ・アプローチの展望 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
14) 臨床心理学的地域支援について コンサルテーションの理解と活動 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
15) 臨床心理学地域支援について 緊急支援の実際 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
授業外学習	
<p>指定された資料等を熟読しテーマについて理解しておく。 授業後は授業の復習をして専門用語など知識の正しい理解と定着を図る。 わからないことは授業後に質問する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>公認心理師の基礎と実習第3巻 臨床心理学概論 野島一彦・岡村達也編 遠見書房</p>	<p>ビジネス心理学概論、心理学実験 ・ ・ ・、健康・医療心理学、福祉心理学、教育・学校心理学、司法・犯罪心理学、発達心理学、生涯発達心理学 ・ ・ ・</p>

課題に対するフィードバック

次回の授業で取り上げてコメントする。

備考

科目名	健康・医療心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	小山 典子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、健康心理学と医療心理学という2つの領域について概説する。健康心理学は疾病を予防し心身の健康を増進することを目的にした新しい心理学ないし行動科学であり、基礎研究と実践という2つの領域をもつ。前半の健康心理学の講義では、健康に関連するさまざまなテーマについて行動科学的見地から学習し、自らの健康観を見直し、基礎研究に基づいた実践活動のあり方を考える。

後半の医療心理学では、医療・保健活動が行われている現場や災害時における心理社会的課題および必要な支援について学ぶ。

【実務経験】

担当教員は、公認心理師・臨床心理士・看護師の資格を有し、病院臨床の経験、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動にも携わっており、それらの活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行う。

到達目標

(A3601ab)

- 1.心理学における健康心理学の位置づけと特徴を説明できる。
- 2.各テーマに関する知見を説明できる。
- 3.授業で取り上げた理論やモデルを説明できる。
- 4.授業で取り上げた理論やモデル、知見を自分自身の健康の維持、増進に役立てることができる。
- 5.医療・保健分野における心理学的な側面、支援方法を理解し説明できる。
- 6.災害時など被害者支援における知識・支援方法を理解し説明できる。

成績評価方法

定期試験40%、授業内レポート30%、授業外レポート20%、授業参加態度10%で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)				○			40
小テスト、授業内レポート				○	○		30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		20
授業態度・授業参加度			○				10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 健康心理学とは：病気と健康，健康心理学の定義，生物-心理-社会モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		
2) 生活習慣と健康：生活習慣病とは，体力の構造，身体運動の分類と効果 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
3) 生活習慣と健康：睡眠・覚醒リズム，睡眠障害と治療法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		実習 レポート
4) ストレスと健康：ストレスとストレッサー，ストレスの生理的過程 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
5) ストレスと健康：トランスアクションル・モデルとコーピング 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
6) 行動変容モデル：トランスセオレティカル・モデル（TTM） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
7) 健康教育：セルフマネジメント：ケアモデルの種類 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
8) 健康教育：リラクゼーション総論・実践 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート リラクゼーション演習
9) 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援 【予習】多職種連携・協働について調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
10) 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援 うつ病と健康 【予習】うつ病についての資料を読む（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
11) 医療現場における心理社会的支援及び必要な支援 精神科，児童精神科 【予習】心理支援法についての資料を読む（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
12) 医療現場における心理社会的支援及び必要な支援 心療内科，さまざまな医療現場 【予習】心身症についての資料を読む（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
13) 保健活動が行われている現場における心理社会的課題 さまざまな保健活動 【予習】地域保健活動についての資料を読む（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		グループワーク レポート
14) 保健活動が行われている現場における心理社会的課題 ストレスチェック 【予習】ストレスチェックについての資料を読む（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		グループワーク レポート
15) 災害時等に必要心理に関する支援 【予習】サイコロジカル・ファーストエイドについての資料を読む（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）		レポート
授業外学習		
【予習】各回の授業の最後に、次回授業で扱う概念や専門用語，理論を提示するので，心理学事典等を用いてあらかじめ調べておくこと。 【復習】疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて，心理学事典や参考書，インターネット等を用いて調べる。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
テキスト：必要に応じて資料を配布する。 参考書：健康心理学概論，日本健康心理学学会編，実務教育出版 健康の心理学 心と身体の健康のために，春木豊他共著，サイエンス社	産業・組織心理学，感情・人格心理学，臨床心理学概論	

課題に対するフィードバック

レポートについては、質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。

備考

科目名	福祉心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	木元 卓也	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

本授業では 福祉現場において生じる問題及びその背景、 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援、 虐待についての基本的知識について学ぶ。

児童福祉分野・家庭福祉分野は、児童福祉施設の実務経験をもとに木元がドメスティック・バイオレンス（DV）及び子ども虐待について解説します。

障害者福祉分野・高齢者福祉分野は、障害児（者）及び保健福祉施設の実務経験をもとに宮崎が、精神障害者・障害児（者）心理支援及び高齢者・認知症高齢者への心理支援について解説します。

到達目標

ナンバリング(A1602a)

受講生が福祉心理学の講義を聞いて、自分と共に自分と関わる人たちの幸せ実現を一步でも進めて頂いたら幸いです

成績評価方法

試験及び授業内レポートを総合的に判断する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 福祉心理学の授業の進め方（オリエンテーション）：福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の歴史と動向 【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】社会福祉の歴史をまとめる(90分)	授業感想シート
2) 福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の理念 【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】福祉の理念をまとめる(90分)	小レポート
3) 福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の制度・法律 【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】児童福祉関連の法律を調べる(90分)	小レポート
4) 福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の職種 【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】福祉の施設についてまとめる(90分)	小レポート
5) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉現場における活動の基本【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】エコロジカルモデルを調べる(90分)	小レポート
6) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉分野の活動における倫理【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】自己決定と権利擁護をまとめる(90分)	小レポート
7) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉における心理アセスメント【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】認知症について調べる(90分)	小レポート
8) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉における心理学的支援【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】社会生活技能訓練についてまとめる(90分)	小レポート
9) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～児童福祉分野の活動【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】児童福祉施設を調べる(90分)	小レポート
10) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～家庭福祉分野の活動【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】DVについてまとめる(90分)	小レポート
11) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～高齢者福祉分野の活動【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】高齢者福祉施設を調べる(90分)	小レポート
12) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～障害者福祉分野の活動【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】障害者福祉施設を調べる(90分)	小レポート
13) 虐待及び認知症についての基本的知識～虐待【予習】テキストを読んでおく(90分) 【復習】虐待への対応についてまとめる(90分)	小レポート
14) 虐待及び認知症についての基本的知識～認知症【予習】認知症について(90分) 【復習】認知症への対応についてまとめる(90分)	小レポート
15) まとめ（木元）	
授業外学習	
積極的な予習・復習による学習が望まれる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：公認心理師スタンダードテキストシリーズ17「福祉心理学」、下山晴彦、ミネルヴァ書房	心理学概論 (A1201ab)、心理学概論 (A1202ab)、健康・医療心理学(A3601ab)、教育・学校心理学(A3602ab)

課題に対するフィードバック

小レポートは翌週にコメントをつけて返す。

備考

科目名	ポジティブ心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格		

授業概要

ポジティブ心理学は、幸福や自己実現といった人間のポジティブな側面に注目した、心理学の新しい潮流である。本講義では、人のネガティブな側面を内包しつつポジティブな側面からのアプローチを実践することで、自己成長のプロセスへの理解を深め、自己成長の足掛かりとなることを目的とする。
本講義は対面授業を基本とする。

到達目標

(A3609)

1. ポジティブ心理学の始まりと、心理学における位置づけを説明できる。
2. 授業で取り上げた概念を列挙し、定義を述べることができる。
3. 授業で紹介した理論を説明できる。
4. ポジティブ感情とネガティブ感情の機能について説明できる。
5. 自己成長のプロセスに関する知識と知見を自分自身に役立てることができる。
6. 自分に合うポジティブ心理学を活用できる。

成績評価方法

授業ごとのレポート50% 演習の評価を含む
 期末レポート20%
 授業への取り組み30%

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		20
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○	○	30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ポジティブ心理学とは 【予習】ポジティブ心理学の内容について調べておく（20分） 【復習】授業内の演習で理解を深めた内容を振り返る（20分）	様々な視点でポジティブ心理学を考え、議論する。
2) 医学・生理学的な視点でポジティブ・ネガティブな心理状態を捉える 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題
3) 感情の機能、ポジティブ心理学に関わる感情の理論 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題
4) マインドフルネスから考えるポジティブ心理学 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題、ワーク
5) コンパッションから捉える幸福感 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題
6) ポジティブ感情・ネガティブ感情の機能 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題
7) 個性と価値観から捉える幸福感 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題
8) 自ら幸福を創る行動 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題
9) 楽観主義と健康・適応、対処的（防衛的）悲観主義 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題
10) 自己理解を通してストレングスを引き出す 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題
11) 自己理解を通してストレングスを引き出す 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題
12) レジリエンス（精神的回復力） 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題、ワーク
13) フロー経験：フロー経験が生じる条件、フロー経験の人間発達モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題、ワーク
14) フォーカシング：ストレスケアおよび心理療法として 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題、ワーク
15) コラージュ療法：ストレスケアおよび心理療法として 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（45分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、学んだ内容を日常に活かす（45分以上）	小課題、ワーク
授業外学習	
<p>自分にとって幸せな状態とは、どのような状態か検討する。 自分に合うワークを選び、生活の中に取り入れる。 自身の強みを元に自分でワークを考案する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。参考文献は授業内で紹介する。</p>	<p>心理学概論、健康・医療心理学、臨床心理学概論、感情・人格心理学、ストレス・マネジメント論、心理学的支援法</p>

課題に対するフィードバック

授業内で小課題やセラピー等に取り組む際に、その場でフィードバックを行う。

備考

科目名	社会・集団・家族心理学(家族心理学)			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	木元 卓也	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

個人の人格を形成する上で、家族の果たす役割は大きい。家族関係から個人が受ける心理学的な影響を理解した上で、精神疾患・神経症等の不適応に対する家族療法について学ぶ。理論的な面では、システム論を重視する。家族療法では、精神分析的療法・行動理論的療法・認知行動療法的療法・システム論的療法、及び可能ならば、最近、注目されているDV(ドメスティックバイオレンス)被害を受けた母子への影響及び支援について触れたい。

到達目標

ナンバリング(A3441ab)
対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を理解する。
人の態度及び行動を理解する。
家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について理解する。

成績評価方法

定期試験、受講態度・意欲で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					40
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション		○	○	○			20
グループワーク			○		○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 社会・集団・家族心理学を知る 【予習】家族について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		授業内レポート
2) 人が人を見る 対人認知 【予習】対人認知について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
3) 人のことを考える 社会的推論 【予習】人間と行動について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
4) 自分のことを考える 自己 【予習】ステレオタイプについて調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
5) 感じ、行動につなげる 感情と動機 【予習】感情と動機について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
6) 態度を決める、変える 態度と説得 【予習】態度について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
7) 人と関わりをもつ 対人関係とコミュニケーション 【予習】コミュニケーションについて調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
8) 人とやりとりをする 他者との相互作用 【予習】社会的交換理論について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
9) 人が集まり、力となる 集団過程 【予習】集団について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
10) 人が群がり、社会が変わる 組織と大衆 【予習】組織について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
11) 文化になじみ、染まる 文化と個人 【予習】文化について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
12) 家族と共に生きていく 家族の人間関係 【予習】家族について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
13) 家族がうまくいかない 不適切な家族関係と家族療法 【予習】家族療法について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
14) 社会・集団・家族について、さらに学ぶ 【予習】臨床的問題について調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
15) まとめ 【予習】ドメスティック・バイオレンスについて調べる（30分） 【復習】配布したプリントを読み返す（30分）		グループワーク
授業外学習		
なし。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「公認心理師をめざす人の社会・集団・家族心理学」,土肥伊都子編著,教育情報出版.		他の心理学関連科目全般

課題に対するフィードバック

グループワークでの気付きやレポートを適宜、授業内でフィードバックする。

備考

オフィスアワー；毎週木曜日2限目(事前に連絡して下さい)

科目名	老年心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	岡村 佳子	関連する資格	認定心理士	

授業概要

乳幼児期・児童期・青年期・成人期を経て積み上げてきた発達段階の最終ステージにあたる高齢期。いわば人生の集大成といえるこの時期を生きる人について、身体特性・知的特性・パーソナリティの変容を踏まえて理解する。また、この時期に発症リスクの高まる認知症についての理解を深める。
さらに、サポートネットワークの必要性を学ぶと共に、支援者としての視点について理解する。

超高齢化社会の現代において、高齢者への心理的支援のニーズが高まっている。
老年期の心の発達の課題を理解し、心理学的知識に基づくアプローチや支援方法について知る。
認知症に特化した精神科医療で働く心理師の実務経験をもとに、高齢者に対する心理臨床について授業を行う。

授業形態は対面で実施する。なお、授業内容に応じてグループワークを組みこむことで、多角的な視点を獲得し、より深い学習理解へつなげる。

到達目標

A3205b

老年期心性について、身体的側面・知的側面・パーソナリティ側面の特徴を踏まえて理解する。

認知症の概念・定義・臨床像・神経学的症状・検査法（神経心理学的査定法も含む）・老年期に好発するその他の精神病との鑑別・心理療法的アプローチおよびその他の非薬物的療法・マネジメントについて知る。

高齢者との円滑なコミュニケーション技術について学ぶ。

高齢者の尊厳・生命倫理について、特に心理的視点から考えることができる。

高齢者に関する法制度（成年後見など）について知る。

高齢者のニーズおよび高齢者に関わる他職種について知る。

成績評価方法

定期試験、授業内小レポート、グループワークにより評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							30
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生涯発達心理学について 概説と、成人期・老年期の位置づけ【予習】エリクソンの発達段階に目を通しておく(15分)【復習】各々の発達段階における課題をまとめる(30分)	小レポート
2) 老年期心性について 身体的側面・知的側面・パーソナリティ側面の変容とその特徴【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
3) 老年期心性について 老いを生きるということ【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
4) 高齢者とのコミュニケーション技術 シニア・シミュレーターを用いた疑似体験・主に視覚・聴覚・発話機能からみたコミュニケーション障害について【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
5) 認知症について 概説【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
6) 認知症について 臨床像・神経心理学的症候・BPSD【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
7) 認知症について 神経心理学的検査法（基礎編）【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
8) 認知症について 神経心理学的検査法（応用編）【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	演習 小レポート
9) 認知症について 老年期に好発するその他の精神病について【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
10) 認知症について 心理療法的アプローチ（基礎編）【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
11) 認知症について 心理療法的アプローチ（応用編）【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
12) 認知症について その他の非薬物的療法・マネージメント・家族へのアプローチ【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
13) 高齢者の尊厳 生命倫理・死生観【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
14) 高齢者に関する法制度 【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
15) 高齢者のニーズ 高齢者に関わる他職種と協働について【予習】課題は前講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
授業外学習	
授業内容に関連するテーマの中で、興味関心のある事柄やキーワードについて広くあるいは深く調べてみる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：必要に応じて資料を配布する。	心理学概論・発達心理学、生涯発達心理学（乳幼児期）、生涯発達心理学（児童期・青年期）

課題に対するフィードバック

授業内の小レポート提出に対して、後日講師の評価を生徒にまとめて返却する。

備考

科目名	教育・学校心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	馬場 弓歌	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本授業では、学校教育システムにおける臨床心理学的支援の理論や実践について、スクールカウンセラー、教師、保護者、地域の役割、連携、支援方法など、具体的事例を交えながら考えていく。また、不登校、いじめ、発達障害をはじめとする、学校における具体的問題への対応についても検討する。授業全体を通して、学校教育に活かすことのできる教育心理学の知見を紹介すると共に、教育現場における心理社会的課題及び必要な支援とは何か、児童生徒の発達を支援するための学校教育相談システムの在り方についても解説する。なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、教育領域、産業領域、地域の私設相談機関などにおいて心理学的支援を実践しており、こうした経験を踏まえて、学校教育における現状の課題と援助の知見を講義する。

到達目標

- (A3605ab)
- ・より質の高い学校教育相談の在り方について、心理学的な知見を用いて説明できる。
 - ・教育現場において生じる問題及びその背景を理解できる。
 - ・教育現場における心理社会的課題を把握し、それに必要な支援の在り方を理解できる。
 - ・インクルーシブ教育やユニバーサルデザイン教育について理解し、学びの困難さを解消するための教育の在り方について説明できる。

成績評価方法

- ・期末レポート(30%)
- ・授業内レポート(50%)
- ・授業態度・授業参加度(20%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			30
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
2) 代表的な学習理論の概説 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
3) 動機づけ理論と支援の実際 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
4) 学童期以前の教育 アタッチメントの形成 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
5) 学校現場における発達障害への支援 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
6) 小学校教育における危機と支援 低学年を中心として 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
7) 学童期の発達課題の概説 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
8) 小学校教育における危機と支援 高学年を中心として 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
9) 思春期・青年期の心の理解と支援 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
10) 自己効力感と自己コントロール感を育てる 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
11) 教育の現場で生じる問題 不登校の理解と支援 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
12) 教育の現場で生じる問題 非行の理解と対応 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
13) 学校現場におけるいじめ問題への対応 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
14) スクールカウンセラーの活動 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	【
15) 学校現場における多職種との連携 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく(90分) 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する(90分)	
授業外学習	
<p>授業前には事前に提示された資料等を熟読しテーマについて理解しておく。 授業後は授業の復習をして知識の定着を図る。 わからないことは授業後に質問する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・「よくわかる 発達心理学」渡辺弥生 監修 ナツメ社 ・「学校心理学 教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス」石隈利紀 誠信書房 ・公認心理師スタンダードテキストシリーズ18 「教育・学校心理学」小野瀬雅人編著 ミネルヴァ書房 	学習・言語心理学、発達心理学、障害者・障害児心理学 生涯発達心理学、臨床心理学、対人関係論

課題に対するフィードバック

授業中の疑問や気づき、及び感想などをの小レポートについて、再度の説明が必要な個所について次回の授業で口頭で説明する。

備考

科目名	コミュニティ心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	馬場 弓歌		関連する資格	

授業概要

コミュニティ心理学のアプローチは、伝統的な個人心理臨床とは異なり、個人の心だけでなく個人を取り巻く環境（家族、学校、職場、地域社会など）へも働きかけ、治療よりも予防を重視する。本授業では、コミュニティ心理学の定義、理論的背景、基本的考え方、介入・援助の方法について概論的に解説すると共に、オープンダイアログや学校コミュニティの緊急支援の実践を参考にしながら、臨床心理地域援助（コミュニティ援助）の実践において何が重要かについて考えていく。実践的な理解を深めるために、適宜、オンライン動画教材/DVDなどの視聴覚教材を活用し、討議に活用する。

到達目標

A3606

- ・コミュニティ心理学の基本概念について学び、コミュニティ心理学的発想を将来の社会生活に活用していけること。
- ・コミュニティ心理学のもつ視点と様々な介入方法に関して、個人心理臨床との違いを明確にしながら説明できること。
- ・現代社会の様々な心理的問題の理解と解決方法に対する視野が広がること
- ・地域実践の基盤となる対話的コミュニケーションの可能性を再認識すること

成績評価方法

授業への3分の2以上の出席を前提としたうえで、期末レポート50%、授業内レポート30%、授業態度・参加度10%、グループワーク10%を総合して評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 授業の進め方、評価の方法などの説明 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】全体の授業計画を見直し何を学ぶかについての方向性をつかむ(90分以上)	
2) コミュニティ心理学とは何か(1) 誕生の歴史的背景、定義、理念について 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	
3) コミュニティ心理学とは何か(2) 人と環境の適合と社会構成主義－ 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	
4) コミュニティ心理学における予防について 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	
5) 個人心理臨床からコミュニティ臨床への架け橋 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	
6) ソーシャルサポートとセルフヘルプ 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	
7) 危機介入アプローチとレジリエンス 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	
8) エンパワメント 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	
9) ネットワーキング(1) 田島の多面的体験支援アプローチ 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	
10) ネットワーキング(2) 幸せな地域の条件とは－ 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	
11) 学校コミュニティの緊急支援の実践（1） 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	グループワーク
12) 災害時における緊急支援の実践（2） 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	グループワーク
13) 地域精神保健におけるネットワーク型の危機介入（1） 7つの原則 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	グループワーク
14) 地域精神保健におけるネットワーク型の危機介入（2） 日本での実践に向けて 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する(90分以上)	グループワーク
15) 全体の振り返りとまとめ 【予習】授業全体を通して学んだことを整理し、定期試験に備える（90分以上） 【復習】授業資料全体に目を通し、自分が何を学んだのかを振り返る(90分以上)	グループワーク
授業外学習	
毎回の授業の概要を基に、新しい用語や疑問点については予習をしておくこと。また、授業終了後は資料を読み直し、知識の定着を図ること。わからない箇所や新たな疑問については質問するか、参考書と資料に掲載された文献などで調べること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書 山本和郎編 「臨床・コミュニティ心理学」 ミネルヴァ書房 田嶋誠一著 「現実に介入しつつ心に関わる」 金剛出版 斎藤環著・訳 「オープンダイアログとは何か」 医学書院福岡県臨床心理士会編 「学校コミュニティの緊急支援の手引き」金剛出版	臨床心理学概論、心理学的支援法、ストレス・マネジメント論

課題に対するフィードバック

・授業内ミニレポートに書かれた質問については、次回の授業始めに口頭で解説する。

備考

科目名	経営組織論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	渡邊 利文		関連する資格	

授業概要

経営組織論は大きくマクロ組織論とミクロ組織論に分かれます。マクロ組織論は、組織の構造や機能に着目して組織を考察します。従って、組織が生成、成長、発展していく中の経営者の組織管理職能が重要な役割を果たします。更に、組織と組織を取り巻く組織環境との相互作用も重要な要因です。そして、組織と他の組織との関係、組織間関係も重要になってきます。これに対して、ミクロ組織論は、組織の中の個人、つまり、組織メンバーに焦点をあて、個人が組織の中でどのような行動をとるかを考察します。従って、個人のモチベーションやリーダーシップ力、集団的意思決定が重要な分析要因になります。この授業では、マクロ組織論を中心に学習を進めます。ミクロ組織論は、マクロ組織論を考察する際に必要ならば取り上げますが、詳しくは学習しません。ミクロ組織論を深く学習したい人は、「組織行動論」の授業を履修してください。従って、この授業では、経営組織の構造、機能、管理原理を中心に学習します。

到達目標

(A2602)
経営学の学修成果に基づき経営組織の基本、発展、学説及び実際の企業の経営組織について、それらの知識を十分に身につけ、その重要性を他者に説明することができること。

成績評価方法

授業内小テスト、復習課題の提出等にもとづき、総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 組織の概念と均衡条件 組織とは何か、組織成立の条件にはどのようなものがあるか、組織均衡の条件とは何か、予習は必要なし、復習は上記の課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
2) 2. 組織構造の設計原理 組織構造の設計原理にはどのようなものがあるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
3) 3. 分業システムとしての組織 組織における分業にはどのようなものがあるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
4) 4. 組織構造の形態その1 ラインとスタッフとは何か 職能別組織とは何か 事業部制組織とは何か、予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
5) 5. 組織構造の形態その2 カンパニー制とは何か、マトリックス組織とは何か、そのメリットとデメリット 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
6) 6. 国際経営組織の形態 国際化の進展にともなって、組織構造の形態はどのように変化するか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
7) 7. 組織のライフサイクル 組織は成長するにつれてどのように変容していくか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
8) 8. 官僚制組織 官僚制組織とは何か、また、官僚制の逆機能にはどのようなものがあるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
9) 9. 外部環境と組織 その1 経営戦略と組織構造との関係は、組織構造の動態化の方策として、どのようなものが考えられるか、予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
10) 10. 外部環境と組織 その2 組織構造のコンティンジェンシー理論は何か 環境の不確実性の高まりに対して組織的な対応策には、予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
11) 11. 外部環境と組織その3 資源依存度の決定的要因は何か 資源依存関係をマネジメントする方法にはどのようなものがあるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
12) 12. 外部環境と組織その4 取引コストとは何か 企業行動は取引コストによってどのような影響を受けるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
13) 13. その他の組織観について 組織の個体群生態学論 社会ネットワーク組織論 新制度派組織論 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
14) 14. 企業の社会的責任（CSR） CSRに対する消極論とはどのようなものか CSRに対する積極論とはどのようなものか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
15) 15. 企業のコーポレートガバナンス コーポレートガバナンスとは何か 日・米・独のコーポレートガバナンスの違いは何か 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは使いません。授業中に、レジメや必要なコピー用紙を配布します。参考文献は、図書館の本を活用してください。経営組織論の本は多数あります。</p> <p>授業中に数回にわたって小テストを実施しますので、学期末の試験は実施しません。</p>	組織行動論、経営学、経営戦略論

課題に対するフィードバック

小テストは返却し翌週の授業時間内に解説します。
授業の予習は必要ありませんが、授業中にインプットした知識は、必ずアウトプットして再確認する必要があります。
実施した小テストは良き復習材料です。繰り返し学習しておいてください。

備考

科目名	消費者行動論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	白石 義孝	関連する資格		

授業概要

消費者行動論（消費者問題中心）は、現代社会における消費者の意思決定過程と、その背景にある心理・社会的要因を理解するとともに、消費者被害や情報格差、過剰広告、デジタル取引などの諸問題を多角的に検討することを目的とする。講義では、購買行動の基本理論を踏まえ、消費者教育、消費者保護政策、企業の社会的責任（CSR）、持続可能な消費のあり方について事例を通して学ぶ。さらに、トラブル事例の分析やディスカッションを通じて、主体的に判断し行動できる消費者としての視点を養うことを重視する。最終的には、消費者問題を自分事として捉え、社会の一員としてより望ましい消費行動を考察できる力の育成を目指す。

到達目標

A2603

消費者問題を自分事として捉え、社会の一員としてより望ましい消費行動を考察できる力の育成を目指す。

成績評価方法

期末試験および最終レポート：40点
小テストおよびミニレポート：35点
プレゼンテーションと振り返り：25点

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			35
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○		○	○	○		25
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス：授業の目的・方法 / 現代社会における消費者問題の全体像 （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
2) 消費者行動の基礎理論：意思決定プロセスと購買行動モデル （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
3) 消費者行動の基礎理論：心理的要因（動機・態度・知覚） （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
4) 社会的要因と消費：家族・文化・メディアの影響 （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
5) 情報社会と消費者：広告・口コミ・インフルエンサーの影響 （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
6) 消費者問題：悪質商法・詐欺・契約トラブルの実態 （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
7) 消費者問題：インターネット取引と個人情報保護 （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
8) 消費者保護の制度：消費者基本法・クーリングオフ・相談機関 （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
9) 消費者教育の意義と実践：学校・地域・家庭での取り組み （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
10) 企業と消費者：CSR・コンプライアンス・マーケティング倫理 （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
11) 持続可能な消費：エシカル消費・SDGsと消費者行動 （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
12) 若者と消費者問題：SNS時代のリスクと課題 （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表
13) 事例研究：消費者トラブルの分析と解決策の検討（グループワーク） （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表 グループワーク
14) 発表・討議：消費者問題への提案（プレゼンテーション） （テキストの予習15分程度） 復習：授業キーワードの確認（10分程度）	興味を持った消費者問題の発表 プレゼンテーション
15) 総括：学習の振り返りと今後の課題 / 理解度確認（期末テスト・レポート等）	興味を持った消費者問題の発表
授業外学習	
毎回の授業開始時に「この1週間で興味を持った消費者問題」を発表してもらうので、事前に調べておいてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：「2026年版くらしの豆知識」国民生活センター	

課題に対するフィードバック

授業時およびClassroomからの質問は次回の授業開始時に回答する。

備考

- ・ 授業は一方的な講義ではなく、みなさんとの対話形式で行います。毎回のテーマについて必ず予習をしてから受講してください。
- ・ 留学生が受講する場合の日本語能力試験のレベルはN2より少し難しいレベルです。

科目名	行動経済学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	城下 賢吾	関連する資格		

授業概要

行動経済学とは、人間がかならずしも合理的には行動しないことに着目し、伝統的な経済学ではうまく説明できなかった社会現象や経済行動を、人間行動を観察することで実証的にとらえようとする新たな経済学である。この講義ではゲーム理論も紹介しながら、人間の意思決定やその結果である社会現象について理解を深める。

到達目標

A2604

1. 行動経済学に関する基礎的知識の習得。
2. 実際の経済活動においてどのような場面で不合理的行動をする傾向にあるかを理解すること。
3. 行動経済学が様々な分野で応用されていることを理解すること。

成績評価方法

最終確認テスト（40点）、講義後の小テスト（60点）で評価。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	45		15	40			100
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 序章 行動経済学とはどんな学問か（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
2) 第1章 人はどのように行動を決定し、改善するのか（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とを読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
3) 第2章 認知的節約による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
4) 第3章 本能的な評価による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
5) 第4章 近視眼的な本能による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
6) 第5章 不確実性による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
7) 第6章 理性の限界による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
8) 第7章 見返りを求めない利他的行動・協力行動の謎（1）（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
9) 第7章 見返りを求めない利他的行動・協力行動の謎（2）（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
10) 復習（第1章～第7章）（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
11) 第8章 「行動」を自然に引き出すアプローチ（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
12) 第9章 ファイナンス分野の不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
13) 第10章 多様な分野に応用される行動経済学（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
14) 復習（第1章～第6章）（予習）事前に講義資料を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
15) （予習）事前に講義資料を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返すこと（1時間30分）確認テスト	
授業外学習	
講義で学習した行動経済学が日々の生活における意思決定にどのような影響を与えているか考えてみよう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
（テキスト）なし（参考書）講義の中で紹介します。（教材）講義前あるいは講義中に配布	心理学に関する科目

課題に対するフィードバック

小テストについては次回の講義において解説する。それに基づいて再度復習を行うこと。

備考

科目名	組織行動論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	渡邊 利文		関連する資格	

授業概要

人が働く中でどのようにしたら個人のモチベーションや職務満足度は高まるのだろうか。欠勤や離職など組織にとって望ましくない態度や行動はどのようにして生じるのか等について、心理学や社会心理学、社会学などの学際的知見を応用し解決をはかるのが組織行動論である。この講義では、組織の中で人が個人として、集団としてどのような態度をとり行動するかについて、第一に、組織の中で個人のモチベーション論を、第二に指導者のリーダーシップ論を、そして、第三に、集団のなかのコンフリクトと集団的意思決定論についてその基礎概念や基本理論の学習を通じて理解を深める。

到達目標

A3604

組織と人の関わりや組織における人間行動の基本的知識を体系的に理解するのが、この講義の目的です。今後は、この知識をベースにして自分のコミュニケーション能力とマネジメント能力を磨いて下さい。

成績評価方法

定期試験は実施しません。授業中の小テスト実施やレポートの提出を課す場合があります。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 組織行動論とは 1-1. 組織とは何か 1-2. 組織と人間との関わり 【復習】講義内容を復習する（60分）	
2) 2. 仕事へのモチベーション その1 2-1. モチベーションとは 2-2. 目標とモチベーション 【復習】講義内容を復習する（60分）	
3) 3. 仕事へのモチベーション その2 3-1. 内発的モチベーション 【復習】講義内容を復習する（60分）	ワークモチベーションの内容要約のレポート提出
4) 4. 組織コミットメントと組織の公平 その1 4-1. 組織コミットメントに影響を与える諸要因 【復習】講義内容を復習する（60分）	
5) 5. 組織コミットメントと組織の公平 その2 5-1. 組織的公平とはなにか 【復習】講義内容を復習する（60分）	組織コミットの内容要約のレポート提出
6) 6. リーダーシップとは その1 6-1. リーダーシップ論の所説 【復習】講義内容を復習する（60分）	
7) 7. リーダーシップとは その2 7-1. リーダーとメンバーの交流 7-2. 信頼とリーダーシップ 【復習】講義内容を復習する（60分）	リーダーシップの内容要約のレポート提出
8) 8. 組織社会化について 8-1. 組織社会化の全体的枠組み 【復習】講義内容を復習する（60分）	
9) 9. 意思決定と合意形成 その1 9-1. 意思決定におけるヒューリスティックとバイアス 9-2. 合意形成と第三者による支援 【復習】講義内容を復習する(60分)	組織的意思決定と合意形成の内容要約のレポート提出
10) 10. 意思決定と合意形成 その2 10-1. コミュニケーション戦略 10-2. 組織文化の力 【復習】講義内容を復習する（60分）	組織開発の内容要約のレポート提出
11) 11. 組織開発 11-1. 組織学習について 11-2. 組織変革について 【復習】講義内容を復習する（60分）	
12) 12. 日本の経営について その1 12-1. 日本の経営の特徴と問題点 【復習】講義内容を復習する（60分）	
13) 13. 日本の経営について その2 13-1. 日本の経営、今後の課題 【復習】講義内容を復習する（60分）	日本の経営の内容要約のレポート提出
14) 14. キャリア・マネジメント 14-1. キャリアとは 14-2. キャリア・マネジメントの今後の課題 【復習】講義内容を復習する（60分）	
15) 15. 全体のまとめ 【復習】講義内容を復習する（60分）	
授業外学習	
予習の必要は有りません。しかし、しっかり復習をして下さい。復習は、レポート作成時にできると思います。レポート作成時に必要な情報が不足している場合には、図書館の関連本で補って下さい。インプットとアウトプットの学習サイクルを維持・継続することが必要です。レポート作成には60分以上は時間をかけて下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しません。講義の前にレジメを配布します。参考書は、図書館の関連本を探して下さい。	経営組織論

課題に対するフィードバック

レポートを作成する際に必要なメイン・キーワードを数個提示します。それらを使ってレポートを作成して下さい。提出したレポートは返します。その際、コメントを付けておきます。粗雑なレポートは再度の提出を要請する場合があります。

備考

科目名	デザイン心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	小野 洋平、三島 瑞穂、脇 貴典	関連する資格	認定心理士	

授業概要

デザインとは、狭義には素描や設計図など、物や形の構成や内容を指すが、広義には、種々の場面における問題解決や目標達成のためのやり方、計画、立案も含まれている。
 では、これらのデザインに心理学がどのようにかかわっているのだろうか。本講義では、担当教員の専門分野におけるデザインを心理学的に解説する。

到達目標

A2606
 種々の場面における問題や目標を把握し、解決・達成のためのデザインについて心理学的に説明できる。
 身の回りの環境の問題・目標を発見し、学んだ知識を活かしたデザインについて心理学的に考えることができる。

成績評価方法

授業態度・授業参加度、プレゼンテーション、グループワーク、小テスト・小レポート、中間試験について下記の評価割合に基づいて100点満点で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					20
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク					○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション デザインと心理学のかかわり 【予習】講義で何を学び、何ができるようになりたいか考える 【復習】デザインの定義に照らし合わせて身の回りのデザインを心理学的に考える	アンケート
2) 感性工学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
3) 知覚認知心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
4) 環境心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
5) 実験心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
6) 教育心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
7) メディア心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
8) デザインを読む 【予習】身の回りにあるモノや環境の気になるデザインを探す。これまでの授業資料を整理する。【復習】気になるデザインを分析する。	演習・グループディスカッション
9) デザインの分解と構築 【予習】雑誌やチラシを用意して持参する。 【復習】自分の作品を振り返り、気づきを深める。	演習
10) コミュニケーションのデザイン【予習】言葉やジェスチャー、物、画像など様々なコミュニケーションの媒体に気づいておく。伝えたいことを考える。【復習】日常のコミュニケーションに学んだ内容を活かす。	演習・グループディスカッション
11) 多様性とデザイン 予復習については備考参照	小レポート
12) マイノリティとデザイン 予復習については備考参照	小レポート
13) 問題解決とデザイン 予復習については備考参照	小レポート
14) 発表・検討会 【予習】これまでの講義に基づいたプレゼンテーション方法とデザインを考える【復習】検討内容を踏まえてデザインを修正・発展させる	グループディスカッション・プレゼンテーション
15) 発表・検討会 【予習】これまでの講義に基づいたプレゼンテーション方法とデザインを考える【復習】検討内容を踏まえてデザインを修正・発展させる	グループディスカッション・プレゼンテーション
授業外学習	
配布する資料について熟読し、その内容に対して自分の意見を考える。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は使用しない。参考図書は適宜講義時に紹介する。	情報処理演習（プレゼンテーション）・キャリアデザイン ・芸術と心理

課題に対するフィードバック

備考

複数教員の分担講義のため、シラバスに記載された単元の実施順序は前後することがある。
順序変更の際には事前にアナウンスする。
Googleクラスルームなどを講義内で使用することがある。インターネットに接続可能な電子機器を持参のうえ受講すること。

2～7回・11～13回の予復習内容は下記の通りである。
【予習】関連する心理学領域の概論書を読む。社会における問題や達成すべき目標を見つける
【復習】予習・講義内容に則して、社会問題の解決や目標を達成するためのデザインを考える

科目名	経営戦略論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	渡邊 利文	関連する資格		

授業概要

1960年代から企業の多角化が急速に進展する中、個々の事業を束ね企業の進むべき方向性を明示することが重要になってきた。このような状況下で経営学の学問分野でも経営戦略論が注目されるようになってきた。
 経営戦略論とは、企業が環境変化に対応しながら企業目標を達成する方法を探究する学問である。
 今日、経営戦略論は、企業活動全体に関する企業戦略論と多角化した事業分野ごとの事業戦略論に分けられる。また、理論展開としては、企業の外部環境に焦点を当てた分析型のポジショニングベースアプローチと企業内部の経営資源に焦点を当てた資源ベースアプローチに集約できる。
 この2つの戦略理論を中心に学習を進めていく。

到達目標

(A3605)
 経営戦略の分析ツールを使って実際に企業診断が出来ることです。
 全社戦略のレベル、事業戦略のレベル、機能戦略のレベルでそれぞれ分析ができることが理想です。

成績評価方法

定期試験は実施しません。
 また、講義の後半で、企業のケース分析をしてもらいます。
 この企業診断の結果を提出してもらい、この評価も成績評価に加算します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 経営戦略とは何か 【復習】講義内容を復習する（60分）	
2) SWOT分析の概要 【復習】講義内容を復習する（60分）	
3) 全社戦略について、その1 ドメインの設定 【復習】講義内容を復習する（60分）	
4) 全社戦略について、その2 製品－市場戦略 と PPM 【復習】講義内容を復習する（60分）	全社戦略の内容要約のレポート提出
5) 事業戦略について、その1 ポーターのファイブフォースモデル 【復習】講義内容を復習する（60分）	
6) 事業戦略について、その2 コトラーのポジショニング 【復習】講義内容を復習する（60分）	
7) 事業戦略について、その3 経済性分析による競争戦略 【復習】講義内容を復習する（60分）	事業戦略の内容要約のレポート提出
8) 機能戦略、その1 販売戦略 【復習】講義内容を復習する（60分）	企業のケース分析その1
9) 機能戦略、その2 技術戦略 【復習】講義内容を復習する（60分）	
10) 機能戦略、その3 生産戦略 【復習】講義内容を復習する（60分）	企業のケース分析その2
11) 機能戦略、その4 組織戦略 【復習】講義内容を復習する（60分）	企業のケース分析その3
12) 機能戦略、その5 財務戦略 【復習】講義内容を復習する（60分）	
13) 機能戦略、その6 その他の戦略 【復習】講義内容を復習する（60分）	企業のケース分析その4
14) 新しい戦略の流れ、その1 コーポレート・ガバナンス 【復習】講義内容を復習する（60分）	
15) 新しい戦略の流れ、その2 共創戦略 【復習】講義内容を復習する（60分）	
授業外学習	
<p>予習の必要は有りません。しかし、復習をしっかりとください。復習は、レポートの作成時にできると思います。レポート作成に必要なキーワードを提示しますので、それらを使って作成して下さい。知識が不足している場合には、図書館の関連本で補って下さい。60分以上は時間をかけて下さい。 インプットとアウトプットの作業を繰り返せば理解は深まります。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは使用しません。講義の前にレジユメを配布します。 参考書は、図書館で経営戦略の関連本を探してください。</p>	<p>マーケティング論、経営組織論</p>

課題に対するフィードバック

授業中に企業のケース分析を行います。各機能戦略のレベルで実施したいと思います。このケースの分析結果も提出してもらいます。
分析内容については、授業中に解析します。

備考

科目名	マーケティング論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	渡邊 利文	関連する資格		

授業概要

私たちは毎日消費行動を行っている。それに対して、企業は、どのようなモノやサービスを消費者に提供すれば良いか研究し、戦略を立てている。

マーケティングとは、ものやサービスが「売れるしくみ」を構築することである。

消費者マインドがどのような法則に従って変動し、企業はそれをどう捉えようとしているのか、社会心理学や行動経済学等の視点を取り入れ解説する。講義では消費者行動の基礎的な知識と、国内外における企業のマーケティング戦略についても学ぶ。

到達目標

A3611

まず、(1)マーケティング理論の全体像をしっかりと理解するようにして下さい。そのうえで、(2)マーケティング練習問題の学習を通じて、重要な用語を理解して下さい。

そして、(3)自分の日常生活や消費行動と関連のあるテーマを一つ見つけて出して下さい。

成績評価方法

講義の最後に、小テストをして提出してもらいます。この小テストの成績と提出状況、そして、授業態度を加味して成績評価とします。定期試験は実施しません。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	1. 現代市場とマーケティング 1 - 1 . 現代市場の特徴 1 - 2 . マーケティングの概要 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	養成練習問題 小テスト
2)	2 . 市場調査の手順 2 - 1 . 市場調査の意味 2 - 2 . 市場調査 2 - 3 . 実態調査の方法 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	養成練習問題 小テスト
3)	3 . 消費者行動 3 - 1 . 消費者行動と購買 3 - 2 . 購買意思決定過程 3 - 3 . 製品のライフサイクルと普及 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	養成練習問題 小テスト
4)	4 . 販売計画 4 - 1 . 販売計画と販売予測 4 - 2 . 販売計画の立案・実施・統制 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	養成練習問題 小テスト
5)	5 . 製品計画 5 - 1 . 製品計画の概要 5 - 2 . 製品ミックスと製品政策 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	養成練習問題 小テスト
6)	6 . 仕入計画 6 - 1 . 仕入計画 6 - 2 . 商品管理 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	養成練習問題 小テスト
7)	7 . 販売価格 7 - 1 . 販売価格の決定 7 - 2 . 価格戦略 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	養成練習問題 小テスト
8)	8 . 販売経路 8 - 1 . 販売経路の設定 8 - 2 . 販売経路の強化 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	養成練習問題 小テスト
9)	9 . 販売促進政策 9 - 1 . 販売促進の重要性 9 - 2 . 広告 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	
10)	10 . 販売促進政策 10 - 1 . 販売員活動 10 - 2 . 信用販売 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	
11)	11 . 販売促進政策 11 - 1 . ブランド戦略 11 - 2 . サービス・マーケティング 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	養成練習問題 小テスト
12)	12 . 販売情報システム 12 - 1 . POSシステム 12 - 2 . その他の情報システム 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	
13)	13 . マーケティングと社会的責任 13 - 1 . 社会志向のマーケティング 13 - 2 . 非営利組織のマーケティング 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	
14)	14 . 戦略的マーケティング 14 - 1 . VRIN分析 14 - 2 . ファイブフォース分析 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	
15)	15 . リレーションシップ・マーケティング 15 - 1 . データベース・マーケティング 15 - 2 . 価値共創マーケティング 【予習】テキストを読んでおく(30分)【復習】講義内容を復習する(30分)	
授業外学習		
<p>テキストを中心とした予習と復習をして下さい。予習は、授業計画に沿って30分程度、次の授業に必要な担当箇所を読んで来て下さい。復習は、知識のアウトプットが重要ですので、養成練習問題や小テストを再度確認してください。これも30分程度あれば充分だと思います。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト 『マーケティングの基礎』実教出版		「経営戦略論」 「経営組織論」

課題に対するフィードバック

「養成練習問題」と「小テスト」は返却します。小テストは期末テストの代わりですので、点数を付けて返しますが返却時に各問題についての解説もします。
インプットとアウトプットを繰り返して行えば、授業の理解度は高まるはずです。このサイクルを維持・継続して下さい。

備考

科目名	産業・組織心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	西村 秀明	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

産業・組織心理学は、事業所における組織経営や産業活動の効率化や、人々が快適で健康に働くためにはどうすればよいかについての心理学領域である。そこでこの授業では、組織における人の行動や職場における問題（キャリア形成に関することを含む）に対して必要な心理に関する支援について、これまでの心理学研究の成果をふまえて考え、卒業後の社会活動において活用できる「心理学リテラシー」の獲得を目標とする。

到達目標

A4701ab

- * 組織における人の行動について説明できる。
- * 職場における問題（キャリア形成に関することを含む）に対して必要な心理に関する支援について考えることができる。
- * 職場における問題（労働者の健康や安全安心など）に心理学の知見を活用することができる。

成績評価方法

定期試験50%、発表内容30%、受講態度・演習20%で評価する。ただし、欠席が所定回数を超えた場合、および発表をしていない場合には、評価の対象とはならない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 産業・組織心理学について 【予習】産業界他、どのような組織構造があり、そのメリット・デメリットについて調べておくこと（60分）【復習】様々な組織における現代の問題点を整理すること（30分）	
2) 組織の形態とコミュニケーションについて 【予習】組織の形態とコミュニケーションの相異について調べておくこと（45分）【復習】組織に留まらず、状況に合わせたコミュニケーションについて整理すること（30分）	
3) 組織におけるリーダーシップについて 【予習】リーダーシップ理論について従来の研究を調べておくこと（60分）【復習】リーダーシップにおけるPM理論に自分を当てはめて自己理解を進める（30分）	
4) 演習1 組織におけるトラブルと構成員の役割 【予習】うつ病について調べておくこと（30分）【復習】自分がリーダーであったとすると、どのような対応をとったか再度検討してみる（30分）	演習 グループワーク
5) 産業・組織分野における心理支援の実際（メンタルヘルス） 【予習】心身医学会が提示しているストレス疾患について周知しておくこと（60分）【復習】企業におけるストレスチェックの重要性について整理すること（60分）	
6) 従業員支援プログラム、及び復職支援・リワークプログラムにおける心理支援 【予習】復職支援の方法・在り方について調べておくこと（60分）【復習】復職支援について、支援を受ける者の心理過程について整理しておくこと（60分）	
7) 演習2 復職支援について～事例を通じた心理学的検証 【予習】再度、復職支援の方法・在り方について確認しておくこと（30分）【復習】再度、復職支援を受ける者の心理過程について整理すること（30分）	演習 グループワーク
8) 職場でのハラスメントとその対応について（ ） 【予習】ハラスメントの定義について周知しておくこと（30分）【復習】ハラスメントを侵す者、ハラスメントを受ける者、双方の心理状態について整理すること（45分）	
9) 演習3 ハラスメント委員会の対応の在り方（ ） 【予習】ハラスメント委員会の義務についての確認（30分）【復習】ハラスメント委員会が機能化するために必要な事項についての整理（30分）	演習 グループワーク
10) 職場でのハラスメントとその対応について（ ）～厚労省指針 【予習】ハラスメントにおける厚労省の指針について周知しておくこと（30分）【復習】ハラスメント当事者のプライバシー保護について整理すること（30分）	
11) 演習4 ハラスメント委員会の対応の在り方（ ） 【予習】ハラスメント委員会の構成について調べておくこと（30分）【復習】機能している委員会と機能不全を起している委員会との違いについて整理すること（45分）	演習 グループワーク
12) 演習5 「育児休業」取得後の行動心理とコンサルテーション 【予習】育児休業の本質的意味を確認しておくこと（60分） 【復習】育児休業取得者が育児を放棄しているケースに係るコンサルテーションの在り方を整理すること（60分）	演習 グループワーク
13) 一般の間で認識されているハラスメントの種類とその心理対応について 【予習】一般化しているハラスメントの種類について調べておくこと（45分） 【復習】ハラスメントと心理的ダメージ、及びサポートについて整理すること（45分）	
14) 演習6 過重労働のなかで起きた事故と組織としての在り方の心理学的検討 【予習】組織の在り方、構成員の役割・コミュニケーションなど講義内容を再検討しておくこと（60分）【復習】不全組織の改善策について整理すること（60分）	演習 グループワーク
15) 演習7 実際に起こったセクシュアルハラスメント事件の検証／総括 ハラスメントに対する心理学的視座・対応の確立【予習】毅然としたハラスメント対応を整理（45分）【復習】被害者心理とフォローの確認（60分）	演習 グループワーク
授業外学習	
受講生は指定したテーマに沿って講義レジュメ・文献等をまとめ、発表することとする。発表は他の受講生に分かりやすくなるよう工夫すること。プレゼンテーションも評価の対象とする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【参考書】 適宜プリントを配付する。	社会・集団・家族心理学 感情・人格心理学 健康・医療心理学

課題に対するフィードバック

産業組織において惹起することのある（ハラスメントを含む）人間関係等に基づいた「事例問題」を出すので、組織としてどのような解決方法を策定していくかレポートとしてまとめさせることにしており、添削して解説する形でフィードバックする。

備考

科目名	マスメディア論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	児玉 満	関連する資格		

授業概要

メディア社会・心理学の分野には議題設定理論、革新・ニュース伝播理論、沈黙の螺旋理論、キャンペーン説得法、など多くの理論があり、それらを踏まえるとメディアは人々の心に影響を与えることがある。そのことを学ぶためにも、マスメディアとは何かについて広く学び、メディアが人々の心に持つイメージを形成するプロセスやその結果である社会現象について考えたい。また、現在の高度情報化社会においては情報やデータが溢れており、それらには誤ったものも含まれている。そのような誤った情報やデータであることを判断し、正しい情報やデータを選択するためにも批判的思考の影響を強く受けているメディアリテラシーについても学ぶ。

到達目標

A3613

1. マスメディアについての概要を学び、それについて説明できる。
2. マスメディアが社会や人に及ぼす影響について理解する。
3. 現代の情報社会を生き抜くための力を身につける。
4. Webメディアを用いる際に正しい情報を取捨選択できる。

成績評価方法

期末テスト、授業内レポート、授業態度・参加度を総合評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート		○	○				15
宿題、授業外レポート			○	○			15
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス：講義内容および講義の進め方の説明 【予習】マスメディアについて簡単に調査しておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
2) マスメディアとは 【予習】マスコミとマスメディアの違いについて調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
3) 四大媒体(1)：新聞 【予習】新聞の歴史について調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
4) 四大媒体(2)：雑誌 【予習】雑誌の歴史について調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
5) 四大媒体(3)：ラジオ 【予習】ラジオの歴史について調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
6) 四大媒体(4)：テレビ 【予習】テレビの歴史について調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
7) マスメディアの役割 【予習】マスメディアの役割について調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
8) マスメディアが与える影響 【予習】マスメディアの影響について調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
9) インターネットやSNSはマスメディアか？ 【予習】様々なSNSについて調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
10) スマートフォンを考える 【予習】モバイル端末について調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
11) メディアリテラシーとは 【予習】メディアリテラシーについて調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
12) ネット社会のメディア構造とその影響力 【予習】Society5.0について調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
13) メディアと大衆文化 【予習】大衆文化について調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
14) 双方向性コミュニケーションとしてのメディア情報 【予習】インタラクティブとはなにかについて調べておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
15) まとめ 【予習】これまでに学んだことを振り返っておく(30分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理し、試験の準備を行う(60分)	授業内レポート
授業外学習	
シラバスに記載した各回の予習をやっておくこと。 復習については資料およびノートを整理し、興味・関心・疑問に思ったことについてまとめておき、必要な場合は質問をすること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト:指定しない 参考書 ・稲増一憲『マスメディアとは何か - 「影響力」の正体』(中公新書, 2022) ・藤竹暁・竹下俊郎『図説 日本のメディア [新版]』(NHKブックス, 2018)	

課題に対するフィードバック

授業内レポートでは質問を随時受け付けるが、それに対する回答は次回授業内で行う。

備考

科目名	公認心理師の職責			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	武田 朋昭	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

この講義では公認心理師法に基づき、公認心理師の職責についての理解を深める。また、公認心理師としての倫理についても学習する。

実務経験

担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、私設相談室での心理支援活動を始め医療・教育・産業領域の心理支援活動や地域支援活動を実践している。その活動をもとに臨場感のある授業を行う。

到達目標

(A2703a)

公認心理師の主な活動である(1)心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析(2)心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助(3)心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助(4)心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供について正しく理解し、説明できる。

公認心理師の活動する保健医療分野・福祉分野・教育分野・司法犯罪分野・産業労働分野等それぞれの領域での具体的な活動について、理解し説明することができる。

各領域での活動を行う際に求められる守秘義務など倫理的配慮や多職種との連携協働等についてその重要性を理解できる。

成績評価方法

毎回提示される課題について、その内容等で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度							25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公認心理師の職責とは 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
2) 公認心理師の役割 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
3) 公認心理師に求められる法的義務と倫理 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
4) 利用者（クライアント、患者や家族等）の安全の確保について 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
5) 情報の適切な取り扱いについて 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
6) 各領域における具体的な活動（保健医療分野） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
7) 各領域における具体的な活動（福祉分野） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
8) 各領域における具体的な活動（教育分野） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
9) 各領域における具体的な活動（司法・犯罪分野） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
10) 各領域における具体的な活動（産業・労働分野） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
11) 心理的支援者としての自己課題発見・解決能力 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく。 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
12) 生涯学習としての取り組みと準備 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
13) 多職種連携・地域連携・協働 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
14) 公認心理師としてのアイデンティティについて 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
15) 公認心理師の今後の課題 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
授業外学習	
各担当教員より提示された課題や資料を事前に熟読し理解しておく。 授業中理解できなかった専門語彙は、次の授業までに調べて理解しておく。 担当教員の指示に従いレポートを作成する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
公認心理師の基礎と実践（第1巻）	心理学概論 ・ 、臨床心理学概論

課題に対するフィードバック

授業中の疑問や気づき、及び感想などの小レポートについて、修正や再度の説明が必要な個所について次回の授業で口頭で説明する。

備考

科目名	関係行政論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	西村 秀明、森野 綾子	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

公認心理師に関する諸制度について、保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野、の5つの分野を重点的に取り上げて理解する。

到達目標

A2704a

心理臨床に従事する専門家として、クライアント支援に際して必要不可欠である基本的な各領域における法的制度の修得。

成績評価方法

各制度について、その習得度を定期試験において評価する。また、宿題レポートの解答、及び事例を通して検討する形の「グループワーク」においては法律適用に対する的確性等により評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	保健医療分野に関係する各制度(1)～西村 【予習】精神保健福祉法を読んでおくこと（120分） 【復習】精神保健福祉法が何を意図しているか周知すること（60分）	
2)	保健医療分野に関係する各制度(2)～西村 【予習】医療・保護に関する法的問題について学習しておくこと(120分) 【復習】人権についてどのような措置がとられてるか周知すること(60分)	
3)	保健医療分野に関係する各制度(3)～西村 【予習】自立支援法について学習しておくこと（120分） 【復習】地域支援について周知すること（60分）	
4)	保健医療分野に関係する各制度(4)～西村 【予習】医療観察法について学習しておくこと（60分） 【復習】医療観察法による処遇について周知すること（60分）	
5)	保健医療分野に関係する各制度(5)～西村 【予習】精神保健福祉全般について復習しておくこと（120分） 【復習】事例を通して法律の運用について熟知すること（120分）	グループワーク
6)	福祉分野に関係する各制度(1)～森野 【予習】児童福祉法について学習しておくこと（120分） 【復習】児童福祉法がどのように運用されているか周知すること（90分）	
7)	福祉分野に関係する各制度(2)～森野 【予習】虐待防止法について学習しておくこと(120分) 【復習】虐待防止法がどのように運用されているか理解を深めること(90分)	
8)	福祉分野に関係する各制度(3)～森野 【予習】老人福祉法について学習しておくこと（120分） 【復習】事例を通して法律の運用について熟知すること（120分）	グループワーク
9)	教育分野に関係する各制度(1)～森野 【予習】教育基本法・教育の確保法について学習しておくこと（120分） 【復習】児童生徒の教育権について周知すること（90分）	
10)	教育分野に関係する各制度(2)～森野 【予習】子どもの権利条約について学習しておくこと（90分） 【復習】子どもの権利と大人の義務について周知すること（90分）	
11)	教育分野に関係する各制度(3)～森野 【予習】スクールカウンセリング・スクールソーシャルワークについて学習しておくこと(90分)【復習】不登校児童生徒とその法的支援について周知すること(90分)	グループワーク
12)	司法・犯罪分野に関係する各制度(1)～森野 【予習】刑法、少年法について学習しておくこと（120分） 【復習】犯罪における処遇について周知すること（90分）	
13)	司法・犯罪分野に関係する各制度(2)～森野 【予習】虐待防止法について学習しておくこと（120分）【復習】虐待防止法がどのように運用されているか、及び処遇について理解を深めること（90分）	グループワーク
14)	産業・労働分野に関係する各制度(1)～西村 【予習】労働基準法、障害者雇用促進法、男女雇用機会均等法について学習しておくこと（120分）【復習】労働界における問題についてまとめること（120分）	
15)	産業・労働分野に関係する各制度(2)～西村 【予習】労働安全衛生法について学習しておくこと（90分）【復習】ストレスチェックと処遇方法について理解を深めること（90分）	グループワーク
授業外学習		
それぞれの領域における法律について、事前に学習しておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
各法律や制度については担当教員より指示するので用意しておくこと。また事例については担当教員が配布、または口頭で説明する。		心理実習 ・ 、心理演習 ・ 、産業・組織心理学、社会・集団・家族心理学、教育・学校心理学、心理学的支援法

課題に対するフィードバック

課題として、それぞれの法律に基づいた「事例問題」を出すので、法律がどのように適用されていくかレポートさせることにしており、添削して解説する形でフィードバックする。

備考

科目名	心理学的支援法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	梶本 俊哉	関連する資格	公認心理師・認定心理士	

授業概要

カウンセリングは理論と実践から成り立つ心の支援のための方法である。本講義では代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界等について概説した上で、主としてパーソンセンタード・アプローチの立場から、実際の相談場面を想定した演習形式でカウンセリングとカウンセリングの基本技法について考えていく。
 なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、教育領域、産業領域、地域などにおいて心理学的支援を実践している。本講義においては、この臨床実践をもとに事例をふまえた実践的な講義・演習を実施する。

到達目標

ナンバリング(A2705ab)
 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界について説明できる
 訪問による支援や地域支援の意義について理解し、説明できる。
 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について理解し、実践できる。
 プライバシー等の人権や、支援者に求められる倫理に配慮することができる。
 心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について考えることができる。

成績評価方法

受講態度（グループワークおよび演習、授業内レポートを含む）と定期試験により評価する。
 なお、出席回数が規定回数を満たしていない場合、レポートの提出がない場合には単位認定しない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 心理学的支援法について 【復習】講義内容の復習（60分）		
2) カウンセリングの歴史、概念、意義、適応および限界 【復習】講義内容の復習（60分）		
3) プライバシー、人権と倫理的な配慮 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
4) 援助的なコミュニケーションの方法 【復習】講義内容の復習（60分）	相談の背景にある思考と感情	演習・グループワーク
5) 援助的なコミュニケーションの方法 【復習】講義内容の復習（60分）	問題をとらえる	演習・グループワーク
6) 援助的なコミュニケーションの方法 【復習】講義内容の復習（60分）	連携が必要な問題	演習・グループワーク
7) 援助的なコミュニケーションの方法 【復習】講義内容の復習（60分）	基本的技法	演習・グループワーク
8) 援助的なコミュニケーションの方法 【復習】講義内容の復習（60分）	クライアント中心療法	演習・グループワーク
9) 援助的なコミュニケーションの経過と構成 【復習】講義内容の復習（60分）	模擬事例の検討	演習・グループワーク
10) 援助的なコミュニケーションの経過と構成 【復習】講義内容の復習（60分）	模擬事例の検討	演習・グループワーク
11) 援助的なコミュニケーションの経過と構成 【復習】講義内容の復習（60分）	模擬事例の検討	演習・グループワーク
12) 心理学的支援の実際問題を考える 【復習】講義内容の復習（60分）	訪問による支援と地域支援	演習・グループワーク
13) 心理学的支援の実際問題を考える 支援 【復習】講義内容の復習（60分）	心理に関する支援を要する者の関係者に対する	演習・グループワーク
14) 心理学的支援の実際問題を考える 【復習】講義内容の復習（60分）	模擬事例の検討	演習・グループワーク
15) まとめと質疑応答		演習・グループワーク
授業外学習		
講義で学んだ心理学的支援に関する内容の復習に加え、適宜レポートを課す。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適宜資料を配布する。 （参考図書）藤原和政・谷口弘一 [編著] (2020) 学校現場で役立つ教育相談．北大路書房		感情・人格心理学、社会・集団・家族心理学、健康・医療心理学、心理的アセスメント

課題に対するフィードバック

レポートや質問に関するコメントは個別に、あるいは内容により履修生全体に共有する形式にてフィードバックする。

備考

科目名	障害者・障害児心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	廿 麻乃、原田 雅史	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

障害のある人たちを取り巻く環境は、21世紀を迎えてから大きく変動してきている。そこで、本講義では身体障害、知的障害及び精神障害について概説する。また、最近では発達障害をはじめさまざまな障害のある児童生徒と関わる機会も多くなっているため、発達障害を取り巻く心理社会的課題及び必要な支援について触れる。

(廿 麻乃/8回)

障害の生物・心理・社会モデルについて概説する。さらに、障害受容過程及び精神障害の心理学的メカニズムの理論について解説する。

(原田 雅史/7回)

医療・教育・福祉分野における障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援について解説する。

到達目標

A3701ab

身体障害、知的障害、発達障害及び精神障害の概要を理解する。
障害者・障害児の個別の特徴や特性に応じた心理社会的課題及び必要な支援について知る。

成績評価方法

レポート、授業内レポート、グループワークによる評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート	○	○	○				70
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 障害者・障害児心理学とは（廿） 【予習】障がいや発達についての授業を振り返っておく(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
2) 身体障害・知的障害の概要（廿） 【予習】身体障害・知的障害について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
3) 視覚障害・聴覚障害の概要（廿） 【予習】視覚障害・聴覚障害について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
4) 精神障害の概要（原田） 【予習】精神障害について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
5) 発達障害の概要（廿） 【予習】発達障害について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
6) 肢体不自由及び病弱者の概要（廿） 【予習】肢体不自由及び病弱者について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
7) 情緒障害児の理解と心理的援助（廿） 【予習】情緒障害児について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
8) 身体障害者を取り巻く心理社会的課題（廿） 【予習】身体障害者を取り巻く課題について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
9) 知的障害者を取り巻く心理社会的課題（原田） 【予習】知的障害者を取り巻く課題について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
10) 精神障害者を取り巻く心理社会的課題（原田） 【予習】精神障害者を取り巻く課題について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
11) 発達障害者を取り巻く心理社会的課題（廿） 【予習】発達障害者を取り巻く課題について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
12) 身体障害者への必要な支援（原田） 【予習】身体障害者の必要としている支援について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
13) 知的障害者への必要な支援（原田） 【予習】知的障害者の必要としている支援について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
14) 精神障害者への必要な支援（原田） 【予習】精神障害者の必要としている支援について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
15) 発達障害者への必要な支援（原田） 【予習】発達障害者の必要としている支援について調べる(60分) 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる(30分)	グループワーク
授業外学習	
メディアで取り上げられるニュースなど注意して見てみてください。また、障がいのある方々と触れ合う機会を作ってください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じてレジメを配布する。	他の心理学関連科目全般

課題に対するフィードバック

グループワークの際、適宜コメントを行う。

備考

【オフィスアワー】 甘： 掲示を確認のこと。 原田： 授業の前後に対応します。

科目名	精神疾患とその治療			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	原田 雅史	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

日本における精神科医療の歴史を踏まえ、代表的な精神疾患とその治療及びリハビリテーションについて理解を深める。また、支援のあり方、連携について、各専門職の立場から事例などを通し、臨床的理解を進めるとともに各役割について理解する。

精神科病院の臨床心理士としての実務経験を持つ教員が、代表的な精神疾患及びその治療法について講義を行う。

到達目標

A3703a

- ・代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する。
- ・精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する。
- ・各専門職が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する。
- ・精神医療・福祉との連携の重要性と、各専門職がその際に担うべき役割について理解する。

成績評価方法

授業参加度、意欲や関心の高さ、授業に臨む姿勢、レポートなどで総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							60
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 精神医学の歴史的展望 精神医学における診断・治療の歴史 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分） 【復習】授業内容について復習する（60分）	
2) 精神疾患の診断と診断基準 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
3) 代表的な精神疾患 統合失調症 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
4) 代表的な精神疾患 気分障害 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
5) 代表的な精神疾患 不安障害 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
6) 代表的な精神疾患 物質関連障害および嗜癮性障害 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
7) 代表的な精神疾患 パーソナリティ障害 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
8) 代表的な精神疾患 摂食障害 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
9) 代表的な精神疾患 発達障害 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
10) 代表的な精神疾患 認知症とその周辺 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
11) 精神疾患の治療 薬物療法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
12) 精神疾患の治療 精神療法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
13) 精神疾患の治療 精神科リハビリテーション 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
14) 外来治療と入院治療 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
15) 多職種連携・リエゾン 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。 復習では、毎回の授業内容を定着させるために、自分の言葉で説明できるようにすること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：加藤隆弘・神庭重信編（2020）公認心理師の基礎と実践．精神疾患とその治療．遠見書房	人体の構造と機能及び疾病 脳科学 健康・医療心理学 神経・生理心理学 臨床心理学概論 障害者・障害児心理学 心理的アセスメント 心理学的支援法 発達障害児支援論 心理演習 ・ 心理実習 ・

課題に対するフィードバック

レポートについては、質問・意見に対して全体にフィードバックする。

備考

科目名	心理的アセスメント			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	梶本 俊哉	関連する資格	公認心理師 認定心理士	

授業概要

心理的アセスメントは心理学的支援活動である。臨床における心理的アセスメントは、単にアセスメントだけを目的とするものではなく、心理支援への動機づけ、支援課題の明確化、支援目標の設定、支援を進めていくうえで重要なラポール形成など、支援的な関わりの手段としても活用できる。

実際の心理的アセスメントにおいては、心理的アセスメントの目的および倫理、観点および展開について理解した上で、観察、面接および心理検査等の心理的アセスメントの方法を適切に組み合わせて実施し、この心理的アセスメントの結果について適切な記録と報告ができることが求められる。

そこでこの講義では、心理的アセスメントについて概説したのちに、代表的な心理検査について履修生が被験者となって体験し、これらの心理的アセスメントの結果について記録と報告を作成する。そして、この過程を通して履修生は心理的アセスメントにおけるクライアントへの配慮について体験的に理解を深める。

なお、この講義の担当者は公認心理師・臨床心理士であり、主として医療保健領域、教育領域および産業組織領域における実務経験を有している。この実務経験をもとに、臨床現場におけるアセスメントの実施とフィードバック、インフォームドコンセントなどの実際問題についても検討する。

到達目標

(A3704ab)
 心理的アセスメントの目的及び倫理について理解できる。
 心理的アセスメントの観点及び展開について説明できる。
 心理アセスメントの方法（観察、面接および心理検査）について説明し、実践できる。
 適切な記録および報告を作成し、管理できる。

成績評価方法

主として定期テストおよび授業外レポートにより評価する。なお、規定回数以上欠席した場合には成績評価の対象とならないので注意すること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理的アセスメントについて 目的・倫理・観点・展開および方法の概説 【予習】特に定めない(0分)【復習】講義内容の振り返り(90分)	
2) 心理検査(質問紙法)について 質問紙の作成方法・構成・妥当性と信頼性 【予習】心理学研究法の復習(30分)【復習】講義内容の振り返り(90分)	
3) 質問紙法 エゴグラム(T E G) 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
4) 質問紙法 Y G性格検査 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
5) 投影法 S C T 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
6) 投影法 P - Fスタディ 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
7) 投影法 ロールシャッハ・テスト 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
8) 描画法 バウムテスト・H T P・風景構成法 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
9) 発達検査法 D A M 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
10) 発達検査法 H D S - R 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
11) 作業検査法 内田クレペリン精神検査 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
12) 知能検査法 W I S C・W A I S 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
13) 質問紙法 P O M S 【予習】特に定めない(0分)【復習】心理検査結果の検討(90分)	演習
14) アセスメントと支援の実際 【予習】特に定めない(0分)【復習】講義内容の振り返り(90分)	グループワーク
15) アセスメントと支援の実際 【予習】特に定めない(0分)【復習】講義内容の振り返り(90分)	グループワーク
授業外学習	
授業内で履修者が自分自身を被験者として実施した各種心理検査について、レポート(心理検査結果の記録および報告)の提出を必須とする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】 適宜資料を配布する。 【参考書】 ・上里一郎(監修, 2001)・心理アセスメントハンドブック第2版・西村書店	心理学研究法, 心理学統計法, 心理学実験 感情・人格心理学, 発達心理学, 心理演習 心理検査法演習

課題に対するフィードバック

レポートにはコメントを付けて返却する。

備考

- ・授業は心理検査の演習を含むため、遅刻および欠席がないように努めること。
- ・規定回数以上の出席がない場合、およびレポートの提出がない場合には単位認定されないので注意すること。

科目名	発達障害児支援論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	松田 敦子		関連する資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 発達障害のある子どもへの支援方法について理解を深めるとともに、本人および家族が置かれている状況を踏まえた支援の在り方について考える。
 また、心理検査によるアセスメントの基礎や、支援につなげるための手続きについて解説する。
 公認心理師・臨床心理士の資格を有し、小児科や発達障害相談機関において発達相談、心理検査、心理支援の実務経験をもつ教員が、経験に基づき、発達障害のある子どもとその家族への具体的な支援方法について講義する。

到達目標

- A3704
- ・発達障害に対する正しい理解と支援方法を習得する
 - ・園や学校現場における発達障害を抱える子どもへの支援方法を理解する
 - ・発達障害を抱えた保護者の心理と支援方法を理解する

成績評価方法

- 期末試験（筆記） 50%
 授業内でのレポート・課題・演習等 30%
 出席状況 授業態度 20%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション	小レポート
2) 発達障害児の支援の場（園や学校、児童発達支援、放課後等デイサービス等） 【予習】発達障害児の支援の場について調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
3) 発達障害児と医療 【予習】医療における発達障害について調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
4) 発達障害児の発達過程とアセスメント 【予習】発達障害児の発達過程とアセスメントについて調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
5) 発達障害の特性（自閉スペクトラム症） 【予習】自閉スペクトラム症について調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
6) 発達障害の特性（ADHD、LD） 【予習】ADHD、LDについて調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
7) 様々な障害の特性（知的障害、DCD） 【予習】知的障害、DCDについて調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
8) 二次的な障害について（愛着上の課題、不安、不登校など） 【予習】二次的な障害について調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
9) 発達障害児への支援方法（視覚的支援、構造化） 【予習】視覚的支援、構造化について調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
10) 発達障害児への支援方法（応用行動分析、SST） 【予習】応用行動分析、SSTについて調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
11) 発達障害児の保護者の心理 【予習】発達障害児の保護者の心理について調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
12) 発達障害児の保護者への支援「ペアレントトレーニング」 【予習】ペアレントトレーニングについて調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	演習
13) 発達障害児の保護者への支援「ペアレントトレーニング」 【予習】ペアレントトレーニングについて調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	演習
14) 発達障害児の家族支援（家族の心理、虐待予防） 【予習】発達障害児の家族支援について調べる(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
15) 総括・支援者にできること 【予習】支援者にできることは何かを考える(予習30分) 【復習】講義の振り返り(復習60分)	小レポート
授業外学習	
発達障害への理解に向けて、テレビ番組の視聴や書籍を読むことで知識を深める。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
特別支援教育の理論と実践 ・ （レジュメを使用するので購入は不要）	生涯発達心理学、生涯発達心理学、生涯発達心理学、教育・学校心理学、健康・医療心理学、障害者・障害児心理学、福祉心理学

課題に対するフィードバック

必要に応じてフィードバックを行うが、講義前後で質疑応答を行う。

備考

科目名	集団心理療法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	榎本 俊哉		関連する資格	

授業概要

この演習では、集団心理療法について実際に体験することで、自己理解、自己受容、他者理解、他者受容、他者との共同の在り方、ファシリテーションの方法などを学んでいく。

特に「集団心理療法演習」においては構成的エンカウンターグループを体験し、グループにおける居場所感や自己一致感が体験できることを目標とする。

なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、地域のスクールカウンセラーとして児童生徒を対象にエンカウンターグループを実践している。本講義において履修生は、このスクールカウンセリングにおける実践内容を含む演習を体験する。

到達目標

(A2607)

自己理解や他者理解を深める、自己受容や他者受容を促進する、グループ体験における居場所感を得ていく、など、履修生は各自でグループでのコミュニケーションに関する到達目標を定め、自己評価していく。このプロセスを通してグループ体験におけるコミュニケーションが円滑になり、自己一致感が高まることを目標とする。

成績評価方法

この授業は演習であるため定期テストは実施せず、主として授業内で実施したグループワークや演習体験についてのレポートにより評価する。なお、規定回数以上欠席した場合、レポートの提出がない場合には成績評価の対象とならないので注意すること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							70
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス グループ体験の演習についての諸注意 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）	
2) 構成的エンカウンターグループ体験 自己理解・他者理解 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
3) 構成的エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
4) 構成的エンカウンターグループ体験 自己受容・他者受容 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
5) 構成的エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
6) エンカウンターグループ演習 （第6回以降、到達目標は履修生がそれぞれに検討する。） 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
7) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
8) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
9) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
10) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
11) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
12) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
13) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
14) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
15) エンカウンターグループ演習の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
授業外学習	
グループ体験について振り返るためのレポートを課す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜プリントを配布する。	集団心理療法演習

課題に対するフィードバック

レポートにはコメントを付けて返却する。

備考

この演習の履修生には、集団心理療法演習 の履修を推奨する。

科目名	集団心理療法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	梶本 俊哉	関連する資格		

授業概要

この演習では、集団心理療法について実際に体験することで、自己理解、自己受容、他者理解、他者受容、他者との協働の在り方、ファシリテーションの方法などを学んでいく。

集団心理療法演習 における体験を前提として、集団心理療法演習 においてはベーシック・エンカウンターグループを体験し、さらにファシリテータの経験を積むことで、グループにおいてコミュニケーションを促進する（ファシリテーション）スキルを獲得することを目標とする。

なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、地域のスクールカウンセラーとして児童生徒を対象にエンカウンターグループを実践している。本講義において履修生は、このスクールカウンセリングにおける実践内容を含む演習を体験する。

到達目標

(A2608)

自己理解や他者理解を深める、自己受容や他者受容を促進する、グループ体験における居場所感を得ていく、など、履修生は各自でグループでのコミュニケーションに関する到達目標を定め、自己評価していく。このプロセスを通してグループ体験におけるコミュニケーションが円滑になり、自己一致感が高まることを目標とする。

また、グループのコミュニケーションを促進するファシリテーターとしての配慮ができるようになることも目標とする。

成績評価方法

この授業は演習であるため定期テストは実施せず、主として授業内で実施したグループワークや演習体験についてのレポートにより評価する。なお、規定回数以上欠席した場合、レポートの提出がない場合には成績評価の対象とならないので注意すること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							70
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス グループ体験の演習についての諸注意 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）	
2) エンカウンターグループ体験 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
3) エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
4) エンカウンターグループ体験 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
5) エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
6) エンカウンターグループ演習 （第6回以降、到達目標は履修生がそれぞれに検討する。） 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
7) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
8) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
9) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
10) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
11) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
12) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
13) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
14) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
15) エンカウンターグループ演習の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
授業外学習	
グループ体験について振り返るためのレポートを課す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜プリントを配布する。	集団心理療法演習

課題に対するフィードバック

レポートにはコメントを付けて返却する。

備考

集団心理療法演習 を履修済みであることが望ましい。

科目名	心理演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	梶本 俊哉、小山 典子、木元 卓也	関連する資格	公認心理師 認定心理士	

授業概要

この演習では、人間関係、人間の心理の理解や関わりに大切な技法や理論の実際について、演習を行う。基礎的な対人関係訓練や自他の気づき、アサーション、心理面接や認知行動療法の基礎、などについて、ワークなど実習を通して体験的に学ぶ。これにより臨床心理学を自分の生活に活かす視点を獲得する。

実務経験

担当教員は公認心理師、及び臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、スクールカウンセラー、産業カウンセラー等の実務経験がある。これらの実務経験を活かし、この演習では心理臨床の実践現場における実際問題についても考える。

到達目標

- (A2706ab)
- * 心理に関する支援を要する者等に関する知識及び技能の修得
(1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接
 - * 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成ができる
 - * 自己理解や他者理解を深める。
 - * 生活場面において、より柔軟に考えることができる。
 - * 自分自身の生活に臨床心理学的な視点を活かすことができる。
 - * 公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解することがで

成績評価方法

レポート等50%、受講態度および演習50%で評価する。なお、欠席が所定回数を超えた場合、評価の対象とはならない。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							40
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（榎本） 【予習】あらかじめ「認知療法」についての参考図書を読んでおくこと（180分） 【復習】「認知療法」について確認しておく（180分）	
2) アサーション（榎本） 【予習】日頃の自分のコミュニケーションのありかたについて考える（90分） 【復習】日常生活でアサーションを使ってみる（90分）	グループワーク・演習
3) 認知行動療法1 認知行動療法における心の仕組み（榎本） 【予習】多様な心の捉え方、理解のありかたについて理解する（90分） 【復習】自分の心について認知行動療法モデルで理解する（90分）	グループワーク・演習
4) 認知行動療法2 自動思考について（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】自分の心にもある自動思考について理解する（90分）	グループワーク・演習
5) 認知行動療法3 コラム法について（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】生活の中でコラム法を実践してみる（90分）	グループワーク・演習
6) マインドフルネス（榎本） 【予習】マインドフルネスに関する文献を読む（90分） 【復習】生活の中でマインドフルネスを体験してみる（90分）	グループワーク・演習
7) 行動活性化療法1 行動活性化療法の計画（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】行動活性化療法の計画を考える（90分）	演習
8) 行動活性化療法2 行動活性化療法の実施（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】行動活性化療法を計画に基づいて実践してみる（90分）	演習
9) 行動活性化療法3 行動活性化療法の計画の再検討（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】行動活性化療法を実践体験に基づいて再計画し、実践してみる（90分）	演習
10) 行動活性化療法4 行動活性化療法まとめ（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】行動活性化療法を実践体験に基づいて振り返る（90分）	演習
11) 相談活動について（木元） 【予習】相談者の来談に至るまでの気持ちをイメージする（60分） 【復習】相談活動を受ける上でのマナーについて復習する（60分）	演習
12) 初回面接の重要性（木元） 【予習】初回面接について予習する（60分） 【復習】初回面接について復習する（60分）	演習
13) 傾聴の架空事例を通して考える相談活動（木元） 【予習】傾聴について予習する（60分） 【復習】傾聴の事例を通しての気付きと振り返り（60分）	演習
14) 相談活動に望ましい環境づくり（木元） 【予習】相談者が話しやすい相談環境について予習する（60分） 【復習】相談環境についての振り返り（60分）	演習
15) 相談活動に望ましい環境づくり（木元）/まとめ（小山）	
授業外学習	
第1回～10回では、それぞれが生活上の問題解決に取り組むことを課題とし、この経過をレポートにまとめて提出する。授業に関連する書籍や時事問題について疑問を持ちながら読むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
*テキスト 適宜プリントを配布する。 *参考書 大野裕・田島美幸（2011）. こころのスキルアップ・プログラム 認知療法・認知行動療法の視点から.（独）国立精神・神経医療研究センター/認知行動療法センター	心理演習、心理的アセスメント、臨床心理学概論、心理学的支援法

課題に対するフィードバック

レポートについては、質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。

備考

第15回目は、心理演習 ・心理実習へのつなぎとして、今後の課題を提示する。

科目名	心理演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	前期
担当者名	小山 典子、木元 卓也、榎本 俊哉	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

多領域に渡る公認心理師の業務に必要な心理アセスメントについて、グループでのディスカッションを通して、多様な考えに触れながら体験的に学習し、同時に自己理解・他者理解を向上する。また、実際の生活場面で生じる怒りをテーマにしたトラブルを中心に、その認知の問題、解決方法の問題等、セルフマネジメント・コーピングの理解も深めていく。表現療法として、箱庭療法も紹介する。

また、心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチや多職種連携及び地域連携について学ぶ。これらの体験を通して心理的支援について理解を深めていく。

実務経験

全員が公認心理師、及び臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、スクールカウンセラーや産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

到達目標

(A3706ab)

- 1) 自己の認知の傾向を理解する。
- 2) 自己の問題対処方略について理解する。
- 3) 他者の自己理解を支援する。
- 4) 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得
コミュニケーション 心理検査 心理面接 地域支援
- 5) 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成
- 6) 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチを理解し説明できる。
- 7) 多職種連携及び地域連携について、理解し説明できる

成績評価方法

授業態度

毎回の授業内レポート

全授業終了後提示するテーマへのレポート

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（榎本）/ インテーク面接について（小山） 【予習】 インテーク面接について復習しておく（60分） 【復習】 インテーク・予診の重要性、人間理解について確認すること（60分）	
2) インテーク面接の実際（小山） 【予習】 臨床心理面接について学習しておくこと（60分）【復習】 インテーク・予診を体験しての振り返り・気づきについて確認すること（60分）	演習 グループワーク
3) 事例から学ぶ心理アセスメント（小山） 【予習】 心理検査の種類について調べる（60分） 【復習】 心理検査の種類と特徴及び限界について復習する（60分）	演習 グループワーク
4) 事例から学ぶ心理アセスメント（小山） 【予習】 心理アセスメントの理論と方法について調べる（60分） 【復習】 心理アセスメントに必要な情報について考える（60分）	演習
5) 事例から学ぶ心理アセスメント（小山） 【予習】 心理アセスメントの倫理的配慮について調べる（60分） 【復習】 心理アセスメントとは何か答えられるようにまとめておく（60分）	演習 グループワーク
6) 心理アセスメント結果報告書作成（小山） 【予習】 心理アセスメント結果フィードバックについて調べる 【復習】 心理アセスメント結果より要支援者を総合的に理解する（60分）	演習 グループワーク
7) 心理アセスメント結果報告書作成（小山） 【予習】 心理アセスメント結果報告書に必要な文章表現について調べる（60分） 【復習】 心理アセスメント結果フィードバック体験を振り返る（60分）	演習
8) 怒りの対処法1（小山）【予習】 「喜怒哀楽」が人間関係に及ぼす影響について考えてくること（90分）【復習】 人間関係における「怒り」が自分のどこから生じるのか洞察すること（90分）	演習
9) 怒りの対処法2（小山） 【予習】 「怒り」の多様性について学習しておくこと（90分） 【復習】 「怒り」の効用について理解を深めレポートすること（90分）	演習
10) 箱庭療法（小山） 【予習】 箱庭療法の概要について学習しておく（90分）【復習】 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）	演習
11) チームアプローチ 多職種連携とは（木元） 【予習】 心理支援に関わり多職種について職種と役割について学習しておく（90分） 【復習】 チームアプローチの意義についてレポートする（120分）	演習
12) チームアプローチ スクールカウンセリングにおける支援（木元）【予習】 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う（90分）【復習】 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）	演習
13) チームアプローチ 児童虐待における支援（木元）【予習】 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う（90分）【復習】 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）	体験
14) チームアプローチ 発達障がい児への支援（木元）【予習】 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（90分）【復習】 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）	体験
15) チームアプローチ DVにおける支援（小山）【予習】 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う（90分）【復習】 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）	
授業外学習	
疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて、心理学事典や参考書、インターネット等を用いて調べる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
その都度、資料を配付する。	心理学関連科目全て 心理演習 心理実習 ・

課題に対するフィードバック

レポートに関しては適宜コメントを加えて返す。

備考

科目名	心理実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	後期
担当者名	小山 典子	関連する資格	公認心理師	

授業概要

本授業は、公認心理師として活動する心理臨床の主要領域である、医療・福祉・教育・司法領域の心の専門的支援の実践に触れ、4年次「心理実習」の前に各領域および各実習施設の現状について事前調査、学習を行い実習に臨む準備および計画を立てることを目標とする。

実務経験

公認心理師、及び臨床心理士の資格を有しており、精神科病院・大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、スクールカウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的な授業を行う。

到達目標

(A3707)
公認心理師法により定められている、次の3項目を中心に学習する。
1) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて。
2) 多職種連携及び地域連携について。
3) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について。
また、各自個別的な実習課題を設定し、心理臨床における機能や役割についてより深く学修する。

心理援助技術、関連知識の理解を深め、それらの知識や技術を活用し、心理業務に必要な実践的な資質・能力・技術を身に付ける。また、職業倫理を身に付け、専門職として、関連分野間の実践的連携を理解し行動が取れるようにする。

成績評価方法

授業内レポート
授業終了後提示するテーマへのレポート
授業内での演習・グループワークへの取り組みなどで評価する

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				40
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○	○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○	○	○		10
演習		○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 【予習】公認心理師法を確認しておく（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	
2) 実習施設について調べる 【予習】実習施設のホームページを確認する（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
3) 職業倫理と法的義務について考える 【予習】「公認心理師の職責」を復習する（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
4) 実習目的について 実習経験者の講話から学ぶ 【予習】実習の目的についてどんなことを学びたいか考えておく（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	グループワーク
5) 実習目的について 実習課題レポート作成 【予習】保健医療および福祉領域の希望施設を考えておく（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	グループワーク
6) 実習記録について ノートの記録や保管方法 【予習】「心理演習」を復習する（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
7) 実習記録について 事例をもとに記録をする 【予習】「心理演習」を復習する（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	グループワーク
8) 保健医療領域についての事前学習 【予習】保健医療領域の施設について調べる（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
9) 保健医療領域についての事前学習 実習計画の立案 【予習】保健医療領域施設の公認心理師について調べる（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
10) 福祉領域についての事前学習 【予習】福祉領域の施設について調べる（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
11) 福祉領域についての事前学習 実習計画の立案 【予習】福祉領域施設の公認心理師法について調べる（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
12) 司法領域についての事前学習 実習計画の立案 【予習】司法領域の施設について調べる（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
13) 教育領域についての事前学習 実習計画の立案 【予習】教育領域の公認心理師について調べる（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
14) 実習チェックリストを作成する 【予習】実習生としてのマナー・注意事項について確認しておく（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
15) まとめ お礼状作成 【予習】実習生として実習施設や指導者から学ぶ姿勢について考えておく（60分） 【復習】授業の内容について復習する（60分）	演習
授業外学習	
実習施設について、概要・所在地・交通経路などを確認しておく	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて資料を配付する	心理演習 ・ 心理実習 ・ 公認心理師資格必修科目

課題に対するフィードバック

課題レポートにコメントをつけて返却する

備考

科目名	ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	2年	前期			
担当者名	小野 洋平、三島 瑞穂、脇 貴典、森本 裕子、小山 典子、馬場 弓歌		関連する資格				
授業概要 ゼミナールでは、大学4年間の学びへの本格的な移行を支援し、卒業研究を見据えて「研究」への入門的・基礎的な技術を学ぶ。特にグループによる協働的な学習の形態をとる。ゼミナールではメンバーの多様な関心事を共有し、そこから問題を発見することに焦点を当てる。ゼミナールを通じて問題解決のための研究目的および仮説・リサーチクエスションの設定、研究方法の選択、データ収集と成果の発表までを行う。臨床実践を含め、心理学的実践の基盤となる広い意味での研究的マインドを学び、身につける。							
到達目標 ナンバリング (A2501) 1. 大学での学修および心理学的実践における研究の位置づけを理解し、説明することができる。 2. グループメンバーと学術的な関心について話し合い、意見を交換することができる。 3. 文献調査をもとに研究を立案・計画した内容を、プレゼンテーションを通じて伝えることができる。			成績評価方法 各回に小レポートと最終回の授業内レポートを課す。授業参加度とともにグループディスカッションや演習、プレゼンテーションの内容も評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 大学での学びへの理解(1)：シラバスの理解、担当教員の研究紹介、グループでの自己紹介 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート
2) 大学での学びへの理解(2)：将来へのビジョンと大学での学びについて考え、マインドマップを作成する 予習（45分）、復習（45分）	演習・振り返り小レポート
3) アイデアを出す・共有する(1)：アイデアを記録するWeb上のツールについて理解する、各人の興味関心の掘り起こしと検索 予習（45分）、復習（45分）	演習・振り返り小レポート
4) アイデアを出す・共有する(2)：ブレインストーミングの方法を理解し、実践する 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
5) アイデアを精緻化する(1)：Webでの文献検索法を復習する、ブレインストーミングの結果をもとに資料を集める 予習（45分）、復習（45分）	演習・振り返り小レポート
6) アイデアを精緻化する(2)：Webでの文献検索法を復習する、ブレインストーミングの結果をもとに資料を集める 予習（45分）、復習（45分）	演習・振り返り小レポート
7) グループディスカッションの練習(1)：情報をもとに整理したアイデアを発表し、ディスカッションする 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
8) グループディスカッションの練習(2)：情報をもとに整理したアイデアを発表し、ディスカッションする 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
9) リサーチ・クエスチョンの理解(1)：研究上良い問いの条件、卒業論文の執筆スケジュールについて理解する 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート
10) リサーチ・クエスチョンの理解(2)：グループで議論したアイデアをもとに話し合い、問いを立ててみる 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
11) リサーチ・クエスチョンの理解(3)：グループで議論したアイデアをもとに話し合い、問いを立ててみる 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
12) プレゼンテーションを準備する(1)：文献をもとに深め、話し合いで精緻化した研究課題についてプレゼンテーションの準備を行う 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート
13) プレゼンテーションを準備する(2)：文献をもとに深め、話し合いで精緻化した研究課題についてプレゼンテーションの準備を行う 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート
14) 中間発表：全体へ向けて発表するとともに、他のグループのプレゼンテーションを聞き、フィードバックする 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
15) まとめと振り返り：グループで発表を反省するとともに、卒業論文での研究課題について考える 予習（45分）、復習（45分）	授業内レポート

授業外学習

自分の興味関心をもとに、習得した方法で信頼できる情報を収集し、アイデアを記録しておく。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書 サトウタツヤ・北岡明佳・土田宣明 『心理学スタンダード - 学問する楽しさを知る』 ミネルヴァ書房	基礎ゼミナール ・ ゼミナール ・ ・ 卒業研究

課題に対するフィードバック

小レポートの内容にコメントをつけて返却する。

備考

科目名	ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	後期
担当者名	小野 洋平、三島 瑞穂、脇 貴典、森本 裕子、小山 典子、馬場 弓歌		関連する資格	

授業概要

ゼミナールでは、大学4年間の学びへの本格的な移行を支援し、卒業研究を見据えて「研究」への入門的・基礎的な技術を学ぶ。特にグループによる協働的な学習の形態をとる。ゼミナールでは、ゼミナールで行ったメンバーとの関心事の共有と問題発見に基づいて1つのクラスに集合し、心理学の主要な研究方法である実験法・調査法での仮説の設定と研究方法の設計についてオムニバス形式で学ぶ。各グループが提起した問いを実験法・調査法それぞれで確かめる方法を考え、データ収集と成果発表を行う。臨床実践を含め、心理学的実践の基盤となる広い意味での研究的マインドを学び、身につける。

到達目標

ナンバリング (A2502)

1. 大学での学修および心理学的実践における研究の位置づけを理解し、説明することができる。
2. グループメンバーと学術的な関心について話し合い、意見を交換することができる。
3. 文献調査をもとに研究を立案・計画した内容を、プレゼンテーションを通じて伝えることができる。

成績評価方法

各回に小レポートと最終回の授業内レポートを課す。授業参加度とともにグループディスカッションや演習、プレゼンテーションの内容も評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							20
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	全体オリエンテーション：シラバスと授業全体の進行や評価方法の理解、ゼミナールでの問いの振り返り 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート
2)	研究法と課題の設定：実験法(1)：実験法における研究デザインについて授業を聞き、理解を深める 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート
3)	研究法と課題の設定：実験法(2)：問いをもとに実験法で検証可能な課題についてブレインストーミングを行う 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
4)	データ収集：実験法(3)：グループごとの問いをもとに実験法で互いにデータ収集を行う 予習（45分）、復習（45分）	演習・振り返り小レポート
5)	データ収集：実験法(4)：グループごとの問いをもとに実験法で互いにデータ収集を行う 予習（45分）、復習（45分）	演習・振り返り小レポート
6)	結果のまとめと共有：実験法(5)：データを整理し、分かったことをまとめ、グループで話し合う 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート
7)	結果のまとめと共有：実験法(6)：データを整理し、分かったことをまとめ、グループで話し合う 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート・中間小テスト
8)	研究法と課題の設定：調査法(1)：実験法における研究デザインについて授業を聞き、理解を深める 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート
9)	研究法と課題の設定：調査法(2)：問いをもとに調査法で検証可能な課題についてブレインストーミングを行う 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
10)	データ収集：調査法(3)：グループごとの問いをもとに調査法で互いにデータ収集を行う 予習（45分）、復習（45分）	演習・振り返り小レポート
11)	データ収集：調査法(4)：グループごとの問いをもとに調査法で互いにデータ収集を行う 予習（45分）、復習（45分）	演習・振り返り小レポート
12)	結果のまとめと共有：調査法(5)：データを整理し、分かったことをまとめ、グループで話し合う 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
13)	結果のまとめと共有：調査法(6)：データを整理し、分かったことをまとめ、グループで話し合う 予習（45分）、復習（45分）	グループディスカッション・振り返り小レポート
14)	全体発表会：グループごとにこれまでの活動についての報告をまとめ、プレゼンテーションを行う 予習（45分）、復習（45分）	プレゼンテーション・振り返り小レポート
15)	まとめと振り返り：ゼミナールを通じて身につけたことについて振り返りを行い、自分の卒業研究への見通しを立てる 予習（45分）、復習（45分）	振り返り小レポート・期末小テスト
授業外学習		
自分の興味関心をもとに、習得した方法で信頼できる情報を収集し、アイデアを記録しておく。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
参考書 サトウタツヤ・北岡明佳・土田宣明 『心理学スタンダード - 学問する楽しさを知る』ミネルヴァ書房		基礎ゼミナール ・ ゼミナール ・ 卒業研究

課題に対するフィードバック

小レポートの内容にコメントをつけて返却する。

備考

科目名	ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	3年	前期
担当者名	小野 洋平、榎本 俊哉、三島 瑞穂、脇 貴典、森本 裕子、木元 卓也、小山 典子、馬場 弓歌		関連する資格	

授業概要

モデル内で選んだ教員の研究にふれることにより，専門性を高める。卒業研究の準備として取り組む。また，ゼミナールでは積極的に討論に加わり，文献調査，現地調査などに取組み，専門性を深めていく。

到達目標

(A3503)
 報告・発表、議論の能力を高める。
 主題に関する専門性を高める。
 卒業研究へのレディネスの形成。
 演習に対する取り組みの姿勢、および提出課題等より総合的に評価する。

成績評価方法

演習に対する取り組みの姿勢，および提出課題等より総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			25
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		50
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
2) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
3) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
4) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
5) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
6) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
7) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
8) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
9) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
10) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
11) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
12) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
13) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
14) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
15) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
授業外学習	
担当教員によって異なる	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
担当教員によって異なる	担当教員によって異なる

課題に対するフィードバック

担当教員によって異なる

備考

科目名	ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	3年	後期
担当者名	小野 洋平、榎本 俊哉、三島 瑞穂、脇 貴典、森本 裕子、木元 卓也、小山 典子、馬場 弓歌	関連する資格		

授業概要

モデル内で選んだ教員の研究にふれることにより，専門性を高める。卒業研究の準備として取り組む。また，ゼミナールでは積極的に討論に加わり，文献調査，現地調査などに取組み，専門性を深めていく。

到達目標

(A3503)
 報告・発表、議論の能力を高める。
 主題に関する専門性を高める。
 卒業研究へのレディネスの形成。
 演習に対する取り組みの姿勢、および提出課題等より総合的に評価する。

成績評価方法

演習に対する取り組みの姿勢，および提出課題等より総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			25
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		50
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
2) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
3) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
4) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
5) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
6) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
7) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
8) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
9) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
10) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
11) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
12) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
13) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
14) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
15) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
授業外学習	
担当教員によって異なる	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
担当教員によって異なる	担当教員によって異なる

課題に対するフィードバック

担当教員によって異なる

備考